

宇治田原町国民健康保険
第3期データヘルス計画及び
第4期特定健康診査等実施計画
資料編

令和6年3月
宇治田原町

参考資料		
医療費等統計		
1.基礎統計	4	
2.高額レセプトに係る分析	9	
3.疾病別医療費	14	
4.生活習慣病に係る医療費等の状況	28	
5.特定健康診査に係る分析結果	35	
6.骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析	43	
7.要介護認定状況に係る分析	49	
保健事業に係る分析		
1.特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	59	
2.糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	64	
3.受診行動適正化指導対象者に係る分析	69	
4.ジェネリック医薬品普及率に係る分析	72	
年度別 特定健康診査結果等分析		
1.有所見者割合	75	
2.質問別回答状況	84	
巻末資料		
1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	101	
2.用語解説集	102	
3.疾病分類	104	
4.分析方法	108	

參考資料

1. 基礎統計

当医療費統計は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりである。被保険者数は平均2,020人、レセプト件数は平均2,219件、患者数は平均998人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均58,350円となった。

基礎統計

		令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	
A	被保険者数(人)	2,060	2,037	2,031	2,035	2,035	2,033	2,026	
B	レセプト件数(件)	入院外	1,340	1,266	1,337	1,339	1,326	1,320	1,286
		入院	25	38	44	39	38	34	40
		調剤	908	856	858	871	893	897	852
		合計	2,273	2,160	2,239	2,249	2,257	2,251	2,178
C	医療費(円) ※	42,414,110	56,581,090	57,308,070	55,287,770	57,708,900	48,447,520	70,465,920	
D	患者数(人) ※	1,027	981	1,012	1,017	1,014	1,001	998	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	20,589	27,777	28,217	27,168	28,358	23,831	34,781	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	18,660	26,195	25,595	24,583	25,569	21,523	32,353	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	41,299	57,677	56,629	54,364	56,912	48,399	70,607	
D/A	有病率(%)	49.9%	48.2%	49.8%	50.0%	49.8%	49.2%	49.3%	
三要素	受診率(件/人・月) ※	0.66	0.64	0.68	0.68	0.67	0.67	0.65	
	一件当たりの日数(日) ※	1.65	1.76	1.85	1.81	1.81	1.75	1.93	
	一日当たりの医療費(円) ※	18,809	24,611	22,491	22,186	23,373	20,451	27,547	

		令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	2,005	2,000	2,010	1,983	1,980	2,020		
B	レセプト件数(件)	入院外	1,298	1,345	1,231	1,217	1,372	1,306	15,677
		入院	40	40	41	48	37	39	464
		調剤	883	899	828	809	930	874	10,484
		合計	2,221	2,284	2,100	2,074	2,339	2,219	26,625
C	医療費(円) ※	62,095,080	63,408,540	63,159,500	66,586,430	54,991,450	58,204,532	698,454,380	
D	患者数(人) ※	991	1,010	960	939	1,020	998	11,970	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	30,970	31,704	31,423	33,579	27,773	28,820		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	27,958	27,762	30,076	32,105	23,511	26,233		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	62,659	62,781	65,791	70,912	53,913	58,350		
D/A	有病率(%)	49.4%	50.5%	47.8%	47.4%	51.5%	49.4%		
三要素	受診率(件/人・月) ※	0.67	0.69	0.63	0.64	0.71			
	一件当たりの日数(日) ※	1.82	1.74	1.91	1.87	1.75			
	一日当たりの医療費(円) ※	25,512	26,245	25,992	28,179	22,273			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

※受診率…被保険者一人当たり、一月当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。一月当たりのレセプト件数のため、他帳票の受診率とは一致しない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下は、年齢階層別に被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等を示したものである。

年齢階層別基礎統計

年齢階層	A	B				C	D
	被保険者数(人)	レセプト件数(件)				医療費(円) ※	患者数(人) ※
		入院外	入院	調剤	合計		
0歳 ～ 4歳	40	197	7	121	325	5,166,680	36
5歳 ～ 9歳	59	300	5	175	480	5,750,520	53
10歳 ～ 14歳	59	173	0	96	269	1,951,250	46
15歳 ～ 19歳	62	181	0	97	278	5,789,800	43
20歳 ～ 24歳	82	220	6	122	348	7,222,530	51
25歳 ～ 29歳	77	239	4	140	383	4,122,380	53
30歳 ～ 34歳	72	205	4	152	361	5,814,660	52
35歳 ～ 39歳	89	299	7	207	513	8,836,760	62
40歳 ～ 44歳	86	342	18	236	596	18,542,470	54
45歳 ～ 49歳	140	407	17	274	698	19,286,900	91
50歳 ～ 54歳	137	741	32	501	1,274	35,097,540	104
55歳 ～ 59歳	150	852	37	576	1,465	31,955,130	107
60歳 ～ 64歳	163	995	29	709	1,733	49,654,870	128
65歳 ～ 69歳	373	3,238	74	2,064	5,376	136,814,230	324
70歳 ～	660	7,288	224	5,014	12,526	362,448,660	659
合計	2,249	15,677	464	10,484	26,625	698,454,380	1,863

年齢階層	C/A	C/B	C/D	D/A	医療費の三要素		
	被保険者一人当たりの医療費(円)	レセプト一件当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)	受診率(件/人) ※	一件当たりの日数(日) ※	一日当たりの医療費(円) ※
0歳 ～ 4歳	129,167	15,897	143,519	90.0%	5.10	1.44	17,574
5歳 ～ 9歳	97,466	11,980	108,500	89.8%	5.17	1.43	13,220
10歳 ～ 14歳	33,072	7,254	42,418	78.0%	2.93	1.19	9,472
15歳 ～ 19歳	93,384	20,827	134,647	69.4%	2.92	1.22	26,317
20歳 ～ 24歳	88,080	20,754	141,618	62.2%	2.76	1.32	24,237
25歳 ～ 29歳	53,537	10,763	77,781	68.8%	3.16	1.26	13,428
30歳 ～ 34歳	80,759	16,107	111,820	72.2%	2.90	1.60	17,357
35歳 ～ 39歳	99,289	17,226	142,528	69.7%	3.44	1.49	19,421
40歳 ～ 44歳	215,610	31,112	343,379	62.8%	4.19	2.60	19,789
45歳 ～ 49歳	137,764	27,632	211,944	65.0%	3.03	2.50	18,195
50歳 ～ 54歳	256,186	27,549	337,476	75.9%	5.64	2.34	19,402
55歳 ～ 59歳	213,034	21,812	298,646	71.3%	5.93	2.25	15,962
60歳 ～ 64歳	304,631	28,653	387,929	78.5%	6.28	1.89	25,595
65歳 ～ 69歳	366,794	25,449	422,266	86.9%	8.88	1.49	27,645
70歳 ～	549,165	28,936	549,998	99.8%	11.38	1.84	26,160
合計	310,562	26,233	374,908	82.8%	7.18	1.80	24,000

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別基礎統計は分析期間内の被保険者数、患者数を算出している。他基礎統計では被保険者数、患者数を月単位で算出しており、本統計とは一致しない。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…分析期間中に一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

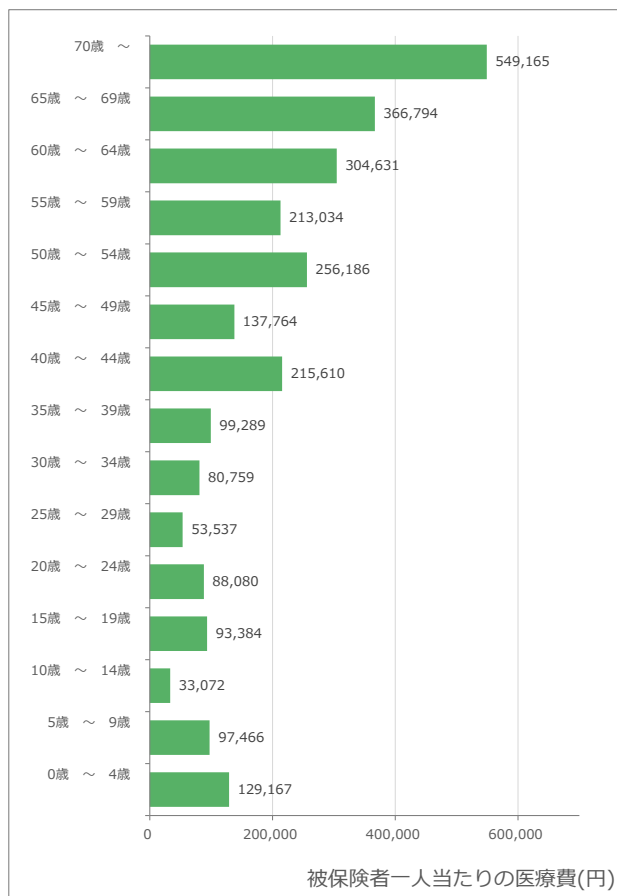
※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

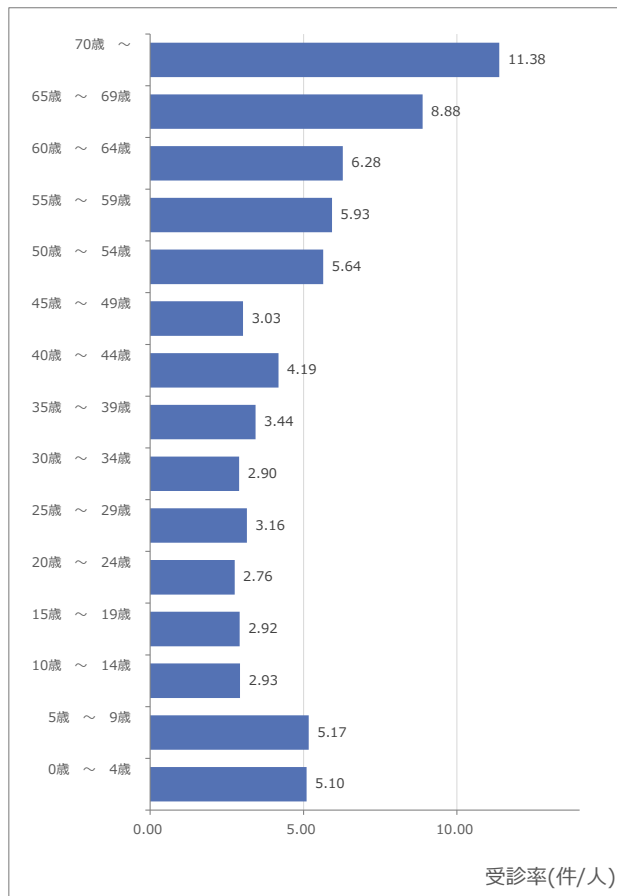
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下は、被保険者一人当たりの医療費、受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費の年齢階層別の状況をグラフにて示したものである。

年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費



年齢階層別 受診率

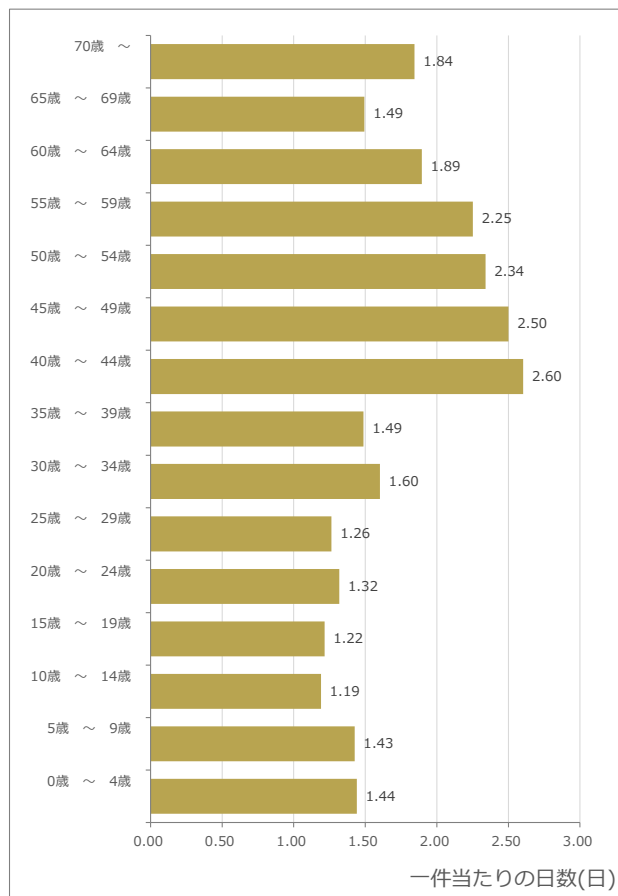


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

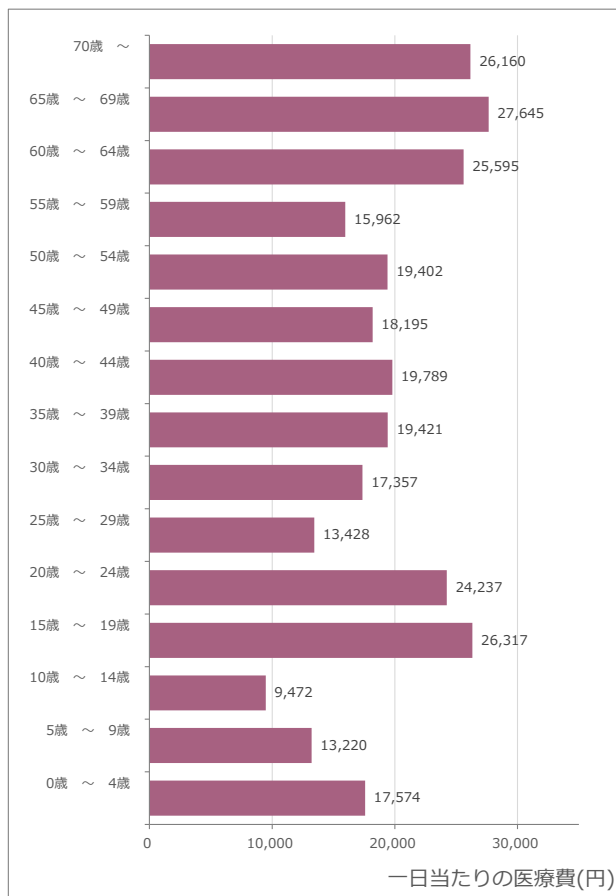
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年齢階層別 一件当たりの日数



年齢階層別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

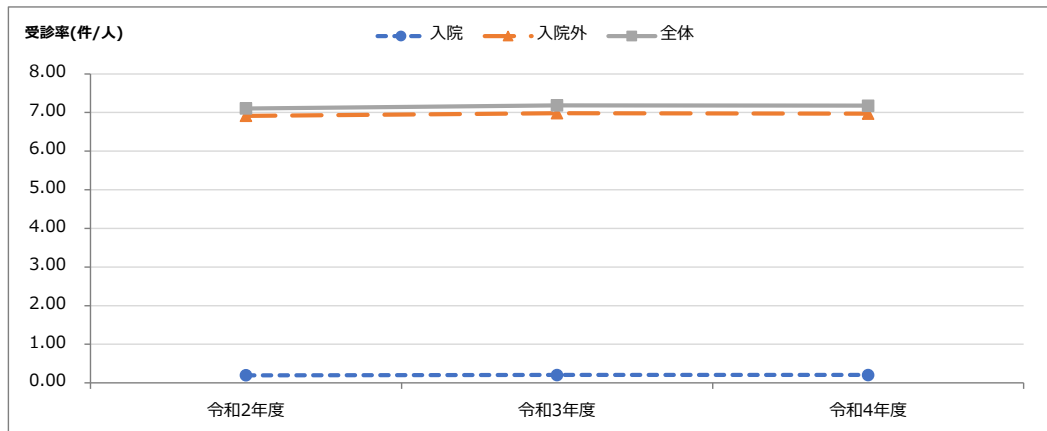
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

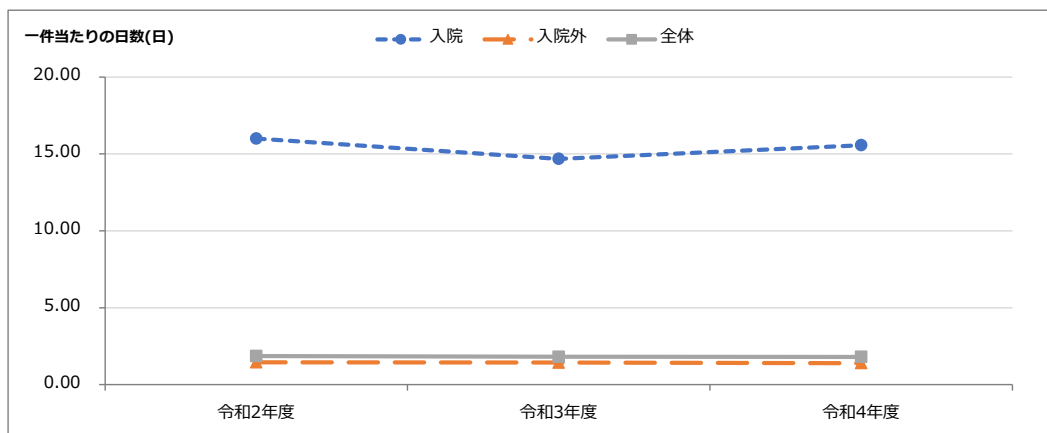
一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 受診率



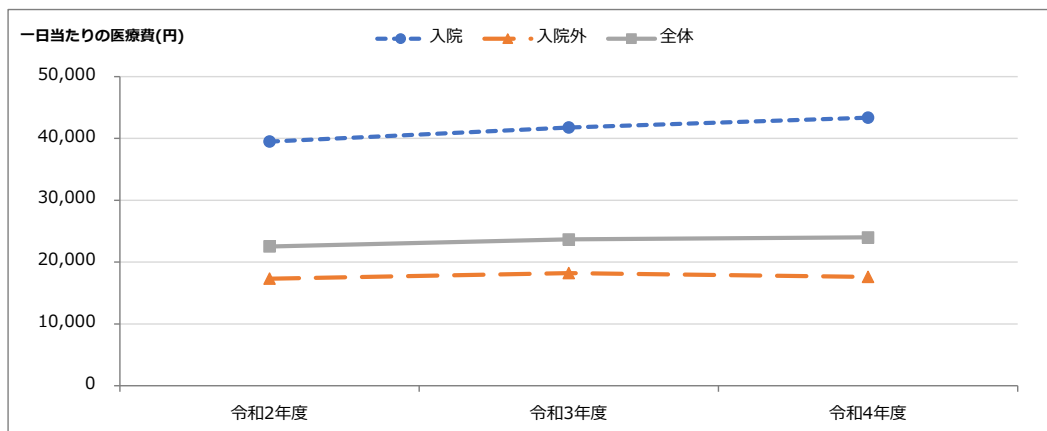
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一件当たりの日数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

2.高額レセプトに係る分析

(1)高額レセプトの件数及び割合

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計した。高額レセプトは259件発生しており、レセプト件数全体の1.0%を占める。高額レセプトの医療費は2億8,247万円となり、医療費全体の40.4%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月
A	レセプト件数(件)	2,273	2,160	2,239	2,249	2,257	2,251	2,178
B	高額レセプト件数(件)	11	21	22	18	23	14	27
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	1.0%	1.0%	0.8%	1.0%	0.6%	1.2%
C	医療費全体(円) ※	42,414,110	56,581,090	57,308,070	55,287,770	57,708,900	48,447,520	70,465,920
D	高額レセプトの医療費(円) ※	8,085,470	21,655,080	19,134,720	18,756,880	22,939,400	14,261,780	38,077,370
E	その他レセプトの医療費(円) ※	34,328,640	34,926,010	38,173,350	36,530,890	34,769,500	34,185,740	32,388,550
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	19.1%	38.3%	33.4%	33.9%	39.8%	29.4%	54.0%

		令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	2,221	2,284	2,100	2,074	2,339	2,219	26,625
B	高額レセプト件数(件)	22	23	28	31	19	22	259
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	1.0%	1.0%	1.3%	1.5%	0.8%	1.0%	
C	医療費全体(円) ※	62,095,080	63,408,540	63,159,500	66,586,430	54,991,450	58,204,532	698,454,380
D	高額レセプトの医療費(円) ※	26,084,390	29,448,230	30,663,470	35,549,700	17,812,480	23,539,081	282,468,970
E	その他レセプトの医療費(円) ※	36,010,690	33,960,310	32,496,030	31,036,730	37,178,970	34,665,451	415,985,410
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	42.0%	46.4%	48.5%	53.4%	32.4%	40.4%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

(2)高額レセプト発生患者の疾病傾向

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示したものである。高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者の一人当たり医療費が高額な疾病分類は「悪性リンパ腫」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「肺炎」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫、バーキットリンパ腫、CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫	4	32,659,300	4,428,970	37,088,270	9,272,068
2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	7,935,460	0	7,935,460	7,935,460
3	1004	肺炎	細菌性肺炎、肺炎	2	12,460,330	330,330	12,790,660	6,395,330
4	0603	てんかん	症候性てんかん	1	5,281,650	698,180	5,979,830	5,979,830
5	0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮肉腫	1	5,658,720	305,600	5,964,320	5,964,320
6	0905	脳内出血	被殻出血	1	5,900,590	0	5,900,590	5,900,590
7	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	全身性エリテマトーデス	1	5,055,800	0	5,055,800	5,055,800
8	0301	貧血	小球性低色素性貧血、出血性貧血	2	9,761,650	272,840	10,034,490	5,017,245
9	1010	喘息	気管支喘息	1	4,088,310	773,660	4,861,970	4,861,970
10	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	生体腎移植後	1	0	4,377,410	4,377,410	4,377,410
11	0903	その他の心疾患	発作性心房細動、持続性心房細動、心室期外収縮	5	16,217,580	3,535,990	19,753,570	3,950,714
12	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	2	2,254,660	5,406,380	7,661,040	3,830,520
13	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	成長ホルモン分泌不全性低身長症	1	0	3,767,060	3,767,060	3,767,060
14	1110	その他の肝疾患	慢性肝不全、肝内胆汁うっ滞	2	6,967,420	490,590	7,458,010	3,729,005
15	1011	その他の呼吸器系の疾患	特発性肺線維症、急性間質性肺炎、誤嚥性肺炎	4	7,449,070	7,106,660	14,555,730	3,638,933
16	1402	腎不全	末期腎不全、急性腎前性腎不全	2	2,275,950	4,709,800	6,985,750	3,492,875
17	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌、多発性骨髄腫、膵管内乳頭粘液性腺癌	16	22,888,770	31,965,010	54,853,780	3,428,361
18	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺腺癌、上葉非小細胞肺癌、上葉小細胞肺癌	4	5,559,190	7,854,010	13,413,200	3,353,300
19	0912	その他の循環器系の疾患	内頸動脈脳動脈瘤、肺血栓塞栓症、食道静脈瘤破裂	3	9,145,110	825,880	9,970,990	3,323,663
20	2220	その他の特殊目的用コード	COVID-19	1	2,778,790	345,030	3,123,820	3,123,820

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和2年度から令和4年度における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者一人当たりの医療費順に年度別に示したものである。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円) ※
令和2年度	1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	8,140,330
	2	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	下腿難治性皮膚潰瘍	1	7,981,480
	3	1004 肺炎	肺炎	1	7,238,900
	4	0507 その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害	1	7,192,180
	5	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉非小細胞肺癌	2	6,621,280
令和3年度	1	0904 くも膜下出血	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1	11,380,490
	2	0905 脳内出血	高血圧性脳内出血	1	9,032,570
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	6,666,910
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	多発性骨髄腫, 上咽頭後壁癌, 胸部下部食道癌	9	5,702,854
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG 5	3	5,476,153
令和4年度	1	0208 悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, バーキットリンパ腫, CD 2 0陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫	4	9,272,068
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	7,935,460
	3	1004 肺炎	細菌性肺炎, 肺炎	2	6,395,330
	4	0603 てんかん	症候性てんかん	1	5,979,830
	5	0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮肉腫	1	5,964,320

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)の高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示したものである。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「その他の心疾患」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膵管内乳頭粘液性腺癌	16	22,888,770	31,965,010	54,853,780	3,428,361
2	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 寛骨臼骨折, 脛骨腓骨遠位端骨折	13	33,893,230	4,480,450	38,373,680	2,951,822
3	0903	その他の心疾患	発作性心房細動, 持続性心房細動, 心室期外収縮	5	16,217,580	3,535,990	19,753,570	3,950,714
4	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	横行結腸癌, 虫垂癌	4	4,542,600	3,440,080	7,982,680	1,995,670
4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺腺癌, 上葉非小細胞肺癌, 上葉小細胞肺癌	4	5,559,190	7,854,010	13,413,200	3,353,300
4	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, パーキットリンパ腫, CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫	4	32,659,300	4,428,970	37,088,270	9,272,068
4	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣のう腫茎捻転, 子宮筋腫, 卵巣線維腫	4	3,327,280	944,550	4,271,830	1,067,958
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	4	7,139,000	1,144,410	8,283,410	2,070,853
4	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症	4	7,627,250	1,455,420	9,082,670	2,270,668
4	1011	その他の呼吸器系の疾患	特発性肺線維症, 急性間質性肺炎, 誤嚥性肺炎	4	7,449,070	7,106,660	14,555,730	3,638,933
4	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症	4	6,907,440	1,179,470	8,086,910	2,021,728
12	0704	その他の眼及び付属器の疾患	緑内障, 水疱性角膜症, 網膜静脈分枝閉塞症	3	2,010,580	2,050,520	4,061,100	1,353,700
12	0912	その他の循環器系の疾患	内頸動脈脳動脈腫, 肺血栓塞栓症, 食道静脈瘤破裂	3	9,145,110	825,880	9,970,990	3,323,663
12	1113	その他の消化器系の疾患	外単径ヘルニア, 胆のうポリープ, 単径ヘルニア	3	2,166,000	546,250	2,712,250	904,083
15	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌	2	2,410,090	659,690	3,069,780	1,534,890
15	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	2	2,254,660	5,406,380	7,661,040	3,830,520
15	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房下外側部乳癌	2	754,230	3,643,640	4,397,870	2,198,935
15	0301	貧血	小球性低色素性貧血, 出血性貧血	2	9,761,650	272,840	10,034,490	5,017,245
15	0906	脳梗塞	心原性脳塞栓症, 脳外主幹動脈血栓症脳梗塞	2	3,916,210	512,780	4,428,990	2,214,495
15	1004	肺炎	細菌性肺炎, 肺炎	2	12,460,330	330,330	12,790,660	6,395,330

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和2年度から令和4年度における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に年度別に示したものである。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円) ※
令和2年度	1	1901 骨折	転子下骨折, 大腿骨骨幹部骨折, 上腕骨近位端骨折	8	1,676,670
	2	1113 その他の消化器系の疾患	内痔徑ヘルニア, 潰瘍性大腸炎, 単徑ヘルニア	7	1,306,111
	2	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症	7	2,395,944
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	多発性骨髄腫, 中部胆管癌, 前立腺癌	6	4,609,522
	4	0903 その他の心疾患	発作性心房細動, 慢性うっ血性心不全, 持続性心房細動	6	3,146,173
	4	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 全身性エリテマトーデス, 肩関節拘縮	6	2,271,513
令和3年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	多発性骨髄腫, 上咽頭後壁癌, 胸部下部食道癌	9	5,702,854
	2	0903 その他の心疾患	持続性心房細動, 発作性心房細動, 発作性上室頻拍	7	2,204,186
	2	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 大腿骨頸部骨折, 寛骨臼骨折	7	3,044,430
	4	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 全身性エリテマトーデス, 多発性筋炎性間質性肺炎	6	4,208,898
	5	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房下外側部乳癌	5	2,976,552
	5	1011 その他の呼吸器系の疾患	間質性肺炎, 誤嚥性肺炎, 特発性肺線維症	5	3,473,806
令和4年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膵管内乳頭粘液性腺癌	16	3,428,361
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 寛骨臼骨折, 脛骨腓骨遠位端骨折	13	2,951,822
	3	0903 その他の心疾患	発作性心房細動, 持続性心房細動, 心室期外収縮	5	3,950,714
	4	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	横行結腸癌, 中垂癌	4	1,995,670
	4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺腺癌, 上葉非小細胞肺癌, 上葉小細胞肺癌	4	3,353,300
	4	0208 悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, バーキットリンパ腫, CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫	4	9,272,068
	4	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣のう腫茎捻転, 子宮筋腫, 卵巣線維腫	4	1,067,958
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	4	2,070,853
	4	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症	4	2,270,668
	4	1011 その他の呼吸器系の疾患	特発性肺線維症, 急性間質性肺炎, 誤嚥性肺炎	4	3,638,933
	4	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症	4	2,021,728

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

3.疾病別医療費

(1)大分類による疾病別医療費統計

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の20.5%、「循環器系の疾患」は医療費合計の14.0%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類 (大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,919,187	1.6%	15	1,850	13	459	11	23,789	17
II. 新生物<腫瘍>	142,663,214	20.5%	1	2,217	11	511	9	279,184	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	11,447,083	1.6%	14	746	17	195	16	58,703	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	55,462,727	8.0%	3	9,929	2	907	2	61,150	10
V. 精神及び行動の障害	39,745,055	5.7%	9	2,320	10	205	15	193,878	3
VI. 神経系の疾患	34,934,344	5.0%	10	4,913	5	459	11	76,110	9
VII. 眼及び付属器の疾患	26,028,246	3.7%	11	2,979	8	672	6	38,733	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,159,216	0.3%	19	501	18	145	18	14,891	21
IX. 循環器系の疾患	97,744,079	14.0%	2	10,349	1	841	3	116,224	5
X. 呼吸器系の疾患	43,677,230	6.3%	7	4,855	6	910	1	47,997	14
X I. 消化器系の疾患 ※	44,481,003	6.4%	6	7,026	4	831	4	53,527	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	12,738,730	1.8%	13	3,119	7	604	8	21,091	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	47,659,405	6.8%	5	7,041	3	800	5	59,574	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	48,452,510	7.0%	4	2,660	9	443	13	109,374	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,176,691	0.2%	21	30	20	11	20	106,972	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,378,292	0.2%	20	11	22	7	21	196,899	2
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	4,602,047	0.7%	18	96	19	32	19	143,814	4
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,537,807	1.2%	16	2,208	12	510	10	16,741	20
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	42,876,641	6.2%	8	1,506	14	409	14	104,833	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,994,962	0.9%	17	1,083	16	183	17	32,759	16
X X II. 特殊目的用コード	13,185,606	1.9%	12	1,397	15	619	7	21,301	18
分類外	28,255	0.0%	22	22	21	6	22	4,709	22
合計	695,892,330			26,357		1,850		376,158	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

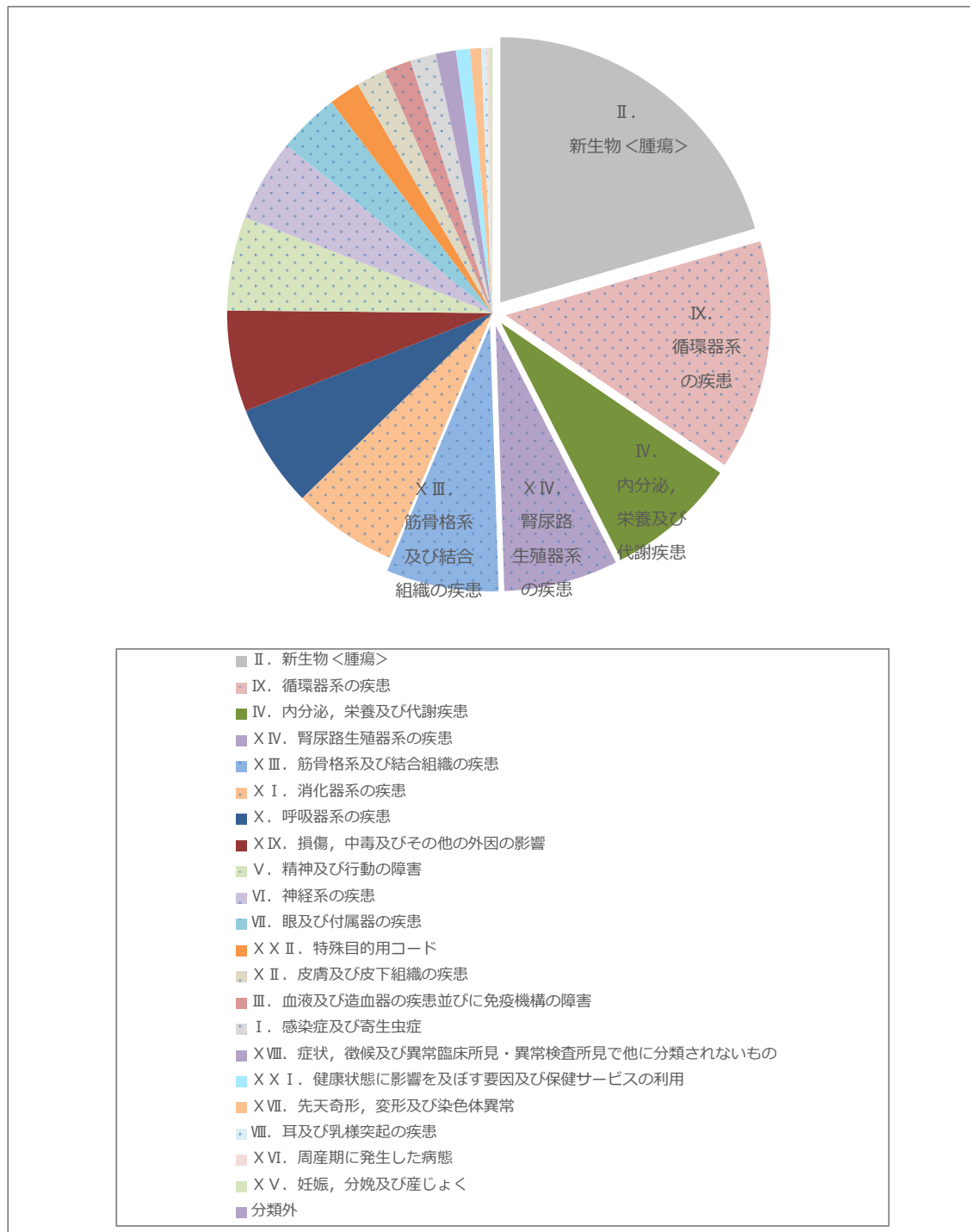
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「腎尿路生殖器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

以下は、令和2年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示したものである。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各年度毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類 (大分類)	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	12,523,726	1.9%	13	10,847,248	1.6%	14	10,919,187	1.6%	15
II. 新生物<腫瘍>	95,251,623	14.4%	2	108,979,507	16.1%	1	142,663,214	20.5%	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	7,806,206	1.2%	16	6,711,698	1.0%	17	11,447,083	1.6%	14
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	61,035,279	9.2%	4	63,590,733	9.4%	4	55,462,727	8.0%	3
V. 精神及び行動の障害	47,833,037	7.2%	6	33,736,829	5.0%	9	39,745,055	5.7%	9
VI. 神経系の疾患	33,866,047	5.1%	9	35,804,651	5.3%	8	34,934,344	5.0%	10
VII. 眼及び付属器の疾患	28,770,707	4.3%	10	27,714,779	4.1%	11	26,028,246	3.7%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,701,412	0.3%	19	1,979,546	0.3%	19	2,159,216	0.3%	19
IX. 循環器系の疾患	99,532,873	15.0%	1	91,806,941	13.5%	2	97,744,079	14.0%	2
X. 呼吸器系の疾患	37,699,822	5.7%	8	47,231,490	7.0%	6	43,677,230	6.3%	7
X I. 消化器系の疾患 ※	43,841,301	6.6%	7	41,566,492	6.1%	7	44,481,003	6.4%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	17,402,371	2.6%	12	15,132,339	2.2%	13	12,738,730	1.8%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	67,035,338	10.1%	3	64,852,264	9.6%	3	47,659,405	6.8%	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	55,256,058	8.3%	5	58,808,984	8.7%	5	48,452,510	7.0%	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,178,911	0.2%	20	1,409,387	0.2%	20	1,176,691	0.2%	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	336,454	0.1%	21	371,680	0.1%	21	1,378,292	0.2%	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,166,658	0.3%	18	3,753,960	0.6%	18	4,602,047	0.7%	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,527,083	1.3%	15	8,003,880	1.2%	15	8,537,807	1.2%	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	26,492,071	4.0%	11	33,023,386	4.9%	10	42,876,641	6.2%	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,887,929	1.3%	14	7,526,844	1.1%	16	5,994,962	0.9%	17
X X II. 特殊目的用コード	5,038,881	0.8%	17	15,215,874	2.2%	12	13,185,606	1.9%	12
分類外	77,593	0.0%	22	42,108	0.0%	22	28,255	0.0%	22
合計	662,261,380			678,110,620			695,892,330		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

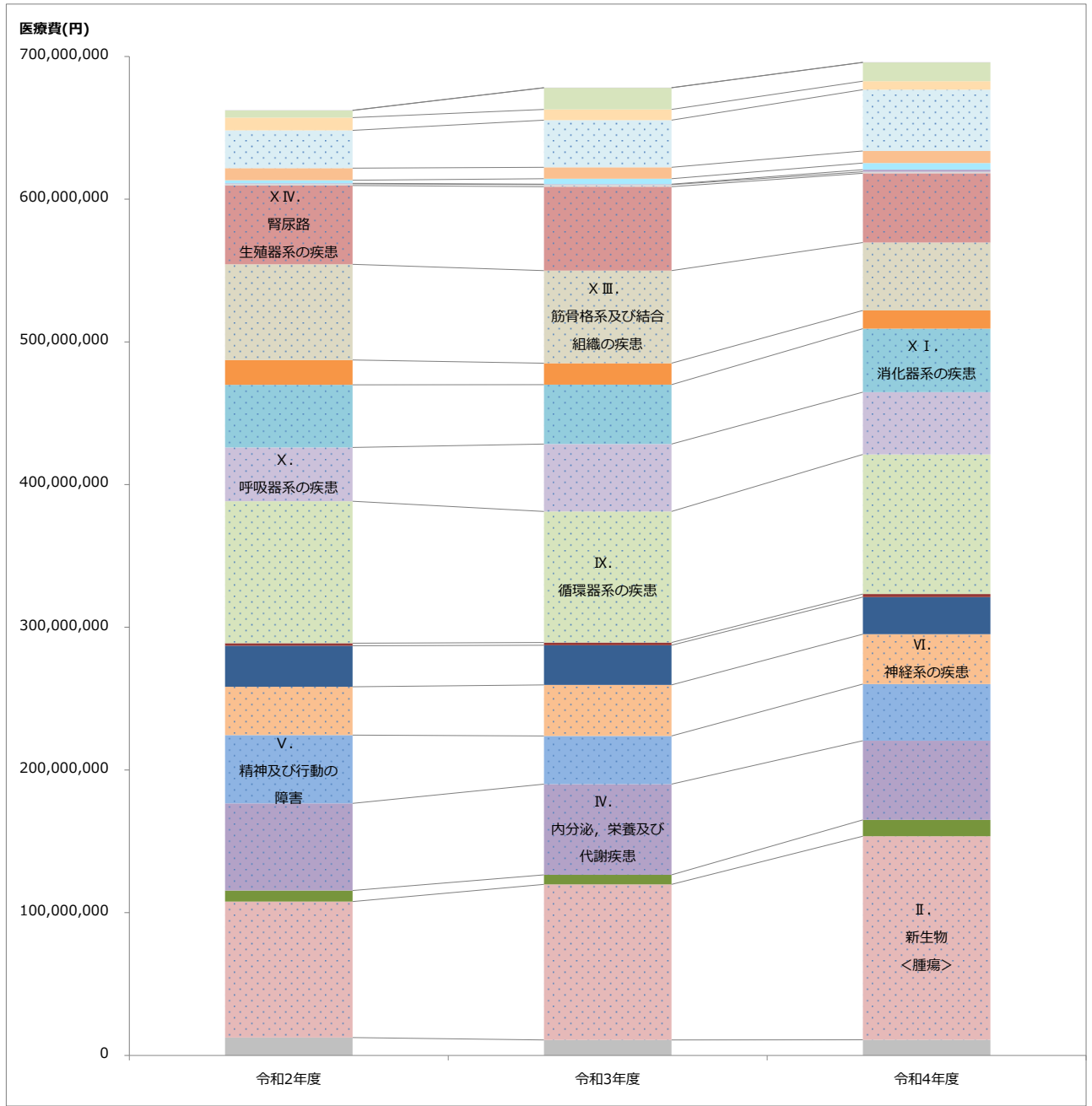
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医療レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(2)中分類による疾病別医療費統計

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示したものである。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類 (中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	61,743,320	8.9%	232
2	1402	腎不全	30,972,339	4.5%	55
3	1901	骨折	30,900,633	4.4%	147
4	0903	その他の心疾患	30,654,373	4.4%	443
5	0208	悪性リンパ腫	30,269,953	4.3%	14
6	0402	糖尿病	29,611,981	4.3%	569
7	1113	その他の消化器系の疾患	26,453,088	3.8%	559
8	0901	高血圧性疾患	23,626,370	3.4%	639
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,787,864	3.3%	55
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	16,157,587	2.3%	234

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類 (中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	23,626,370	639	34.5%
2	2220	その他の特殊目的用コード	13,185,606	619	33.5%
3	0402	糖尿病	29,611,981	569	30.8%
4	1113	その他の消化器系の疾患	26,453,088	559	30.2%
5	0403	脂質異常症	15,113,963	511	27.6%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,537,807	510	27.6%
7	0703	屈折及び調節の障害	1,769,068	506	27.4%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	13,953,130	473	25.6%
9	0903	その他の心疾患	30,654,373	443	23.9%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	5,046,749	440	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

順位	疾病分類 (中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0208 悪性リンパ腫	30,269,953	14	2,162,140
2	1402 腎不全	30,972,339	55	563,133
3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	7,436,139	16	464,759
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,787,864	55	414,325
5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2,714,178	8	339,272
6	1602 その他の周産期に発生した病態	1,368,726	5	273,745
7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	61,743,320	232	266,135
8	0601 パーキンソン病	5,162,119	20	258,106
9	0905 脳内出血	6,869,977	27	254,444
10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,916,257	37	240,980

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、令和2年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示したものである。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類 (中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
令和2年度	1	1402 腎不全	39,029,372	5.9%	47
	2	0402 糖尿病	32,601,282	4.9%	556
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	32,331,729	4.9%	212
	4	0903 その他の心疾患	30,284,396	4.6%	410
	5	0901 高血圧性疾患	27,804,305	4.2%	656
	6	1113 その他の消化器系の疾患	27,683,014	4.2%	559
	7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	24,713,526	3.7%	71
	8	1302 関節症	18,608,245	2.8%	274
	9	0403 脂質異常症	18,578,163	2.8%	499
	10	1901 骨折	15,821,159	2.4%	134
令和3年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	54,760,212	8.1%	233
	2	1402 腎不全	44,452,316	6.6%	44
	3	0402 糖尿病	32,700,473	4.8%	588
	4	1113 その他の消化器系の疾患	29,537,972	4.4%	550
	5	0901 高血圧性疾患	26,613,405	3.9%	670
	6	0903 その他の心疾患	25,327,114	3.7%	439
	7	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	23,739,790	3.5%	404
	8	1901 骨折	22,105,138	3.3%	133
	9	1011 その他の呼吸器系の疾患	19,522,313	2.9%	157
	10	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	18,170,868	2.7%	56
令和4年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	61,743,320	8.9%	232
	2	1402 腎不全	30,972,339	4.5%	55
	3	1901 骨折	30,900,633	4.4%	147
	4	0903 その他の心疾患	30,654,373	4.4%	443
	5	0208 悪性リンパ腫	30,269,953	4.3%	14
	6	0402 糖尿病	29,611,981	4.3%	569
	7	1113 その他の消化器系の疾患	26,453,088	3.8%	559
	8	0901 高血圧性疾患	23,626,370	3.4%	639
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,787,864	3.3%	55
	10	1011 その他の呼吸器系の疾患	16,157,587	2.3%	234

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者数上位10疾病を年度別に示したものである。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類 (中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
令和2年度	1	0901 高血圧性疾患	27,804,305	656	35.7%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	27,683,014	559	30.4%
	3	0402 糖尿病	32,601,282	556	30.3%
	4	0403 脂質異常症	18,578,163	499	27.2%
	5	0703 屈折及び調節の障害	1,878,250	498	27.1%
	6	1202 皮膚炎及び湿疹	6,764,516	473	25.8%
	7	0606 その他の神経系の疾患	15,154,122	444	24.2%
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	14,724,536	436	23.7%
	9	0903 その他の心疾患	30,284,396	410	22.3%
	10	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,527,083	402	21.9%
令和3年度	1	0901 高血圧性疾患	26,613,405	670	36.6%
	2	0402 糖尿病	32,700,473	588	32.1%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,003,880	566	30.9%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	29,537,972	550	30.0%
	5	0403 脂質異常症	17,641,857	513	28.0%
	6	0703 屈折及び調節の障害	1,865,370	496	27.1%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	6,521,134	491	26.8%
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	14,548,240	446	24.3%
	9	0903 その他の心疾患	25,327,114	439	24.0%
	10	2220 その他の特殊目的用コード	15,215,874	407	22.2%
令和4年度	1	0901 高血圧性疾患	23,626,370	639	34.5%
	2	2220 その他の特殊目的用コード	13,185,606	619	33.5%
	3	0402 糖尿病	29,611,981	569	30.8%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	26,453,088	559	30.2%
	5	0403 脂質異常症	15,113,963	511	27.6%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,537,807	510	27.6%
	7	0703 屈折及び調節の障害	1,769,068	506	27.4%
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	13,953,130	473	25.6%
	9	0903 その他の心疾患	30,654,373	443	23.9%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	5,046,749	440	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示したものである。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類 (中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
令和2年度	1	0209 白血病	6,378,819	2	3,189,410
	2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,127,630	13	855,972
	3	1402 腎不全	39,029,372	47	830,412
	4	0501 血管性及び詳細不明の認知症	3,747,977	6	624,663
	5	0904 くも膜下出血	2,472,522	4	618,131
	6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	15,442,098	30	514,737
	7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	24,713,526	71	348,078
	8	0601 パーキンソン病	6,258,975	20	312,949
	9	1602 その他の周産期に発生した病態	306,180	1	306,180
	10	0905 脳内出血	7,409,955	25	296,398
令和3年度	1	1402 腎不全	44,452,316	44	1,010,280
	2	0209 白血病	2,955,548	4	738,887
	3	0904 くも膜下出血	4,418,017	6	736,336
	4	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	15,380,823	29	530,373
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	5,028,517	10	502,852
	6	0905 脳内出血	9,902,928	26	380,882
	7	1602 その他の周産期に発生した病態	355,110	1	355,110
	8	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	4,198,211	12	349,851
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	18,170,868	56	324,480
	10	0601 パーキンソン病	5,809,232	18	322,735
令和4年度	1	0208 悪性リンパ腫	30,269,953	14	2,162,140
	2	1402 腎不全	30,972,339	55	563,133
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	7,436,139	16	464,759
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,787,864	55	414,325
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2,714,178	8	339,272
	6	1602 その他の周産期に発生した病態	1,368,726	5	273,745
	7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	61,743,320	232	266,135
	8	0601 パーキンソン病	5,162,119	20	258,106
	9	0905 脳内出血	6,869,977	27	254,444
	10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,916,257	37	240,980

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	695,892,330			26,357			1,850		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,919,187	1.6%		1,850	7.0%		459	24.8%		23,789	
0101 腸管感染症	778,484	0.1%	85	370	1.4%	52	124	6.7%	41	6,278	102
0102 結核	371,257	0.1%	92	74	0.3%	93	30	1.6%	82	12,375	85
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	231,379	0.0%	99	83	0.3%	89	46	2.5%	72	5,030	106
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	1,396,854	0.2%	71	339	1.3%	56	88	4.8%	54	15,873	79
0105 ウイルス性肝炎	1,062,020	0.2%	82	178	0.7%	72	61	3.3%	62	17,410	75
0106 その他のウイルス性疾患	106,357	0.0%	106	31	0.1%	104	22	1.2%	90	4,834	108
0107 真菌症	4,855,332	0.7%	44	728	2.8%	39	149	8.1%	36	32,586	55
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	58,700	0.0%	109	14	0.1%	111	5	0.3%	111	11,740	87
0109 その他の感染症及び寄生虫症	2,058,804	0.3%	65	339	1.3%	56	93	5.0%	49	22,138	66
II. 新生物<腫瘍>	142,663,214	20.5%		2,217	8.4%		511	27.6%		279,184	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	3,955,197	0.6%	48	280	1.1%	61	109	5.9%	44	36,286	49
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	6,878,913	1.0%	33	254	1.0%	64	90	4.9%	51	76,432	24
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	7,436,139	1.1%	28	109	0.4%	85	16	0.9%	94	464,759	3
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	379,728	0.1%	91	76	0.3%	92	29	1.6%	83	13,094	84
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	10,145,548	1.5%	20	226	0.9%	69	69	3.7%	59	147,037	17
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,916,257	1.3%	22	254	1.0%	64	37	2.0%	79	240,980	10
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	4,844,042	0.7%	45	64	0.2%	98	26	1.4%	88	186,309	13
0208 悪性リンパ腫	30,269,953	4.3%	5	107	0.4%	86	14	0.8%	97	2,162,140	1
0209 白血病	192,745	0.0%	100	6	0.0%	116	5	0.3%	111	38,549	45
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	61,743,320	8.9%	1	1,037	3.9%	30	232	12.5%	25	266,135	7
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	7,901,372	1.1%	27	569	2.2%	44	215	11.6%	27	36,751	48
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	11,447,083	1.6%		746	2.8%		195	10.5%		58,703	
0301 貧血	8,908,176	1.3%	23	457	1.7%	49	96	5.2%	48	92,794	23
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,538,907	0.4%	60	358	1.4%	53	125	6.8%	40	20,311	69
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	55,462,727	8.0%		9,929	37.7%		907	49.0%		61,150	
0401 甲状腺障害	3,643,542	0.5%	50	738	2.8%	38	172	9.3%	32	21,183	68
0402 糖尿病	29,611,981	4.3%	6	4,349	16.5%	5	569	30.8%	3	52,042	35
0403 脂質異常症	15,113,963	2.2%	11	6,521	24.7%	2	511	27.6%	5	29,577	56
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	7,093,241	1.0%	31	2,002	7.6%	14	268	14.5%	21	26,467	63
V. 精神及び行動の障害	39,745,055	5.7%		2,320	8.8%		205	11.1%		193,878	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	1,369,496	0.2%	75	24	0.1%	107	9	0.5%	101	152,166	16
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	654,710	0.1%	88	73	0.3%	94	9	0.5%	101	72,746	25
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	22,787,864	3.3%	9	813	3.1%	35	55	3.0%	67	414,325	4

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	695,892,330			26,357			1,850		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)		
											順位	
0504	気分【感情】障害(躁うつ病を含む)	9,293,285	1.3%	21	1,276	4.8%	24	97	5.2%	47	95,807	22
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	3,085,428	0.4%	55	1,088	4.1%	26	110	5.9%	43	28,049	60
0506	知的障害<精神遅滞>	191,097	0.0%	101	89	0.3%	87	8	0.4%	103	23,887	65
0507	その他の精神及び行動の障害	2,363,175	0.3%	62	308	1.2%	60	33	1.8%	80	71,611	27
VI. 神経系の疾患		34,934,344	5.0%		4,913	18.6%		459	24.8%		76,110	
0601	パーキンソン病	5,162,119	0.7%	40	223	0.8%	70	20	1.1%	91	258,106	8
0602	アルツハイマー病	1,319,417	0.2%	78	42	0.2%	103	8	0.4%	103	164,927	14
0603	てんかん	11,902,573	1.7%	17	654	2.5%	40	58	3.1%	64	205,217	12
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2,714,178	0.4%	59	72	0.3%	95	8	0.4%	103	339,272	5
0605	自律神経系の障害	51,951	0.0%	111	31	0.1%	104	3	0.2%	115	17,317	76
0606	その他の神経系の疾患	13,784,106	2.0%	14	4,431	16.8%	4	420	22.7%	12	32,819	54
VII. 眼及び付属器の疾患		26,028,246	3.7%		2,979	11.3%		672	36.3%		38,733	
0701	結膜炎	2,156,871	0.3%	64	1,424	5.4%	21	342	18.5%	14	6,307	101
0702	白内障	8,149,177	1.2%	26	1,062	4.0%	29	235	12.7%	23	34,677	50
0703	屈折及び調節の障害	1,769,068	0.3%	68	2,045	7.8%	13	506	27.4%	7	3,496	116
0704	その他の眼及び付属器の疾患	13,953,130	2.0%	13	2,180	8.3%	11	473	25.6%	8	29,499	57
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		2,159,216	0.3%		501	1.9%		145	7.8%		14,891	
0801	外耳炎	170,010	0.0%	104	176	0.7%	73	51	2.8%	70	3,334	118
0802	その他の外耳疾患	284,868	0.0%	97	133	0.5%	79	58	3.1%	64	4,912	107
0803	中耳炎	300,968	0.0%	95	129	0.5%	80	32	1.7%	81	9,405	94
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	37,766	0.0%	113	55	0.2%	100	11	0.6%	99	3,433	117
0805	メニエール病	295,096	0.0%	96	80	0.3%	90	18	1.0%	93	16,394	78
0806	その他の内耳疾患	800,039	0.1%	84	66	0.3%	97	16	0.9%	94	50,002	37
0807	その他の耳疾患	270,469	0.0%	98	117	0.4%	83	41	2.2%	74	6,597	100
IX. 循環器系の疾患		97,744,079	14.0%		10,349	39.3%		841	45.5%		116,224	
0901	高血圧性疾患	23,626,370	3.4%	8	8,786	33.3%	1	639	34.5%	1	36,974	46
0902	虚血性心疾患	12,368,003	1.8%	16	1,803	6.8%	17	191	10.3%	30	64,754	30
0903	その他の心疾患	30,654,373	4.4%	4	3,438	13.0%	6	443	23.9%	9	69,197	28
0904	くも膜下出血	13,462	0.0%	117	10	0.0%	113	3	0.2%	115	4,487	112
0905	脳内出血	6,869,977	1.0%	34	79	0.3%	91	27	1.5%	85	254,444	9
0906	脳梗塞	5,000,903	0.7%	43	794	3.0%	36	84	4.5%	55	59,535	32
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908	その他の脳血管疾患	3,217,931	0.5%	53	248	0.9%	66	57	3.1%	66	56,455	34
0909	動脈硬化(症)	1,129,438	0.2%	80	354	1.3%	54	60	3.2%	63	18,824	72
0911	低血圧(症)	81,225	0.0%	108	68	0.3%	96	8	0.4%	103	10,153	92
0912	その他の循環器系の疾患	14,782,397	2.1%	12	554	2.1%	45	112	6.1%	42	131,986	19
X. 呼吸器系の疾患		43,677,230	6.3%		4,855	18.4%		910	49.2%		47,997	
1001	急性鼻咽頭炎【かぜ】<感冒>	183,824	0.0%	103	120	0.5%	82	41	2.2%	74	4,484	113
1002	急性咽喉頭炎及び急性扁桃炎	1,504,885	0.2%	69	814	3.1%	34	334	18.1%	15	4,506	111
1003	その他の急性上気道感染症	1,959,310	0.3%	66	642	2.4%	41	212	11.5%	28	9,242	95

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	695,892,330			26,357			1,850		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
												1004
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	747,909	0.1%	86	316	1.2%	59	129	7.0%	39	5,798	104
1006	アレルギー性鼻炎	5,155,907	0.7%	41	2,206	8.4%	8	427	23.1%	11	12,075	86
1007	慢性副鼻腔炎	730,283	0.1%	87	342	1.3%	55	81	4.4%	56	9,016	96
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	331,039	0.0%	93	262	1.0%	62	89	4.8%	52	3,720	115
1009	慢性閉塞性肺疾患	3,201,548	0.5%	54	533	2.0%	47	70	3.8%	57	45,736	40
1010	喘息	6,746,356	1.0%	35	1,087	4.1%	27	163	8.8%	33	41,389	42
1011	その他の呼吸器系の疾患	16,157,587	2.3%	10	863	3.3%	33	234	12.6%	24	69,050	29
X I. 消化器系の疾患		44,481,003	6.4%		7,026	26.7%		831	44.9%		53,527	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	14,738	0.0%	116	11	0.0%	112	5	0.3%	111	2,948	119
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	289	0.0%	120	2	0.0%	119	1	0.1%	119	289	120
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	4,172,436	0.6%	47	1,780	6.8%	18	238	12.9%	22	17,531	74
1105	胃炎及び十二指腸炎	3,050,212	0.4%	56	1,903	7.2%	16	319	17.2%	17	9,562	93
1106	痔核	536,512	0.1%	89	135	0.5%	78	39	2.1%	78	13,757	83
1107	アルコール性肝疾患	822,189	0.1%	83	20	0.1%	109	6	0.3%	108	137,032	18
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	185,267	0.0%	102	116	0.4%	84	12	0.6%	98	15,439	80
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	314,361	0.0%	94	122	0.5%	81	27	1.5%	85	11,643	88
1110	その他の肝疾患	5,186,142	0.7%	39	550	2.1%	46	141	7.6%	38	36,781	47
1111	胆石症及び胆のう炎	1,385,155	0.2%	72	141	0.5%	76	51	2.8%	70	27,160	61
1112	膵疾患	2,360,614	0.3%	63	138	0.5%	77	41	2.2%	74	57,576	33
1113	その他の消化器系の疾患	26,453,088	3.8%	7	5,060	19.2%	3	559	30.2%	4	47,322	38
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		12,738,730	1.8%		3,119	11.8%		604	32.6%		21,091	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	1,118,662	0.2%	81	258	1.0%	63	104	5.6%	46	10,756	90
1202	皮膚炎及び湿疹	5,046,749	0.7%	42	2,191	8.3%	9	440	23.8%	10	11,470	89
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	6,573,319	0.9%	36	1,517	5.8%	19	333	18.0%	16	19,740	70
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患		47,659,405	6.8%		7,041	26.7%		800	43.2%		59,574	
1301	炎症性多発性関節障害	7,351,285	1.1%	29	1,332	5.1%	23	156	8.4%	35	47,124	39
1302	関節症	7,220,267	1.0%	30	1,954	7.4%	15	273	14.8%	20	26,448	64
1303	脊椎障害 (脊椎症を含む)	8,366,966	1.2%	25	1,442	5.5%	20	210	11.4%	29	39,843	43
1304	椎間板障害	1,349,210	0.2%	77	372	1.4%	51	69	3.7%	59	19,554	71
1305	頸腕症候群	389,264	0.1%	90	162	0.6%	75	26	1.4%	88	14,972	82
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	2,946,677	0.4%	57	2,161	8.2%	12	285	15.4%	19	10,339	91
1307	その他の脊柱障害	1,931,850	0.3%	67	247	0.9%	67	46	2.5%	72	41,997	41
1308	肩の傷害 <損傷>	1,370,641	0.2%	74	640	2.4%	42	89	4.8%	52	15,400	81
1309	骨の密度及び構造の障害	6,274,550	0.9%	37	1,200	4.6%	25	158	8.5%	34	39,712	44
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	10,458,695	1.5%	18	2,191	8.3%	9	367	19.8%	13	28,498	59

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
		695,892,330			26,357			1,850				
疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患		48,452,510	7.0%		2,660	10.1%		443	23.9%		109,374	
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3,257,580	0.5%	52	375	1.4%	50	63	3.4%	61	51,708	36
1402	腎不全	30,972,339	4.5%	2	471	1.8%	48	55	3.0%	67	563,133	2
1403	尿路結石症	2,501,561	0.4%	61	169	0.6%	74	41	2.2%	74	61,014	31
1404	その他の腎尿路系の疾患	3,944,141	0.6%	49	870	3.3%	32	222	12.0%	26	17,766	73
1405	前立腺肥大(症)	2,732,179	0.4%	58	766	2.9%	37	93	5.0%	49	29,378	58
1406	その他の男性生殖器の疾患	95,871	0.0%	107	55	0.2%	100	16	0.9%	94	5,992	103
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	1,404,352	0.2%	70	327	1.2%	58	53	2.9%	69	26,497	62
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	3,544,487	0.5%	51	238	0.9%	68	105	5.7%	45	33,757	51
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく		1,176,691	0.2%		30	0.1%		11	0.6%		106,972	
1501	流産	8,573	0.0%	119	1	0.0%	120	1	0.1%	119	8,573	97
1502	妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503	単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	1,168,118	0.2%	79	29	0.1%	106	10	0.5%	100	116,812	20
XVI. 周産期に発生した病態		1,378,292	0.2%		11	0.0%		7	0.4%		196,899	
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,566	0.0%	118	3	0.0%	118	2	0.1%	118	4,783	109
1602	その他の周産期に発生した病態	1,368,726	0.2%	76	8	0.0%	115	5	0.3%	111	273,745	6
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常		4,602,047	0.7%		96	0.4%		32	1.7%		143,814	
1701	心臓の先天奇形	51,307	0.0%	112	9	0.0%	114	6	0.3%	108	8,551	98
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	4,550,740	0.7%	46	89	0.3%	87	28	1.5%	84	162,526	15
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		8,537,807	1.2%		2,208	8.4%		510	27.6%		16,741	
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,537,807	1.2%	24	2,208	8.4%	7	510	27.6%	6	16,741	77
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響		42,876,641	6.2%		1,506	5.7%		409	22.1%		104,833	
1901	骨折	30,900,633	4.4%	3	618	2.3%	43	147	7.9%	37	210,208	11
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	1,377,729	0.2%	73	44	0.2%	102	19	1.0%	92	72,512	26
1903	熱傷及び腐食	56,466	0.0%	110	15	0.1%	110	7	0.4%	107	8,067	99
1904	中毒	108,245	0.0%	105	58	0.2%	99	27	1.5%	85	4,009	114
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	10,433,568	1.5%	19	955	3.6%	31	313	16.9%	18	33,334	52
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		5,994,962	0.9%		1,083	4.1%		183	9.9%		32,759	
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	15,528	0.0%	115	5	0.0%	117	3	0.2%	115	5,176	105
2102	予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104	歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	695,892,330	26,357	1,850

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105 特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106 その他の理由による保健サービスの 利用者	5,979,434	0.9%	38	1,078	4.1%	28	180	9.7%	31	33,219	53
X X II. 特殊目的用コード	13,185,606	1.9%		1,397	5.3%		619	33.5%		21,301	
2210 重症急性呼吸器症候群 [SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220 その他の特殊目的用コード	13,185,606	1.9%	15	1,397	5.3%	22	619	33.5%	2	21,301	67
分類外	28,255	0.0%		22	0.1%		6	0.3%		4,709	
9999 分類外	28,255	0.0%	114	22	0.1%	108	6	0.3%	108	4,709	110

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

4.生活習慣病に係る医療費等の状況

(1)生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計した結果を示す。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に係る重症化疾患を生活習慣病とし集計した。生活習慣病の医療費は1億2,471万円で、医療費全体に占める割合は17.9%である。

生活習慣病と生活習慣病以外の医療費

	入院(円)	構成比(%)	入院外(円)	構成比(%)	合計(円)	構成比(%)
生活習慣病	25,482,318	8.1%	99,224,118	25.9%	124,706,436	17.9%
生活習慣病以外	287,711,722	91.9%	283,474,172	74.1%	571,185,894	82.1%
合計(円)	313,194,040		382,698,290		695,892,330	

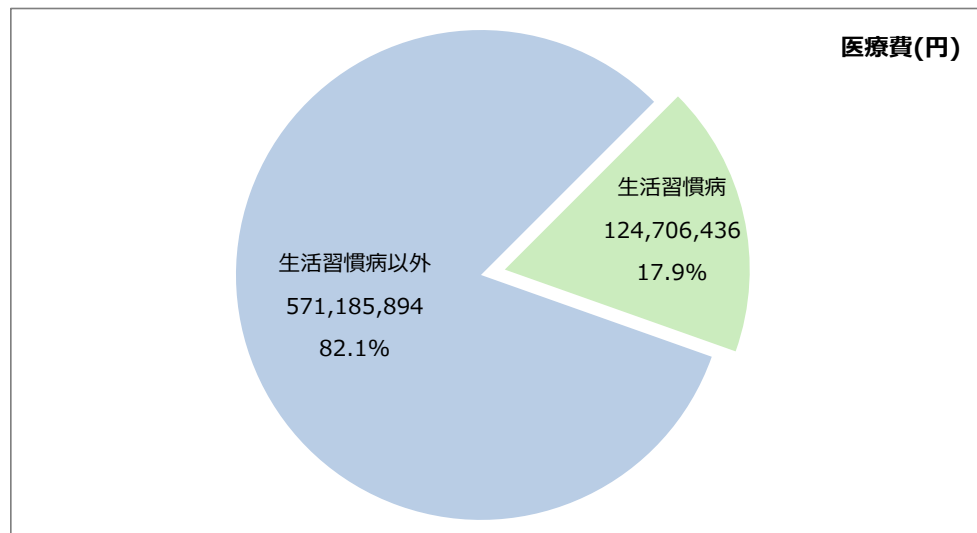
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合



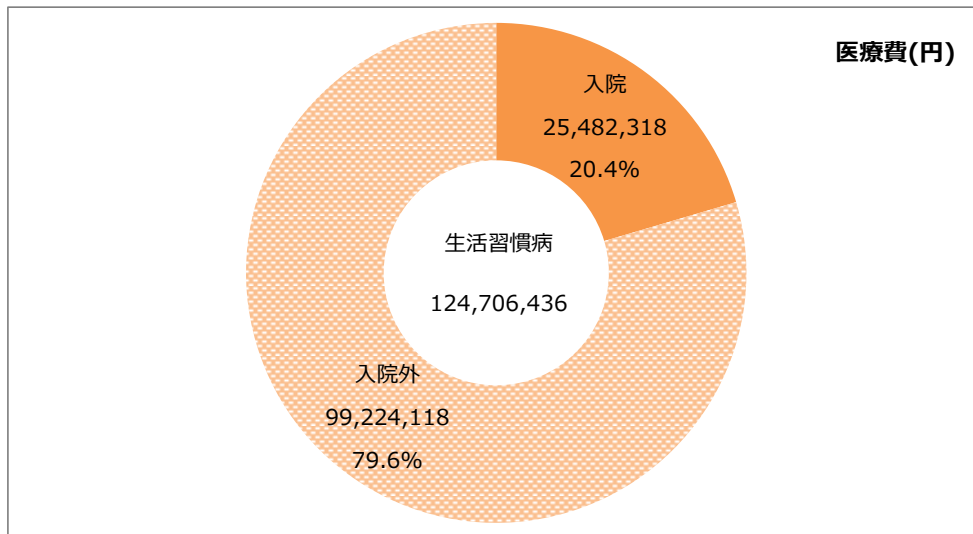
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病医療費に占める入院、入院外医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病で医療機関を受診している患者数は1,000人で、被保険者全体に占めるその割合は44.5%である。

医療機関受診状況及び生活習慣病罹患状況

		人数(人)	割合(%)
A	被保険者数	2,249	
B	医療機関受診者数(患者数)	1,863	82.8%
C	生活習慣病有 ※	1,000	44.5%
B-C	生活習慣病無 ※	863	38.4%
A-B	医療機関未受診者数	386	17.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

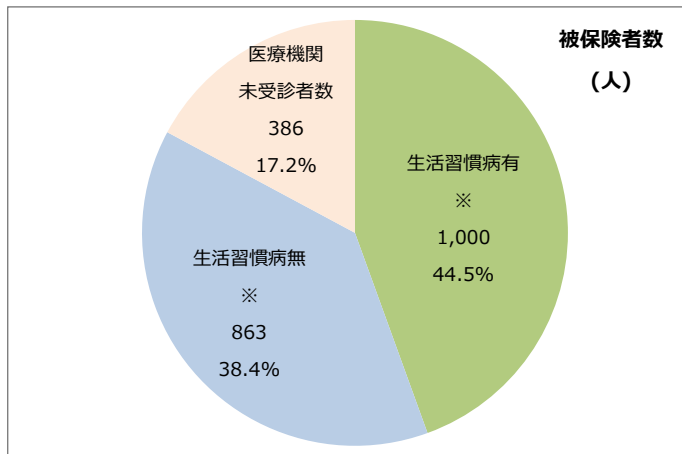
※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

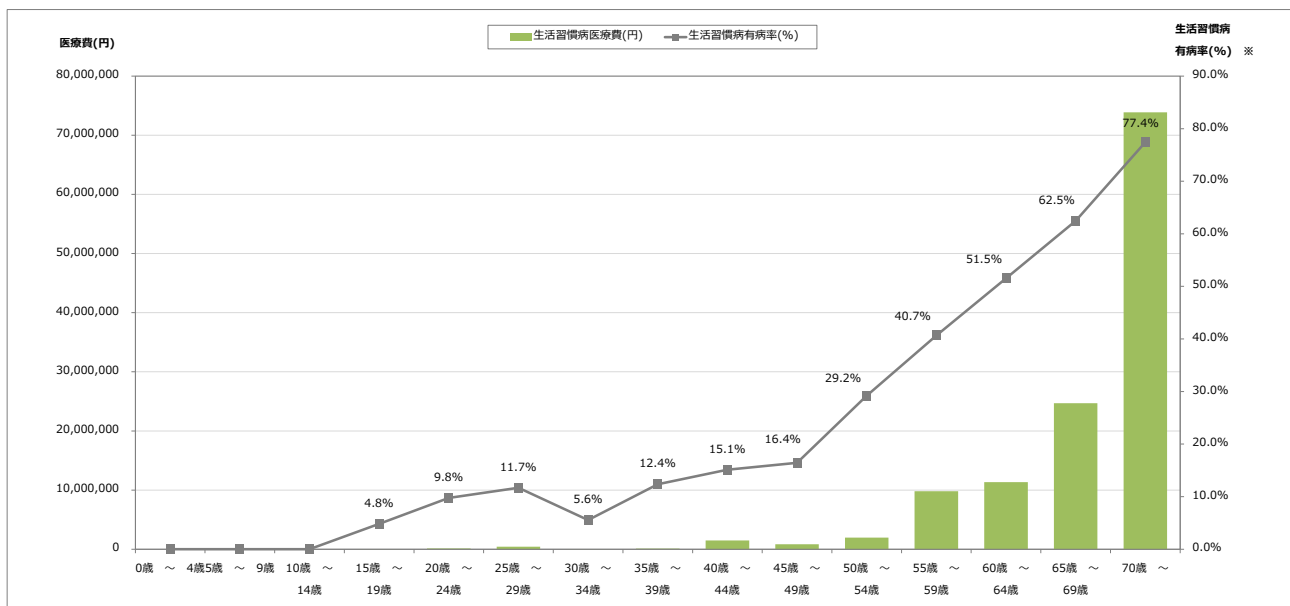
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階層別の生活習慣病医療費と有病率を以下に示す。年齢階層が上がるにつれて患者数が増え医療費が増大する傾向にある。

年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

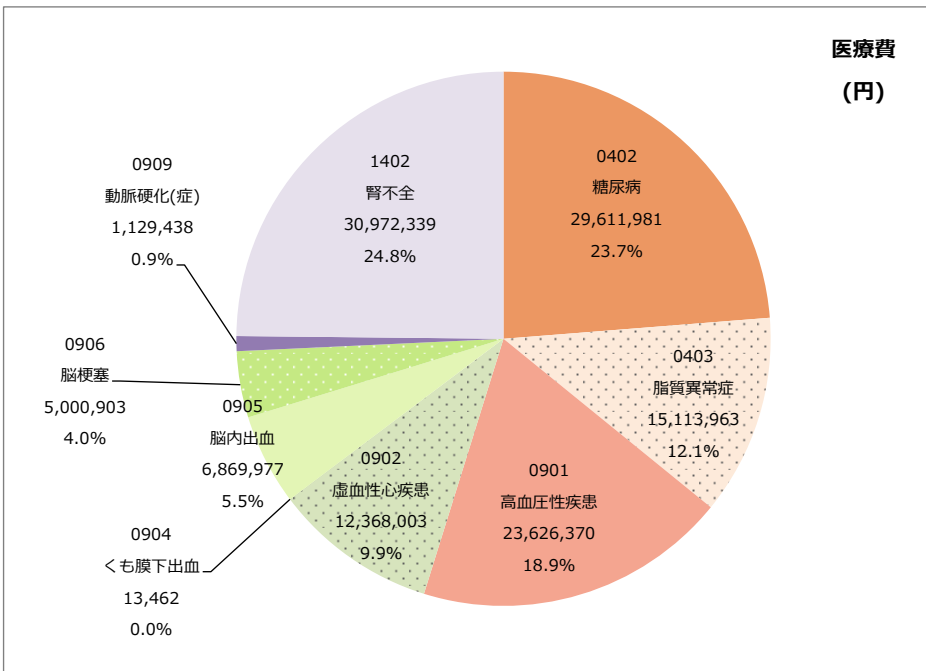
(2)生活習慣病疾病別医療費等の状況

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率は以下のとおりである。

生活習慣病疾病別 医療費統計

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	29,611,981	23.7%	2	569	25.3%	2	52,042	5
0403 脂質異常症	15,113,963	12.1%	4	511	22.7%	3	29,577	7
0901 高血圧性疾患	23,626,370	18.9%	3	639	28.4%	1	36,974	6
0902 虚血性心疾患	12,368,003	9.9%	5	191	8.5%	4	64,754	3
0904 くも膜下出血	13,462	0.0%	9	3	0.1%	9	4,487	9
0905 脳内出血	6,869,977	5.5%	6	27	1.2%	8	254,444	2
0906 脳梗塞	5,000,903	4.0%	7	84	3.7%	5	59,535	4
0907 脳動脈硬化(症)	0	0.0%	10	0	0.0%	10	0	10
0909 動脈硬化(症)	1,129,438	0.9%	8	60	2.7%	6	18,824	8
1402 腎不全	30,972,339	24.8%	1	55	2.4%	7	563,133	1
合計	124,706,436			1,000	44.5%		124,706	

生活習慣病疾病別 医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

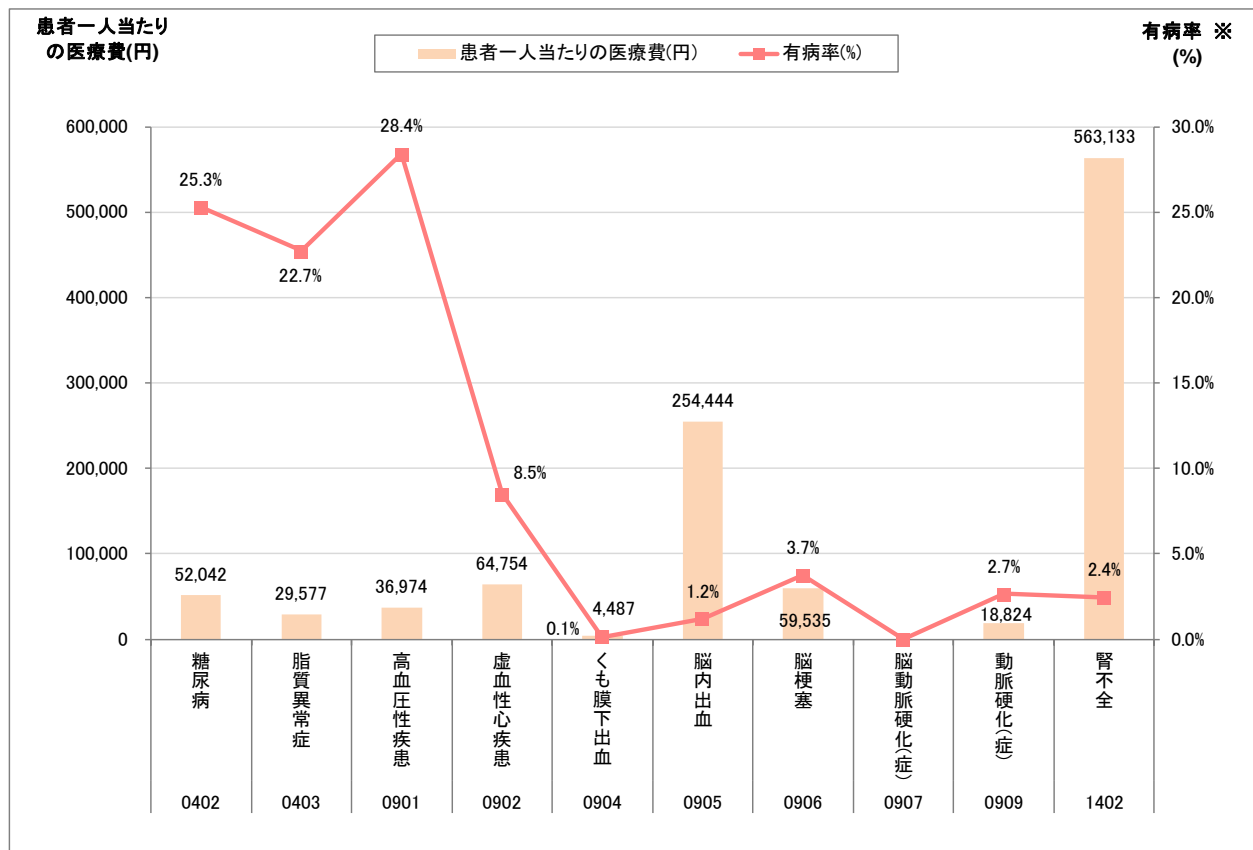
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病疾病別 患者一人当たりの医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

以下は、令和2年度から令和4年度における、生活習慣病医療費を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、糖尿病医療費2,961万円は、令和2年度3,260万円より299万円減少している。また、脂質異常症医療費1,511万円は、令和2年度1,858万円より347万円減少している。高血圧性疾患医療費2,363万円は、令和2年度2,780万円より417万円減少している。

年度別 生活習慣病医療費

疾病分類（中分類）		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	32,601,282	22.3%	32,700,473	21.1%	29,611,981	23.7%
0403	脂質異常症	18,578,163	12.7%	17,641,857	11.4%	15,113,963	12.1%
0901	高血圧性疾患	27,804,305	19.0%	26,613,405	17.2%	23,626,370	18.9%
0902	虚血性心疾患	13,856,263	9.5%	11,572,396	7.5%	12,368,003	9.9%
0904	くも膜下出血	2,472,522	1.7%	4,418,017	2.9%	13,462	0.0%
0905	脳内出血	7,409,955	5.1%	9,902,928	6.4%	6,869,977	5.5%
0906	脳梗塞	3,982,846	2.7%	4,923,405	3.2%	5,000,903	4.0%
0907	脳動脈硬化（症）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
0909	動脈硬化（症）	600,968	0.4%	2,645,994	1.7%	1,129,438	0.9%
1402	腎不全	39,029,372	26.7%	44,452,316	28.7%	30,972,339	24.8%
合計		146,335,676		154,870,791		124,706,436	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

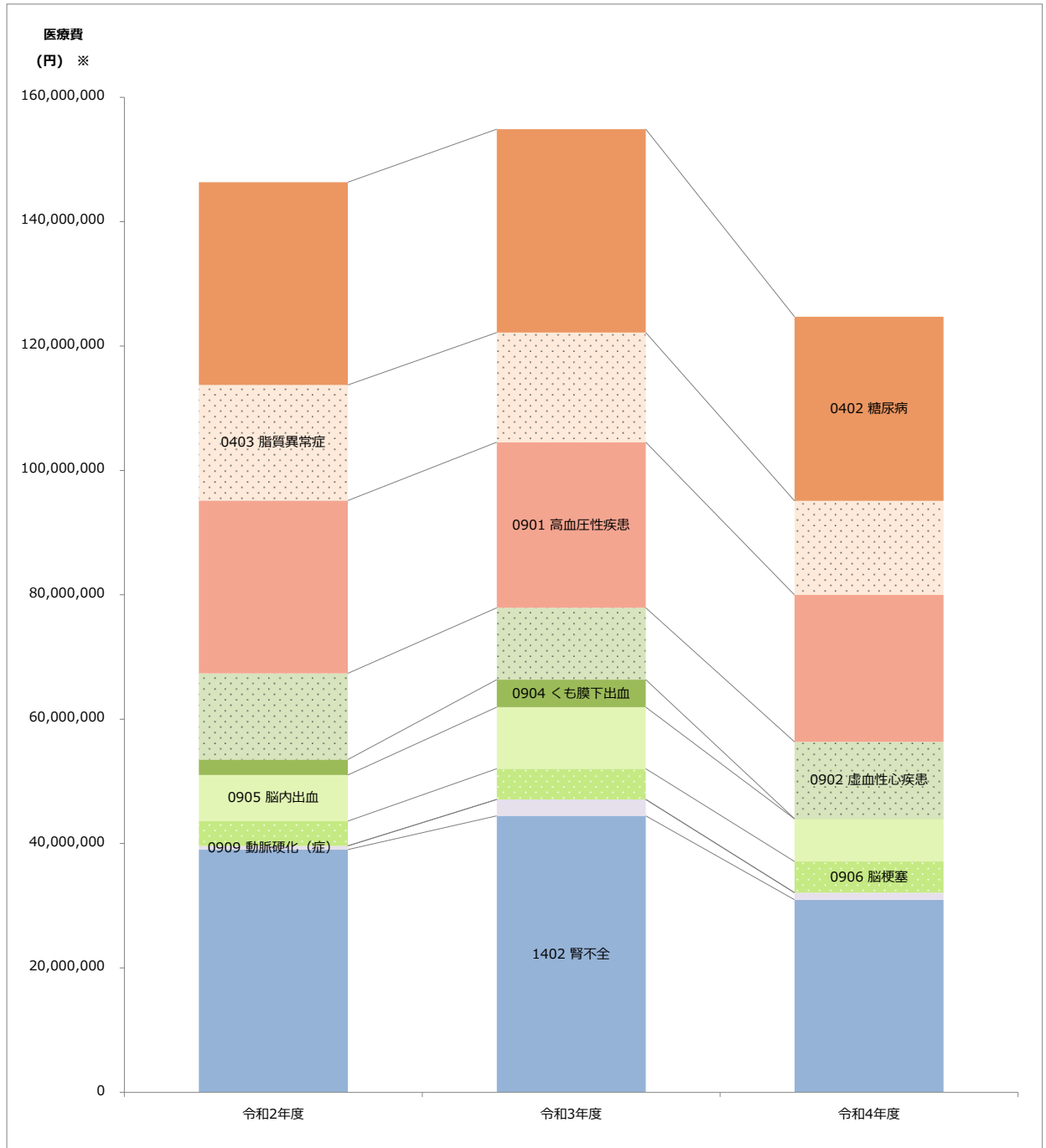
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

5.特定健康診査に係る分析結果

(1)メタボリックシンドローム該当状況

以下は、令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を示したものである。基準該当は14.9%、予備群該当は11.3%である。

メタボリックシンドローム該当状況

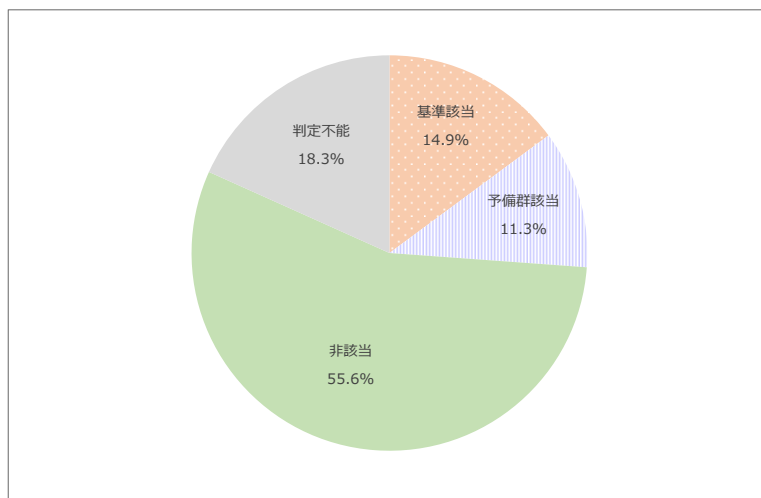
	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	673	100	76	374	123
割合(%) ※	-	14.9%	11.3%	55.6%	18.3%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

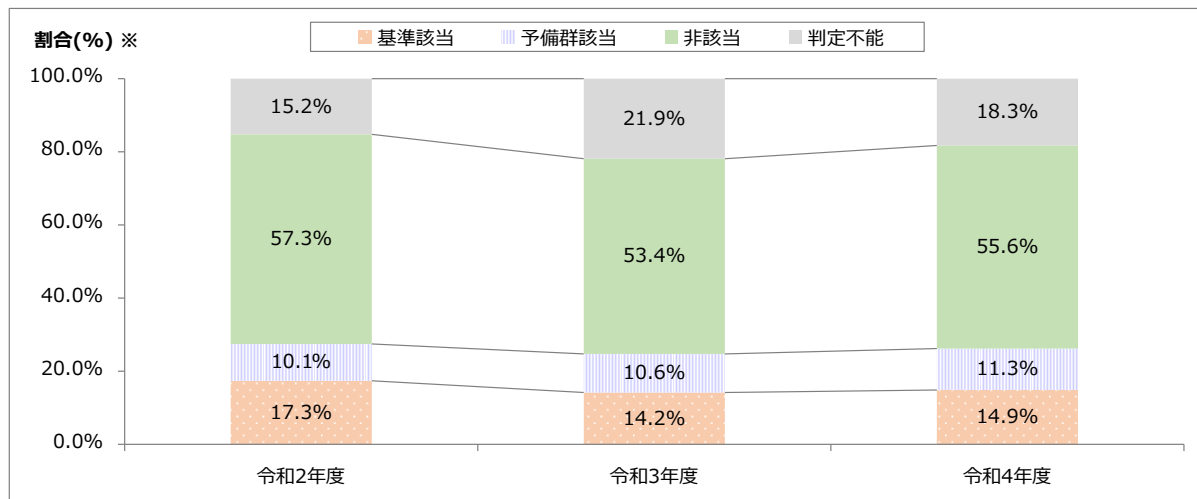
以下は、令和2年度から令和4年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、基準該当14.9%は令和2年度17.3%より2.4ポイント減少しており、予備群該当11.3%は令和2年度10.1%より1.2ポイント増加している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)
令和2年度	663
令和3年度	635
令和4年度	673

年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
令和2年度	115	17.3%	67	10.1%	380	57.3%	101	15.2%
令和3年度	90	14.2%	67	10.6%	339	53.4%	139	21.9%
令和4年度	100	14.9%	76	11.3%	374	55.6%	123	18.3%

年度別 メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(2)有所見者割合

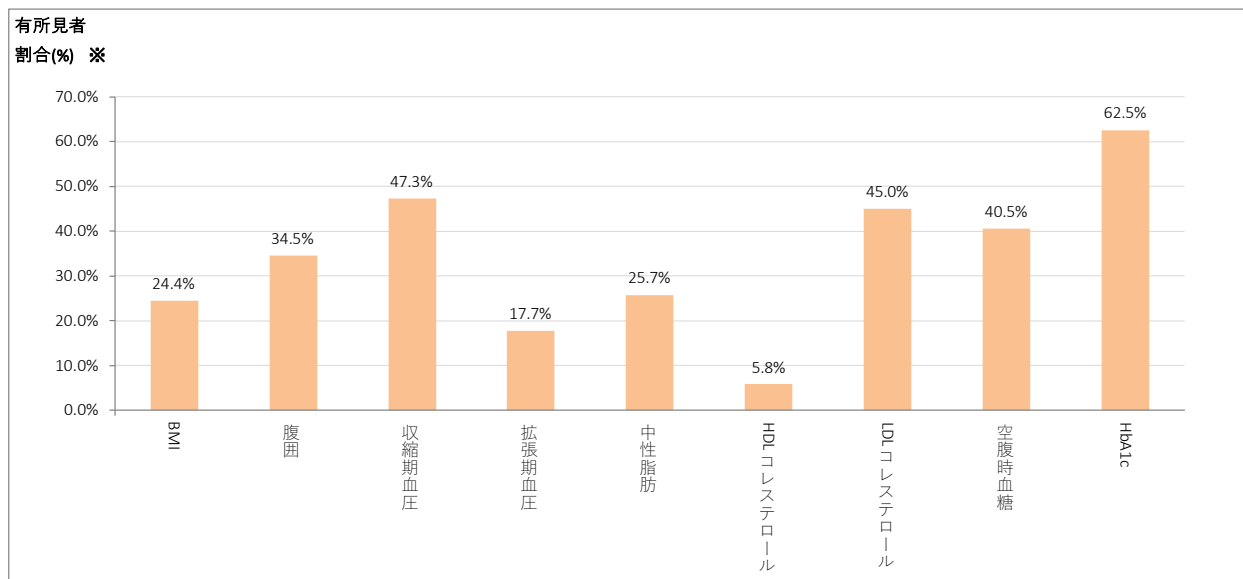
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下のとおりである。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	673	673	673	673
有所見者数(人) ※	164	232	318	119
有所見者割合(%) ※	24.4%	34.5%	47.3%	17.7%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	673	673	673	385	672
有所見者数(人) ※	173	39	303	156	420
有所見者割合(%) ※	25.7%	5.8%	45.0%	40.5%	62.5%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

以下は、令和2年度から令和4年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示したものである。

年度別 有所見者割合

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
BMI	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	179	156	164
	有所見者割合(%) ※	27.0%	24.6%	24.4%
腹囲	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	237	217	232
	有所見者割合(%) ※	35.7%	34.2%	34.5%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	290	289	318
	有所見者割合(%) ※	43.7%	45.5%	47.3%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	147	104	119
	有所見者割合(%) ※	22.2%	16.4%	17.7%
中性脂肪	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	177	141	173
	有所見者割合(%) ※	26.7%	22.2%	25.7%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	28	27	39
	有所見者割合(%) ※	4.2%	4.3%	5.8%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	313	321	303
	有所見者割合(%) ※	47.2%	50.6%	45.0%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	352	394	385
	有所見者数(人) ※	117	125	156
	有所見者割合(%) ※	33.2%	31.7%	40.5%
HbA1c	対象者数(人) ※	663	635	672
	有所見者数(人) ※	379	376	420
	有所見者割合(%) ※	57.2%	59.2%	62.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

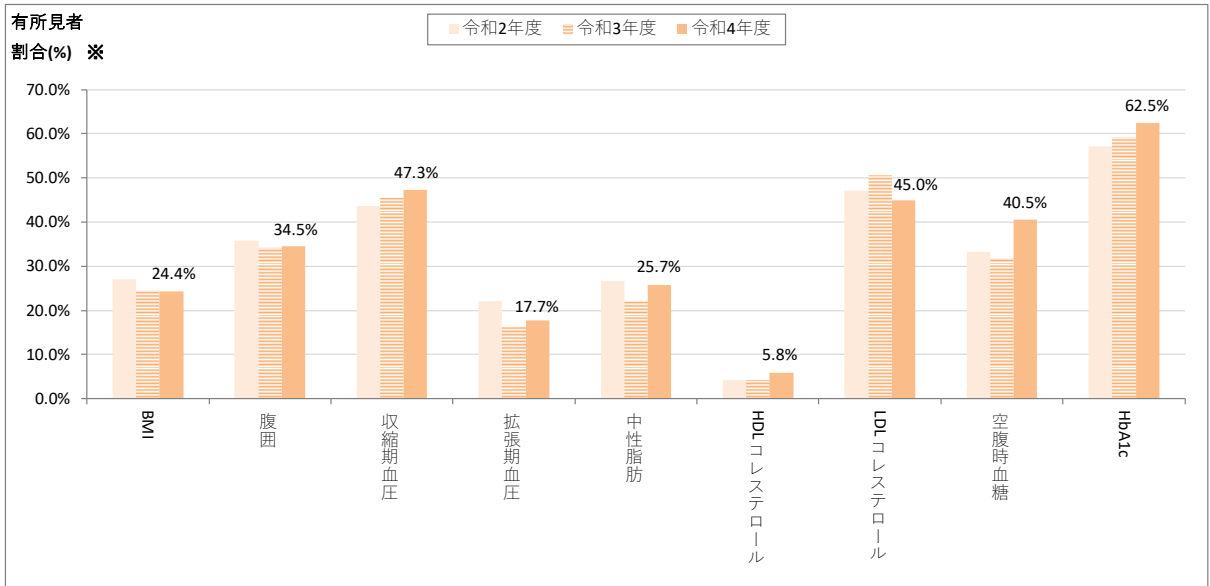
BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

(3)質問別回答状況

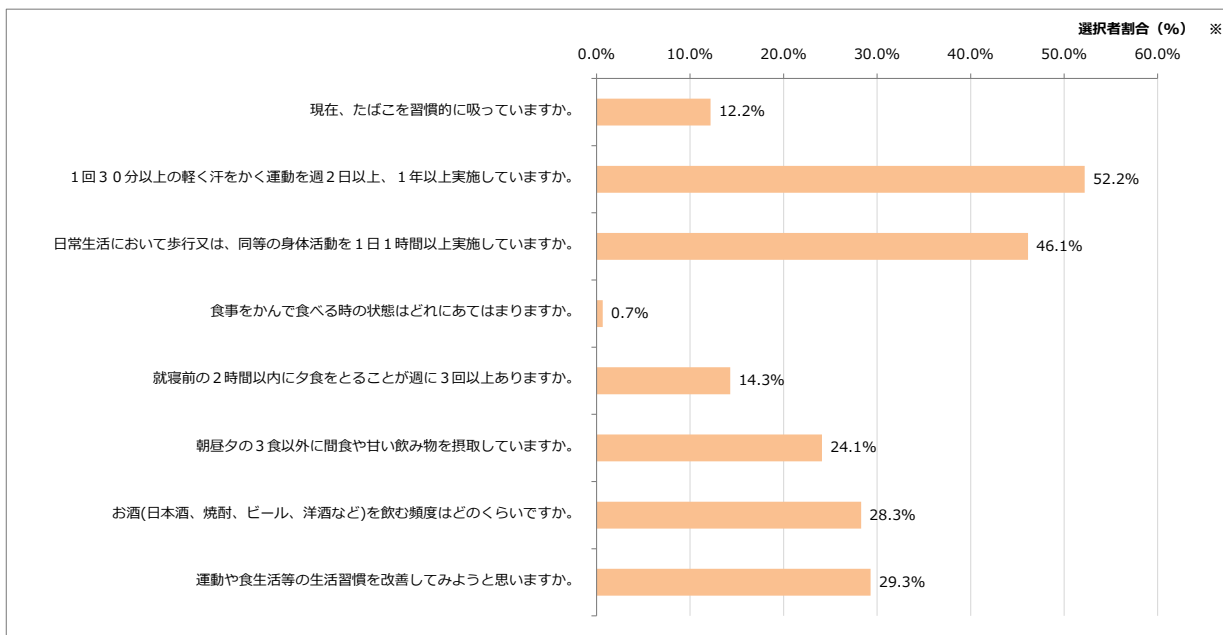
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合は以下のとおりである。

対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

	喫煙	運動		口腔機能
	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
質問の選択肢	「はい」	「いいえ」	「いいえ」	「ほとんどかめない」
質問回答者数(人) ※	673	615	620	604
選択者数(人) ※	82	321	286	4
選択者割合(%) ※	12.2%	52.2%	46.1%	0.7%

	食習慣	飲酒	生活習慣の改善	
	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思えますか。
質問の選択肢	「はい」	「毎日」	「改善するつもりはない」	
質問回答者数(人) ※	602	610	608	604
選択者数(人) ※	86	147	172	177
選択者割合(%) ※	14.3%	24.1%	28.3%	29.3%

対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

以下は、令和2年度から令和4年度における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合を年度別に示したものである。

年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

類型名	質問文	質問の選択肢				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
喫煙	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	「はい」	質問回答者数(人) ※	662	635	673
			選択者数(人) ※	86	83	82
			選択者割合(%) ※	13.0%	13.1%	12.2%
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	「いいえ」	質問回答者数(人) ※	615	574	615
			選択者数(人) ※	340	318	321
			選択者割合(%) ※	55.3%	55.4%	52.2%
	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	「いいえ」	質問回答者数(人) ※	613	570	620
			選択者数(人) ※	305	280	286
			選択者割合(%) ※	49.8%	49.1%	46.1%
口腔機能	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。	「ほとんどかめない」	質問回答者数(人) ※	616	570	604
			選択者数(人) ※	2	3	4
			選択者割合(%) ※	0.3%	0.5%	0.7%
食習慣	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	「はい」	質問回答者数(人) ※	611	571	602
			選択者数(人) ※	86	71	86
			選択者割合(%) ※	14.1%	12.4%	14.3%
	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	「毎日」	質問回答者数(人) ※	605	569	610
			選択者数(人) ※	146	140	147
			選択者割合(%) ※	24.1%	24.6%	24.1%
飲酒	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。	「毎日」	質問回答者数(人) ※	607	571	608
			選択者数(人) ※	147	153	172
			選択者割合(%) ※	24.2%	26.8%	28.3%
生活習慣の改善	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。	「改善するつもりはない」	質問回答者数(人) ※	609	568	604
			選択者数(人) ※	164	151	177
			選択者割合(%) ※	26.9%	26.6%	29.3%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

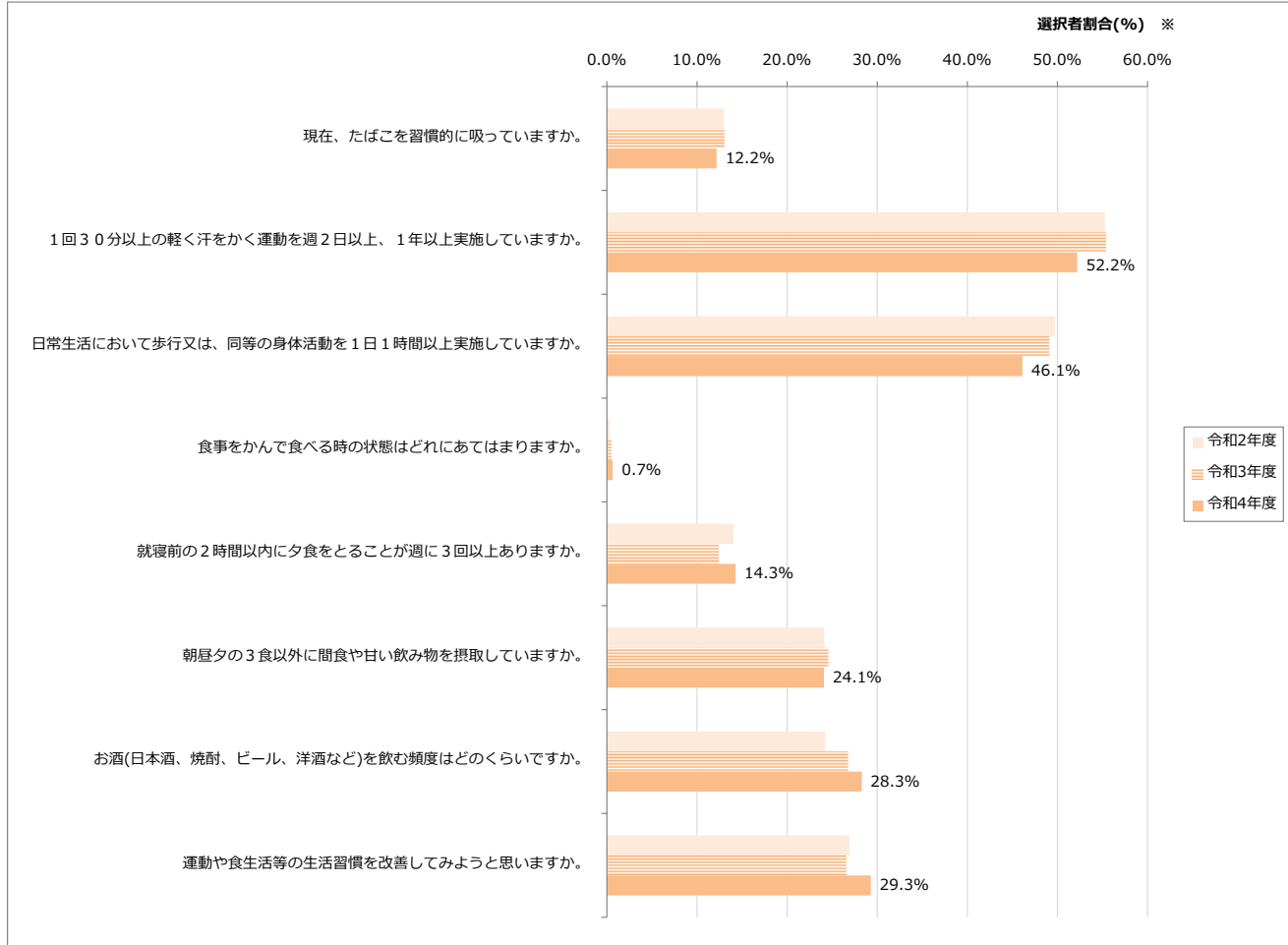
資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

- ・ 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。 …「はい」の選択者数を集計。
- ・ 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。 …「いいえ」の選択者数を集計。
- ・ 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。 …「いいえ」の選択者数を集計。
- ・ 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。 …「ほとんどかめない」の選択者数を集計。
- ・ 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。 …「はい」の選択者数を集計。
- ・ 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。 …「毎日」の選択者数を集計。
- ・ お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。 …「毎日」の選択者数を集計。
- ・ 運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。 …「改善するつもりはない」の選択者数を集計。

6.骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析

厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」によると、「骨折・転倒」は要介護になった主な要因において「認知症」「脳血管疾患(脳卒中)」「高齢による衰弱」に次ぐ第4位であり、全体の12.5%を占めている。骨折及び骨折のリスクを高める要因となる骨粗鬆症は健康寿命を阻害する危険因子の一つである。ここでは骨折予防・骨粗鬆症重症化予防の取り組みに向けての基礎調査として、骨折及び骨粗鬆症の医療費等の状況について分析する。

(1)骨折及び骨粗鬆症医療費の状況

以下は、40歳以上の被保険者を対象として、骨折医療費の状況について示したものである。骨折医療費は3,025万円、医療費総計の4.6%を占めている。骨折医療費のうち、入院医療費は2,728万円、入院外医療費は297万円であり、入院の患者一人当たりの骨折医療費は130万円と高額である。

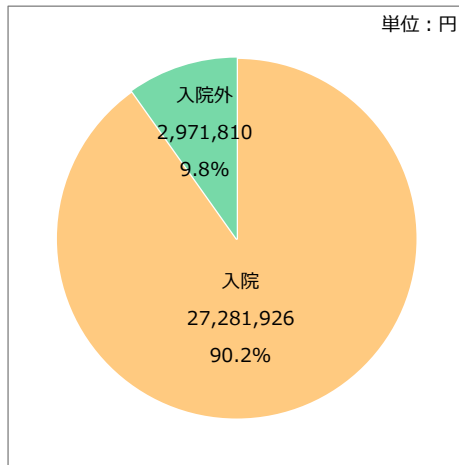
骨折医療費の状況

	A	B	B/A	C	B/C
	医療費総計 (円)	骨折医療費 (円)	医療費総計に占める骨折医療費の割合 (%)	骨折患者数 (人)	患者一人当たりの骨折医療費 (円)
合計	651,562,120	30,253,736	4.6%	126	240,109
入院	302,238,060	27,281,926	9.0%	21	1,299,139
入院外	349,324,060	2,971,810	0.9%	123	24,161

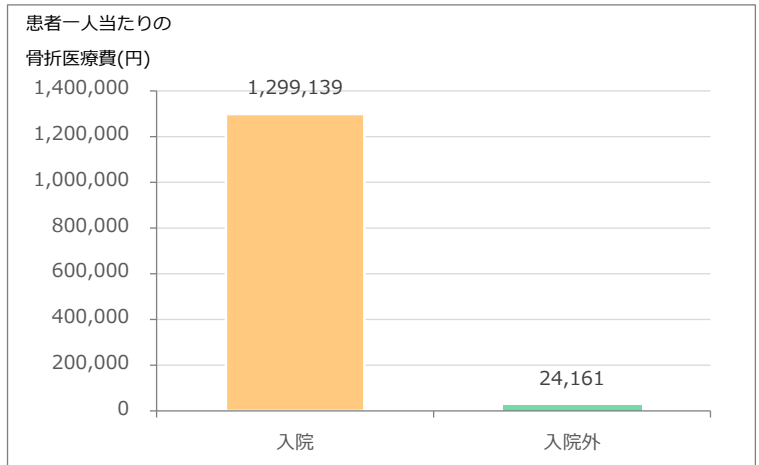
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折医療費の内訳(入院・入院外)



患者一人当たりの骨折医療費の比較(入院・入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

男女別の状況は以下のとおりである。

骨折医療費3,025万円のうち、男性の医療費は1,206万円、女性の医療費は1,820万円であり、その構成比は男性39.9%、女性60.1%である。また、骨折の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では7.4%、男性5.7%、女性8.8%である。

男女別 骨折医療費の状況

	医療費 (円)	構成比 (%)	患者数 (人)	患者一人当たりの医療費 (円)	有病率 (%)
合計	30,253,736		126	240,109	7.4%
男性	12,058,497	39.9%	46	262,141	5.7%
女性	18,195,239	60.1%	80	227,440	8.8%

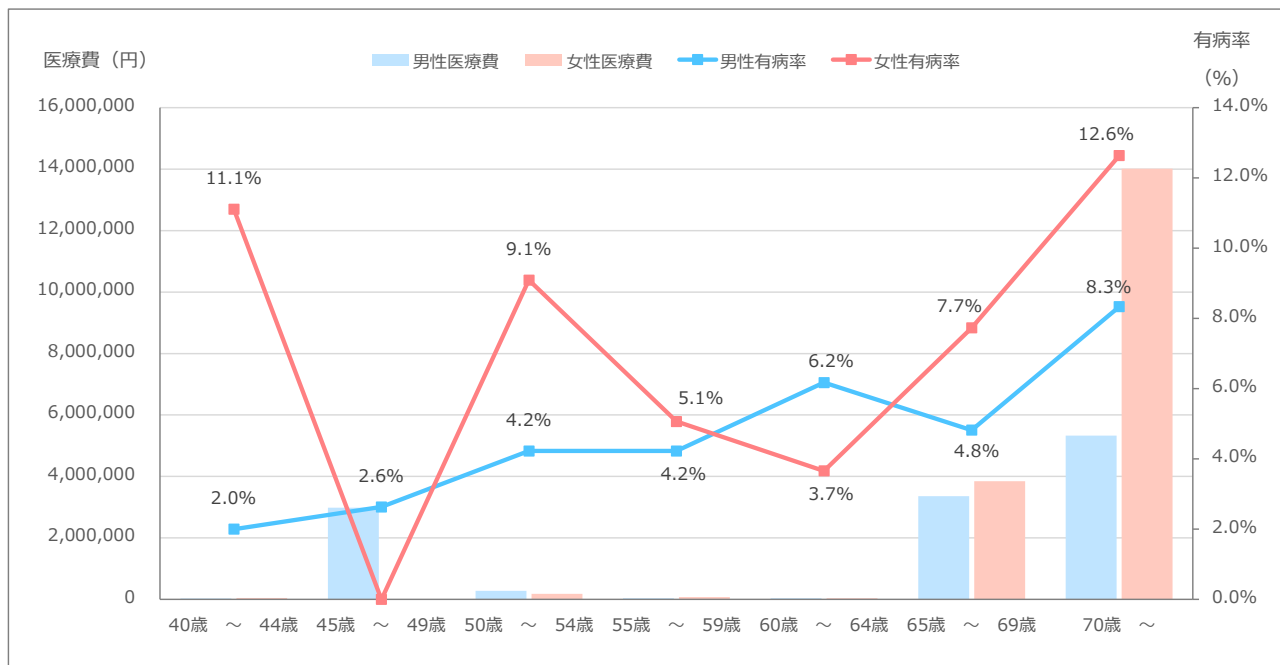
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨折の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

高齢者に骨折が多い理由は、運動機能・筋力の低下で転倒しやすいことに加えて、骨粗鬆症による骨の脆弱化により軽微な外力であっても骨折しやすいことによるとされる。骨粗鬆症は「骨折の最大の危険因子」(「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」)である。

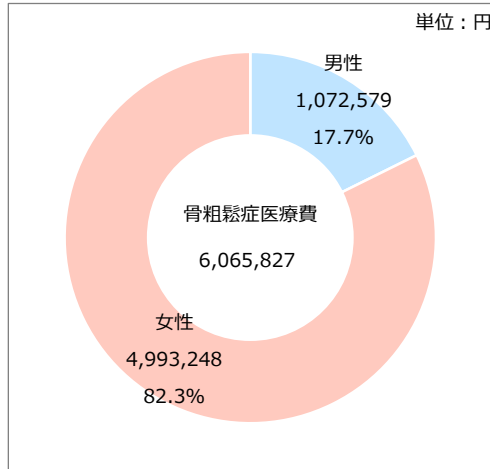
骨粗鬆症の医療費の状況について以下に示す。骨粗鬆症医療費は男女計で607万円、男性107万円、女性499万円であり、その構成比は男性17.7%、女性82.3%である。また、骨粗鬆症の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では8.8%、男性2.0%、女性14.9%である。

男女別 骨粗鬆症医療費の状況

	医療費 (円)	構成比 (%)	患者数 (人)	患者一人当たりの医療費 (円)	有病率 (%)
合計	6,065,827		151	40,171	8.8%
男性	1,072,579	17.7%	16	67,036	2.0%
女性	4,993,248	82.3%	135	36,987	14.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

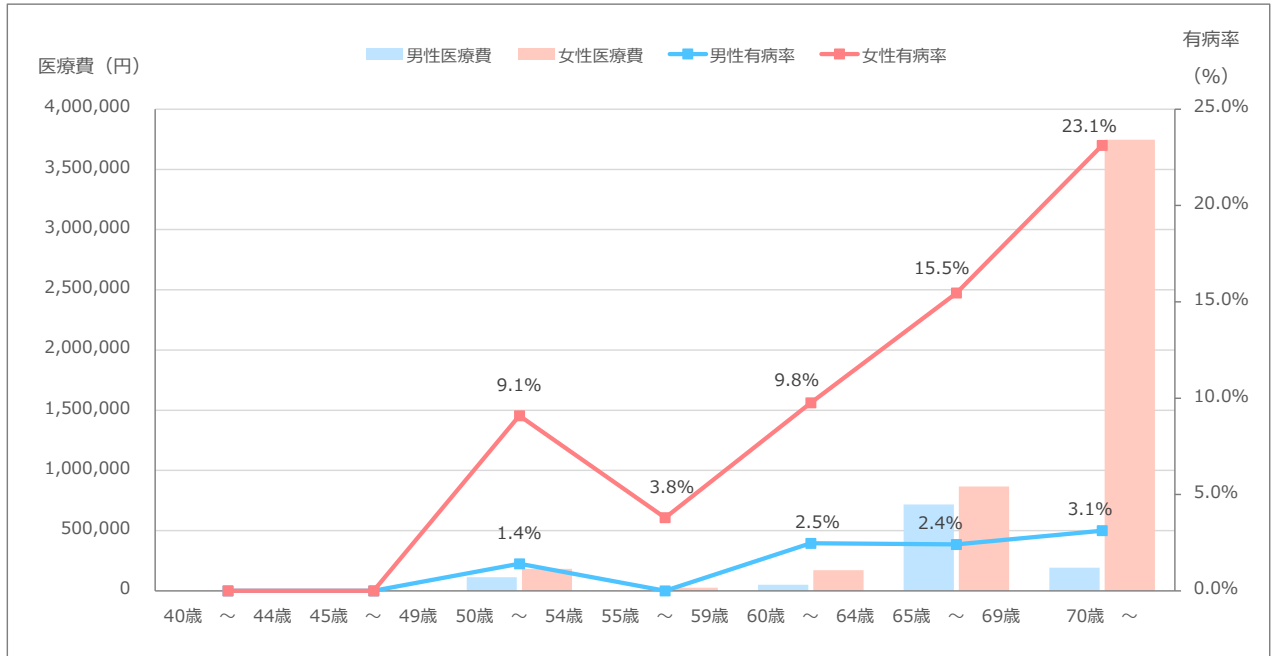
骨粗鬆症医療費の内訳(男性・女性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨粗鬆症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

脆弱性骨折(骨の強度が低下し、軽微な外力によって生じる非外傷性骨折)は、椎体(背骨を構成する骨(椎骨)の円柱状の部分)、大腿骨近位部(足の付け根)、下腿骨(膝と足首の間の骨)、上腕骨近位部(腕の付け根)、橈骨遠位端(手首)、肋骨等において発生頻度が高い。骨粗鬆症患者がこれらの部位に骨折を生じた場合、骨折の要因として骨粗鬆症の影響が強く疑われる。骨粗鬆症患者において脆弱性骨折の好発部位に生じた骨折をここでは骨粗鬆症関連骨折と定義して、その発生状況をレセプトデータから確認する。

骨粗鬆症患者のうち、分析期間に骨粗鬆症関連骨折が発生している患者数は36人であり、患者全体の23.8%を占めている。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折発生状況

	患者数 (人)	構成比 (%)
骨粗鬆症患者全体	151	
骨粗鬆症関連骨折あり	36	23.8%
骨粗鬆症関連骨折なし	115	76.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

以下は、骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況について示したものである。医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」、患者数が最も多いのは「椎体骨折」、患者一人当たりの医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」である。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況

	医療費 (円)	構成比 (%)	患者数 (人)	患者一人当たりの医療費 (円)
	骨粗鬆症関連骨折	15,940,926		36
椎体骨折	267,757	1.7%	17	15,750
上腕骨近位部骨折	134,225	0.8%	2	67,113
骨盤骨折	26,012	0.2%	2	13,006
肋骨骨折	0	0.0%	0	0
橈骨遠位端骨折	608,975	3.8%	6	101,496
大腿骨近位部骨折	14,849,458	93.2%	10	1,484,946
下腿骨骨折	54,499	0.3%	6	9,083
脆弱性骨折	0	0.0%	0	0

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

集計対象範囲を骨粗鬆症患者に限定しているため、他統計と一致しない。

(2)骨粗鬆症患者の治療継続状況

骨粗鬆症の治療と予防の目的は、骨折を予防し、生活機能及びQOLの維持・改善を図ることである。骨粗鬆症の薬物治療は長期的な継続が必要であるが、一般的に服薬継続率が低く、それに伴う骨折の抑制率の低下が問題となっている。ここでは令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータから、骨粗鬆症患者の治療状況について分析した。分析期間に骨粗鬆症治療薬の処方がある患者(治療薬服用中患者)のうち、男女計では4.3%、男性15.4%、女性2.5%が、治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない治療中断患者に該当している。

骨粗鬆症患者の治療状況

	A	B	B1	B2	B2/B
	骨粗鬆症患者数(人)	治療薬服用中患者数(人)		治療薬服用中患者に占める治療中断患者の割合(%)	
			継続治療中患者数(人)	治療中断患者数(人)	
合計	151	93	89	4	4.3%
男性	16	13	11	2	15.4%
女性	135	80	78	2	2.5%

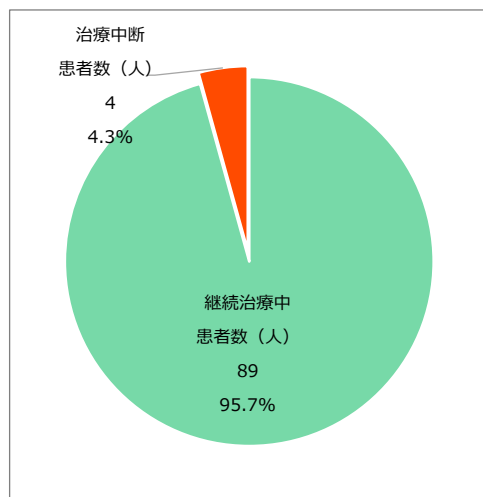
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した。

骨粗鬆症治療薬服用中患者の治療継続状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した。

治療中断患者の判定について

治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない場合に当該治療薬について中断とする。分析期間内に複数の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者については、処方されている全ての骨粗鬆症治療薬について中断に該当する場合のみ、治療中断患者として判定している。

7.要介護認定状況に係る分析

(1)要介護度別被保険者数

以下は、宇治田原町国民健康保険における、要介護度別被保険者数を示したものである。要介護認定者数は46人で、要介護認定状況が確認できた40歳以上の被保険者の2.7%を占めている。

年齢階層別 要介護度別被保険者数

単位:人

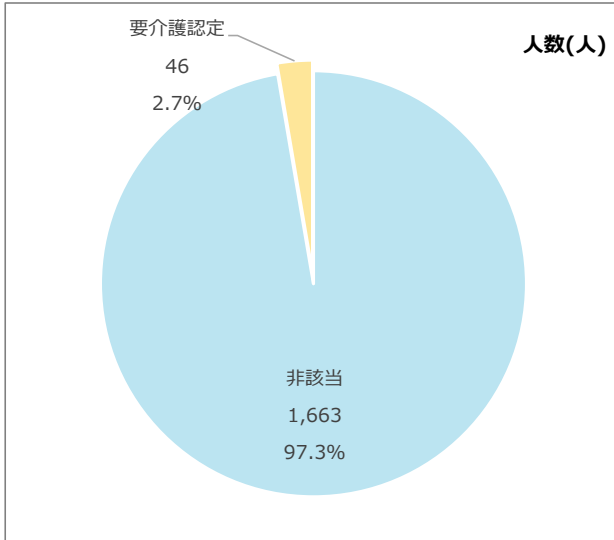
年齢階層	非該当	要介護認定									不明	合計
		要支援		要介護								
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5				
40歳 ~ 44歳	85	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	86
45歳 ~ 49歳	140	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140
50歳 ~ 54歳	137	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137
55歳 ~ 59歳	149	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	150
60歳 ~ 64歳	161	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	163
65歳 ~ 69歳	361	12	0	3	0	3	3	2	1	0	0	373
70歳 ~	630	30	2	9	4	9	4	1	1	0	0	660
合計	1,663	46	2	13	4	13	9	3	2	0	0	1,709

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

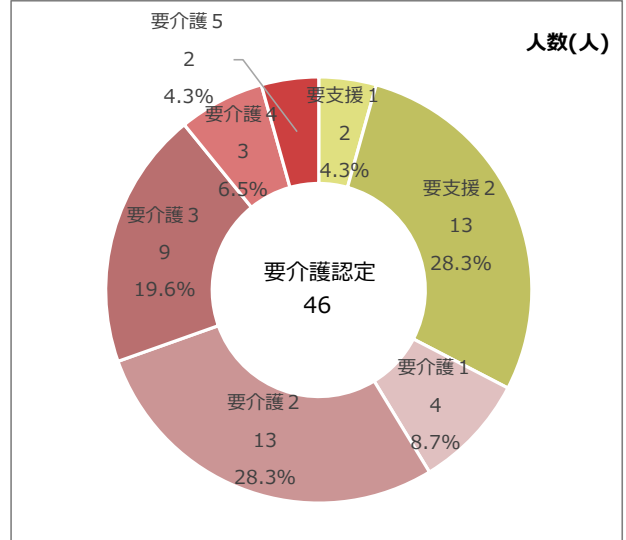
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している(介護データの期間内で資格が確認できた最終年月において、要介護認定者ではない被保険者は「非該当」とする。以下同じ。)。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

要介護認定率



要介護度別認定者数構成比

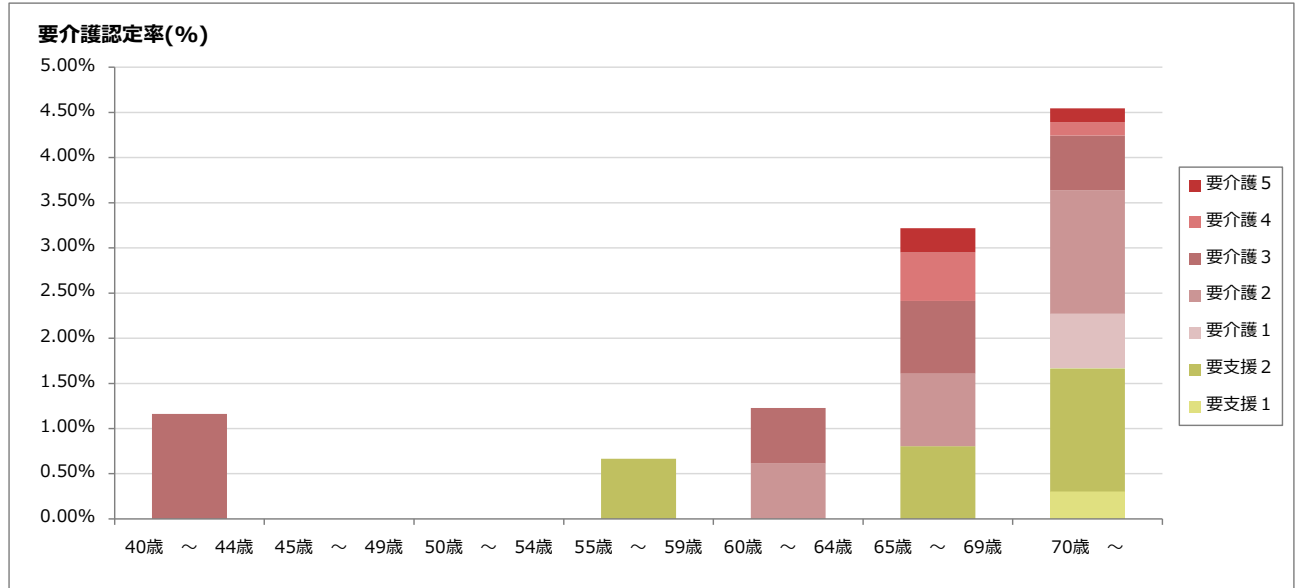


データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。要介護認定率は要介護度が「不明」の被保険者を含めず算出。

年齢階層別 要介護認定率



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

要介護度別被保険者数を男女年齢階層別に示す。

年齢階層別 要介護度別被保険者数(男性)

単位:人

年齢階層	非該当	要介護認定	要支援		要介護					不明	合計
			要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
45歳 ~ 49歳	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76
50歳 ~ 54歳	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71
55歳 ~ 59歳	70	1	0	1	0	0	0	0	0	0	71
60歳 ~ 64歳	79	2	0	0	0	1	1	0	0	0	81
65歳 ~ 69歳	161	5	0	1	0	1	2	1	0	0	166
70歳 ~	271	17	2	5	1	5	3	0	1	0	288
合計	777	26	2	7	1	7	7	1	1	0	803

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

年齢階層別 要介護度別被保険者数(女性)

単位:人

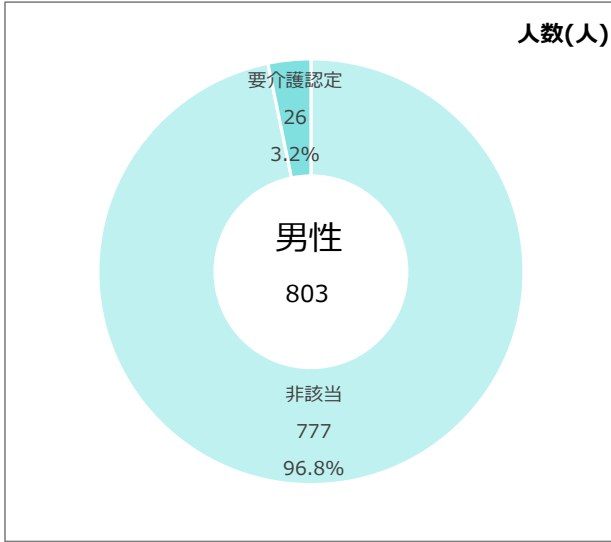
年齢階層	非該当	要介護認定	要支援		要介護					不明	合計
			要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
45歳 ~ 49歳	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64
50歳 ~ 54歳	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66
55歳 ~ 59歳	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
60歳 ~ 64歳	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82
65歳 ~ 69歳	200	7	0	2	0	2	1	1	1	0	207
70歳 ~	359	13	0	4	3	4	1	1	0	0	372
合計	886	20	0	6	3	6	2	2	1	0	906

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

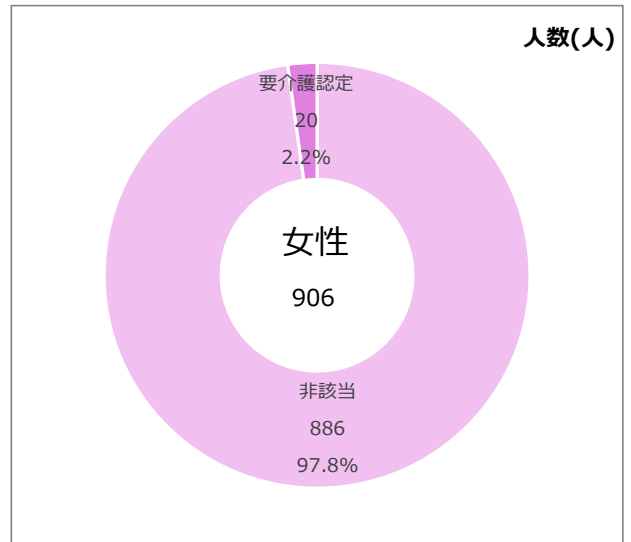
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

要介護認定率(男性)



要介護認定率(女性)

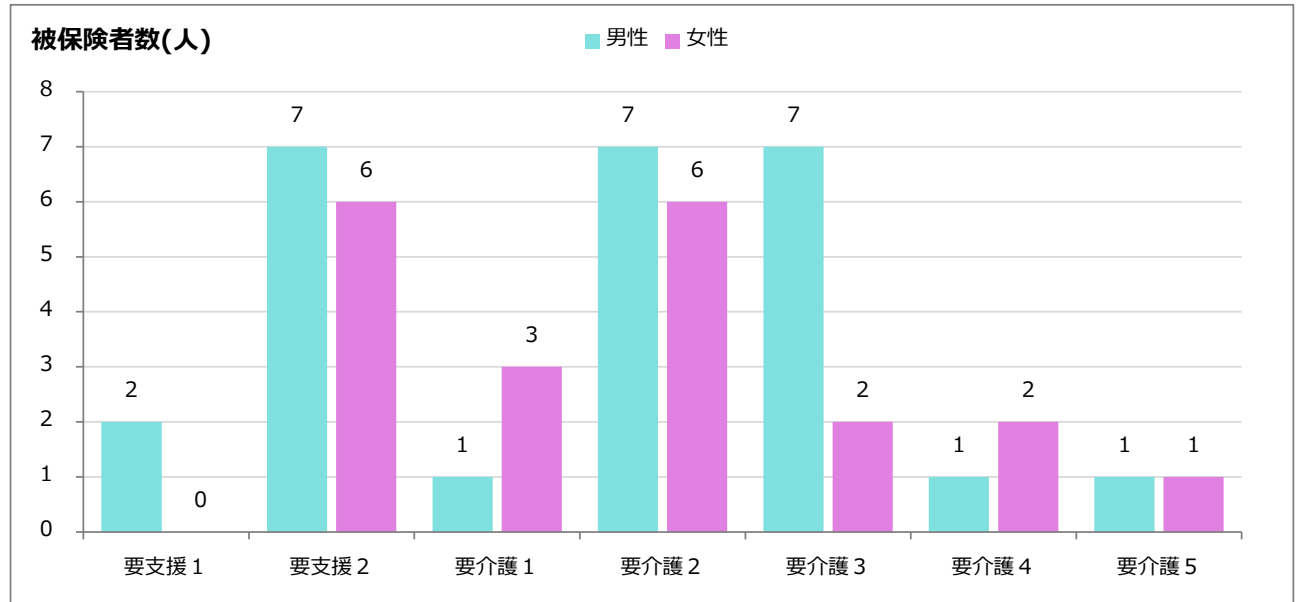


データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。要介護認定率は要介護度が「不明」の被保険者を含めず算出。

男女別 要介護度別被保険者数



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

以下は、令和2年度から令和4年度における、要介護度別被保険者数を年度別に示したものである。

年度別 要介護度別被保険者数

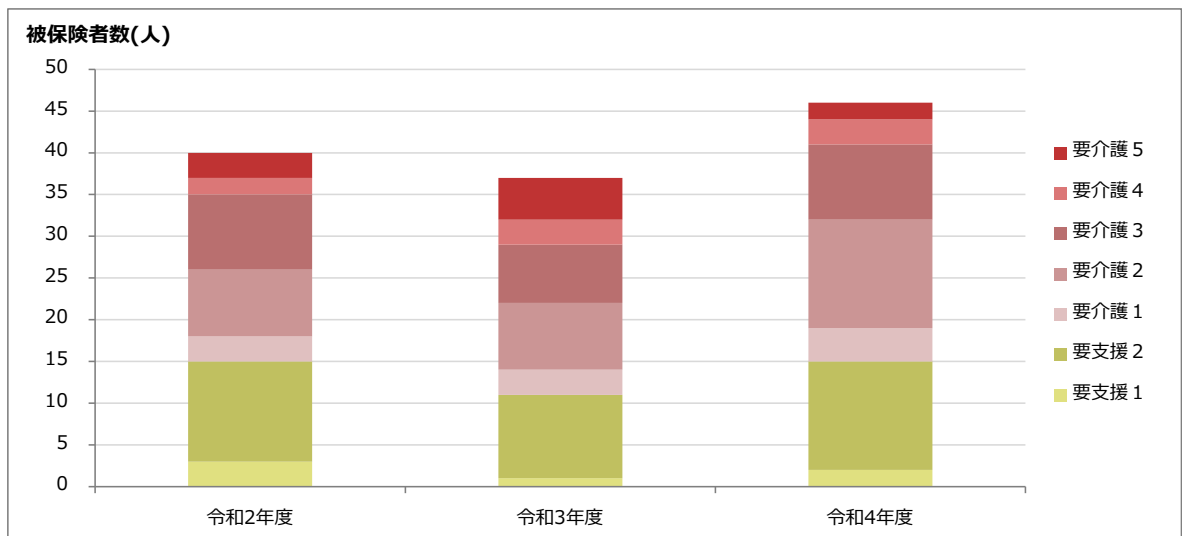
単位:人

要介護度		令和2年度	令和3年度	令和4年度
非該当		1,669	1,666	1,663
該当		40	37	46
要支援	要支援 1	3	1	2
	要支援 2	12	10	13
要介護	要介護 1	3	3	4
	要介護 2	8	8	13
	要介護 3	9	7	9
	要介護 4	2	3	3
	要介護 5	3	5	2
合計		1,709	1,703	1,709

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。対象年齢は各年度末時点で40歳以上。
被保険者の資格情報は令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
各年度、資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

年度別 要介護度別被保険者数



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。対象年齢は各年度末時点で40歳以上。
被保険者の資格情報は令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
各年度、資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

(2)要介護度別医療費の状況

以下は、要介護度別医療費の状況について示したものである。

要介護度別 医療費統計

要介護度	被保険者数(人) ※	医療費(円) ※	患者数(人) ※	被保険者一人当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)	
非該当	1,683	562,640,360	1,440	334,308	390,722	
該当	55	91,159,440	60	1,657,444	1,519,324	
要支援	要支援 1	3	2,112,390	3	704,130	704,130
	要支援 2	18	30,892,080	19	1,716,227	1,625,899
要介護	要介護 1	5	9,395,590	7	1,879,118	1,342,227
	要介護 2	15	16,218,990	14	1,081,266	1,158,499
	要介護 3	10	13,341,650	12	1,334,165	1,111,804
	要介護 4	5	6,311,630	5	1,262,326	1,262,326
	要介護 5	6	12,887,110	6	2,147,852	2,147,852
不明		0	0			
合計	1,709	653,799,800	1,467	382,563	445,671	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

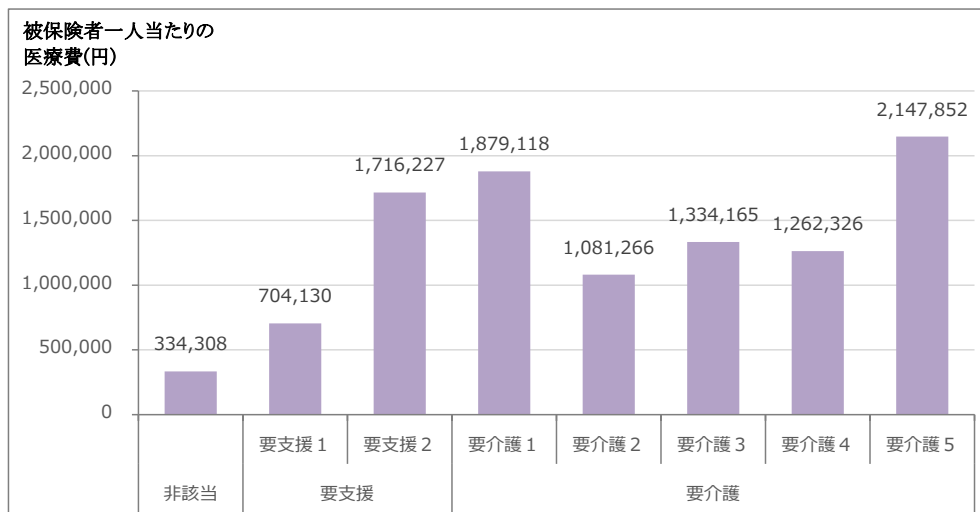
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※被保険者数…要介護度別延べ人数。各人が介護データの期間内に該当した全ての要介護度において、それぞれ一人として集計する(介護データの期間内で要介護認定者ではない年月が存在した場合、当該年月の要介護度を「非該当」とする。以下同じ。)。要介護度の変更により、一人の被保険者が複数の要介護度に該当する場合があるため、要介護度別の被保険者数の和は、被保険者数合計とは必ずしも一致しない。

※医療費…診療年月時点の要介護度で集計している。介護データの期間外に発生したレセプトの集計結果は「不明」に分類する。

※患者数…診療年月時点の要介護度で集計している。介護データの期間外に発生したレセプトの集計結果は「不明」に分類する。要介護度の変更により、一人の患者が複数の要介護度に該当する場合があるため、要介護度別の患者数の和は、患者数合計とは必ずしも一致しない。

要介護度別 被保険者一人当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。

(3)要介護度と疾病有病状況

①要介護度別上位10疾病

以下は、要介護度別の医療費上位10疾病を示したものである。

要介護度別 医療費上位10疾病

単位:円

要介護度	1位	2位	3位	4位	5位
非該当	0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 40,243,146	0903 その他の心疾患 28,665,581	0402 糖尿病 27,748,070	1901 骨折 26,034,162	1113 その他の消化器系の疾患 24,176,767
要支援	要支援 1 1011 その他の呼吸器系の疾患 1,037,176	0107 真菌症 316,937	1009 慢性閉塞性肺疾患 161,444	0903 その他の心疾患 150,385	1303 脊椎障害(脊椎症を含む) 53,601
	要支援 2 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 16,177,815	1402 腎不全 4,705,550	0905 脳内出血 2,873,146	0912 その他の循環器系の疾患 1,369,703	1901 骨折 991,738
要介護	要介護 1 1004 肺炎 3,527,811	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 1,346,190	1901 骨折 1,247,009	0301 貧血 533,972	0401 甲状腺障害 261,036
	要介護 2 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 2,321,981	1901 骨折 1,676,863	0601 パーキンソン病 1,664,946	0207 子宮の悪性新生物<腫瘍> 889,085	1011 その他の呼吸器系の疾患 844,310
	要介護 3 1301 炎症性多発性関節障害 1,484,076	0603 てんかん 1,423,022	0501 血管性及び詳細不明の認知症 1,312,779	1403 尿路結石症 1,042,155	0402 糖尿病 814,002
	要介護 4 0208 悪性リンパ腫 5,417,218	1901 骨折 190,899	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 187,110	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 151,240	0603 てんかん 53,471
	要介護 5 0208 悪性リンパ腫 4,371,285	1402 腎不全 2,011,082	0603 てんかん 837,251	1403 尿路結石症 813,022	1004 肺炎 772,098
全体	0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 59,676,246	1402 腎不全 30,972,339	0208 悪性リンパ腫 30,262,352	1901 骨折 30,253,736	0903 その他の心疾患 30,012,370
要介護度	6位	7位	8位	9位	10位
非該当	1402 腎不全 24,024,658	0901 高血圧性疾患 22,862,124	0208 悪性リンパ腫 20,473,849	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 20,409,881	0403 脂質異常症 14,780,275
要支援	要支援 1 0901 高血圧性疾患 40,345	0402 糖尿病 34,225	1302 関節症 32,334	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 24,591	1301 炎症性多発性関節障害 23,873
	要支援 2 1309 骨の密度及び構造の障害 616,866	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 577,291	0901 高血圧性疾患 240,853	0906 脳梗塞 227,102	0401 甲状腺障害 202,457
要介護	要介護 1 0704 その他の眼及び付属器の疾患 199,492	1112 痔疾患 190,118	1301 炎症性多発性関節障害 183,976	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 182,684	1309 骨の密度及び構造の障害 171,015
	要介護 2 1113 その他の消化器系の疾患 830,746	0504 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む) 607,805	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍> 551,893	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 549,161	0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 515,807
	要介護 3 0908 その他の脳血管疾患 793,732	0606 その他の神経系の疾患 569,801	1113 その他の消化器系の疾患 553,888	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 537,858	0903 その他の心疾患 537,338
	要介護 4 0903 その他の心疾患 45,598	2220 その他の特殊目的用コード 43,683	1113 その他の消化器系の疾患 39,191	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患 36,346	0402 糖尿病 17,465
	要介護 5 0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 660,357	1011 その他の呼吸器系の疾患 658,299	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 638,301	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 449,818	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 287,887
全体	0402 糖尿病 29,041,730	1113 その他の消化器系の疾患 25,972,336	0901 高血圧性疾患 23,597,586	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 21,032,589	1011 その他の呼吸器系の疾患 15,755,608

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

以下は、要介護度別の患者数上位10疾病を示したものである。

要介護度別 患者数上位10疾病

単位:人

要介護度	1位	2位	3位	4位	5位
非該当	0901 高血圧性疾患	0402 糖尿病	1113 その他の消化器系の疾患	0403 脂質異常症	0703 屈折及び調節の障害
	617	524	491	490	424
要支援	要支援 1 0101 腸管感染症	0107 真菌症	0402 糖尿病	0702 白内障	0703 屈折及び調節の障害
	2	2	2	2	2
要支援	要支援 2 1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0403 脂質異常症	1901 骨折	1309 骨の密度及び構造の障害
	13	12	9	9	8
要介護	要介護 1 1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0901 高血圧性疾患	0606 その他の神経系の疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
		6	5	5	4
	要介護 2 1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0901 高血圧性疾患	1309 骨の密度及び構造の障害	0606 その他の神経系の疾患
		13	8	8	7
	要介護 3 1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0606 その他の神経系の疾患	0901 高血圧性疾患	0903 その他の心疾患
		10	9	9	8
	要介護 4 1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0901 高血圧性疾患	0903 その他の心疾患	1404 その他の腎尿路系の疾患
		4	3	3	3
	要介護 5 1113 その他の消化器系の疾患	1011 その他の呼吸器系の疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0606 その他の神経系の疾患	0903 その他の心疾患
		5	4	4	3
全体	0901 高血圧性疾患	0402 糖尿病	1113 その他の消化器系の疾患	0403 脂質異常症	0703 屈折及び調節の障害
	633	546	519	503	438
要介護度	6位	7位	8位	9位	10位
非該当	0704 その他の眼及び付属器の疾患	0903 その他の心疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2220 その他の特殊目的用コード	0606 その他の神経系の疾患
	420	406	396	392	367
要支援	要支援 1 0704 その他の眼及び付属器の疾患	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	1301 炎症性多発性関節障害	1303 脊椎障害（脊椎症を含む）	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
	2	2	2	2	2
要支援	要支援 2 0702 白内障	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1202 皮膚炎及び湿疹	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
	7	7	7	7	7
要介護	要介護 1 0109 その他の感染症及び寄生虫症	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	0703 屈折及び調節の障害	0903 その他の心疾患
		3	3	3	3
	要介護 2 0903 その他の心疾患	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	0403 脂質異常症	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
		7	7	6	6
	要介護 3 2220 その他の特殊目的用コード	1202 皮膚炎及び湿疹	1011 その他の呼吸器系の疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0906 脳梗塞
8		7	6	5	
要介護 4 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1901 骨折	0401 甲状腺障害	0403 脂質異常症	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	
	3	3	2	2	
要介護 5 2220 その他の特殊目的用コード	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	0603 てんかん	0901 高血圧性疾患	
	3	2	2	2	
全体	0704 その他の眼及び付属器の疾患	0903 その他の心疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2220 その他の特殊目的用コード	0606 その他の神経系の疾患
	432	425	413	412	387

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

以下は、要介護度別の患者一人当たりの医療費上位10疾病を示したものである。

要介護度別 患者一人当たりの医療費上位10疾病

単位:円

要介護度		1位	2位	3位	4位	5位
非該当		0208 悪性リンパ腫 1,574,911	1402 腎不全 490,299	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 485,950	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 413,682	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 344,811
要支援	要支援 1	1011 その他の呼吸器系の疾患 1,037,176	1009 慢性閉塞性肺疾患 161,444	0107 真菌症 158,469	0903 その他の心疾患 150,385	0901 高血圧性疾患 40,345
	要支援 2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 4,044,454	1402 腎不全 2,352,775	0905 脳内出血 957,715	0912 その他の循環器系の疾患 273,941	0906 脳梗塞 227,102
要介護	要介護 1	1004 肺炎 1,175,937	1901 骨折 623,505	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患 448,730	0301 貧血 266,986	1301 炎症性多発性関節障害 183,976
	要介護 2	0207 子宮の悪性新生物<腫瘍> 889,085	0601 パーキンソン病 832,473	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 549,161	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害 515,807	0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 464,396
	要介護 3	0501 血管性及び詳細不明の認知症 1,312,779	0908 その他の脳血管疾患 793,732	1301 炎症性多発性関節障害 742,038	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 537,858	1403 尿路結石症 521,078
	要介護 4	0208 悪性リンパ腫 5,417,218	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 187,110	1901 骨折 63,633	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 50,413	0603 てんかん 26,736
	要介護 5	0208 悪性リンパ腫 4,371,285	1402 腎不全 2,011,082	1403 尿路結石症 813,022	1004 肺炎 772,098	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 638,301
全体		0208 悪性リンパ腫 2,327,873	1402 腎不全 563,133	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 467,391	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 434,434	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 339,272
要介護度		6位	7位	8位	9位	10位
非該当		0206 乳房の悪性新生物<腫瘍> 257,218	0602 アルツハイマー病 256,363	1901 骨折 238,846	0603 てんかん 229,878	0601 パーキンソン病 210,308
要支援	要支援 1	1302 関節症 32,334	1303 脊椎障害(脊椎症を含む) 26,801	1006 アレルギー性鼻炎 23,098	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 19,757	0109 その他の感染症及び寄生虫症 18,700
	要支援 2	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 115,458	1901 骨折 110,193	1309 骨の密度及び構造の障害 77,108	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 73,734	0401 甲状腺障害 50,614
要介護	要介護 1	0401 甲状腺障害 130,518	0704 その他の眼及び付属器の疾患 99,746	1112 痔疾患 95,059	1309 骨の密度及び構造の障害 85,508	1402 腎不全 77,801
	要介護 2	1901 骨折 335,373	1004 肺炎 218,637	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 202,602	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍> 183,964	1009 慢性閉塞性肺疾患 170,100
	要介護 3	0603 てんかん 474,341	2106 その他の理由による保健サービスの利用者 201,048	0905 脳内出血 145,728	0912 その他の循環器系の疾患 97,638	0402 糖尿病 90,445
	要介護 4	2220 その他の特殊目的用コード 21,842	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患 18,173	0903 その他の心疾患 15,199	1113 その他の消化器系の疾患 9,798	0704 その他の眼及び付属器の疾患 9,023
	要介護 5	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響 449,818	0603 てんかん 418,626	0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 330,179	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 287,887	0905 脳内出血 287,887
全体		0905 脳内出血 274,145	0210 その他の悪性新生物<腫瘍> 266,412	0601 パーキンソン病 258,106	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍> 247,537	1901 骨折 240,109

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

②骨折有無別要介護認定状況

要介護状態と疾病の有病状況との関連について、高齢者が寝たきりや要介護状態になるきっかけの一つであるとされる骨折に着目して分析を行う。

骨折に係る医療費が発生している場合に「骨折あり」、そうでない場合に「骨折なし」として、各集団における要介護認定状況を比較した。「骨折あり」の集団における要介護認定者の割合は15.20%、「骨折なし」の集団における要介護認定者の割合は1.70%である。

骨折有無別 要介護認定状況

単位:人

骨折の有無	非該当	要介護認定	要支援		要介護					不明	合計
			要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
骨折あり	106	19	1	6	1	5	4	2	0	0	125
	84.80%	15.20%	0.80%	4.80%	0.80%	4.00%	3.20%	1.60%	0.00%	0.00%	
骨折なし	1,557	27	1	7	3	8	5	1	2	0	1,584
	98.30%	1.70%	0.06%	0.44%	0.19%	0.51%	0.32%	0.06%	0.13%	0.00%	
合計	1,663	46	2	13	4	13	9	3	2	0	1,709
	97.31%	2.69%	0.12%	0.76%	0.23%	0.76%	0.53%	0.18%	0.12%	0.00%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

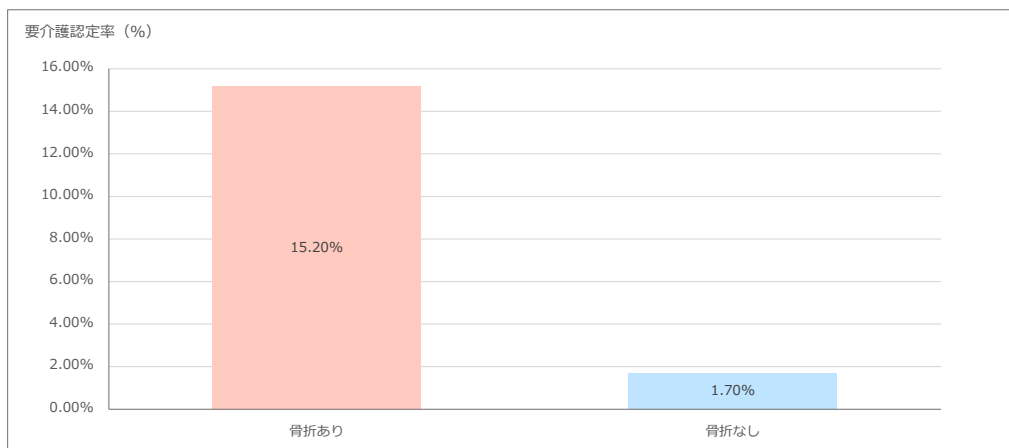
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している(介護データの期間内で資格が確認できた最終年月において、要介護認定者ではない被保険者は「非該当」とする。)。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折有無別 要介護認定者の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護認定状況で集計している。

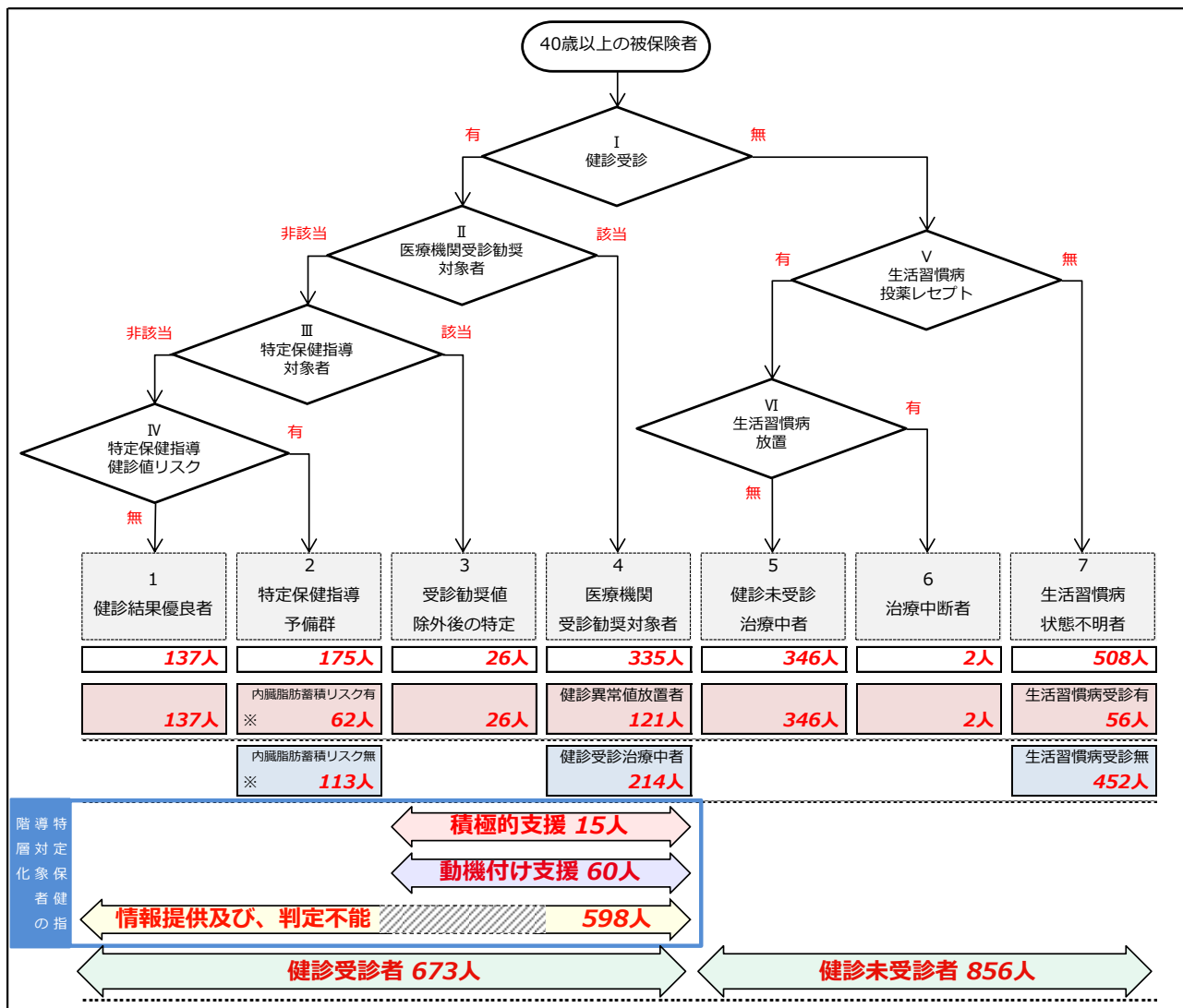
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

1. 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1.健診結果優良者」から「6.治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7.生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。
※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(1)健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおける「4.医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する121人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I.条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	121 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。


対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II.除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析
	25 人
	
除外患者を除いた候補者数	96 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者96人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を健診異常値放置受診勧奨対象者とする。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者は全てが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑ 高 効果 低 ↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人	候補者C 0人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 3人	候補者D 18人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 15人	候補者F 60人
		喫煙	非喫煙
		←高 リスク 低→	
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			96人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(2)生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおいては、「6. 治療中断者」と健診受診者のうち治療中断が発生している患者を合わせた4人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	2 人
	上記以外のグループ	2 人
条件設定により対象となった候補者数（合計）		4 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は、健康診査受診の有無、生活習慣病投薬レセプト有無にかかわらず、生活習慣病での受診がある患者の中から抽出する。「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおいて、「I 健診受診」で健康診査の受診の有無、「V 生活習慣病投薬レセプト」で生活習慣病投薬レセプトの有無をみているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診かつ生活習慣病投薬レセプト有の治療中断者のみ格納される。「上記以外のグループ」には、「6 治療中断者」の抽出条件に該当しないが、次の①、②のいずれかに該当する治療中断者が格納される。

- ①「1 健診結果優良者」～「4 医療機関受診勧奨対象者」(健診受診者)のうちの治療中断者
- ②「7 生活習慣病状態不明者」生活習慣病受診有(健診未受診かつ生活習慣病投薬無かつ生活習慣病受診有)のうちの治療中断者

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	0 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		4 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者4人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を生活習慣病治療中断者とする。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 0人	候補者B3 0人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 0人	候補者C2 2人	候補者C3 2人
		毎月受診	2~3か月に1度受診	4か月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数			4人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月~令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- ・分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病での医療機関受診中断の有無の判定を行う。

2.糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

国は、健康日本21(第二次)において、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少等を数値目標として掲げ、全国的な取り組みの強化を進めている。生活習慣を起因とした糖尿病性腎症患者に対し、生活習慣の改善を促し重症化を予防することで人工透析への移行を防止し、患者のQOLの維持及び医療費の適正化を図ることが本事業の目的である。

(1)人工透析患者の実態

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

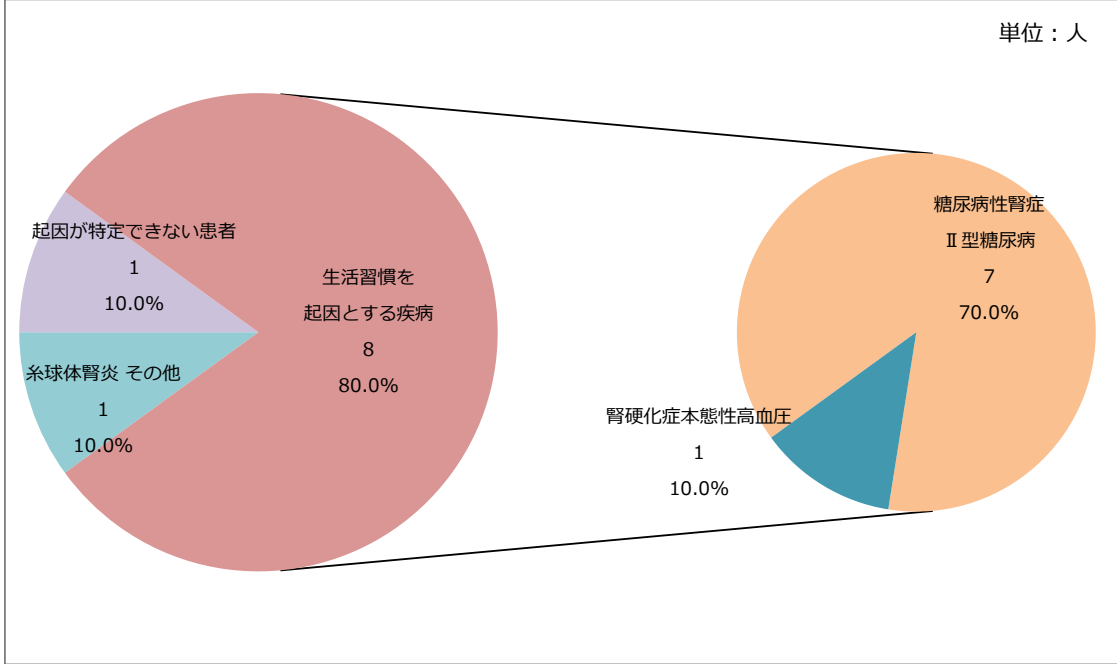
分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、80.0%が生活習慣を起因とするものであり、70.0%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	10
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	10

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
 現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
 現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
 ※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、令和3年4月～令和4年3月診療分のレセプトにおける人工透析患者と、令和4年4月～令和5年3月診療分のレセプトにおける人工透析患者を比較し、後者の期間の新規透析患者数を集計した。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における新規透析患者は存在しなかった。

新規透析患者数

単位:人

透析に至った起因	A		B		Aにおいて透析患者ではなく Bにおいて透析患者となった人数
	令和3年4月～令和4年3月 診療分(12カ月分)	割合 (%)	令和4年4月～令和5年3月 診療分(12カ月分)	割合 (%)	
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	0	0.0%	新規透析患者 ※1 ※2
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	6	54.5%	7	70.0%	
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	0	0.0%	0
④ 糸球体腎炎 その他	1	9.1%	1	10.0%	0
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	2	18.2%	1	10.0%	0
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	0	0.0%	0
⑦ 痛風腎	0	0.0%	0	0.0%	0
⑧ 起因が特定できない患者 ※	2	18.2%	1	10.0%	0
透析患者合計	11		10		0

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

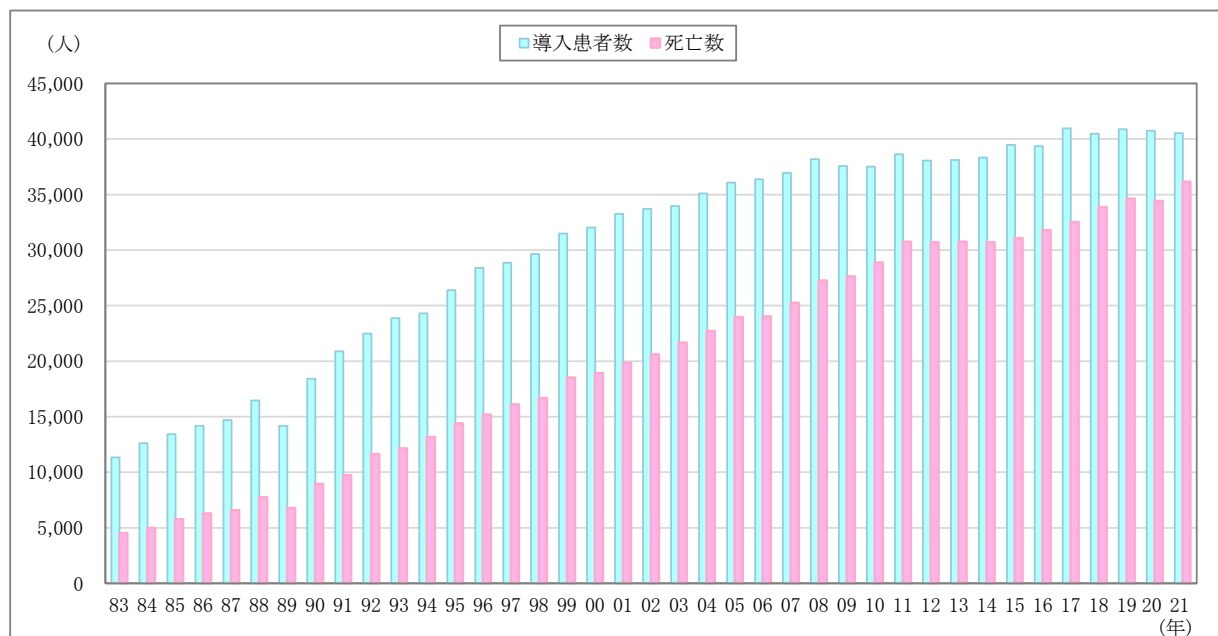
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※1 新規透析患者の定義…Aの期間に透析患者ではなく、Bの期間に透析患者となった患者。

※2 Aの期間とBの期間で起因となる傷病名が違う場合、該当の欄に集計される。そのため、B-Aは一致しない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

[参考資料] 日本の透析導入患者数と死亡数の推移



出典:一般社団法人 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況(2021年12月31日現在)」 施設調査による集計

※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響。

(2)指導対象者集団の特定

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。

腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像

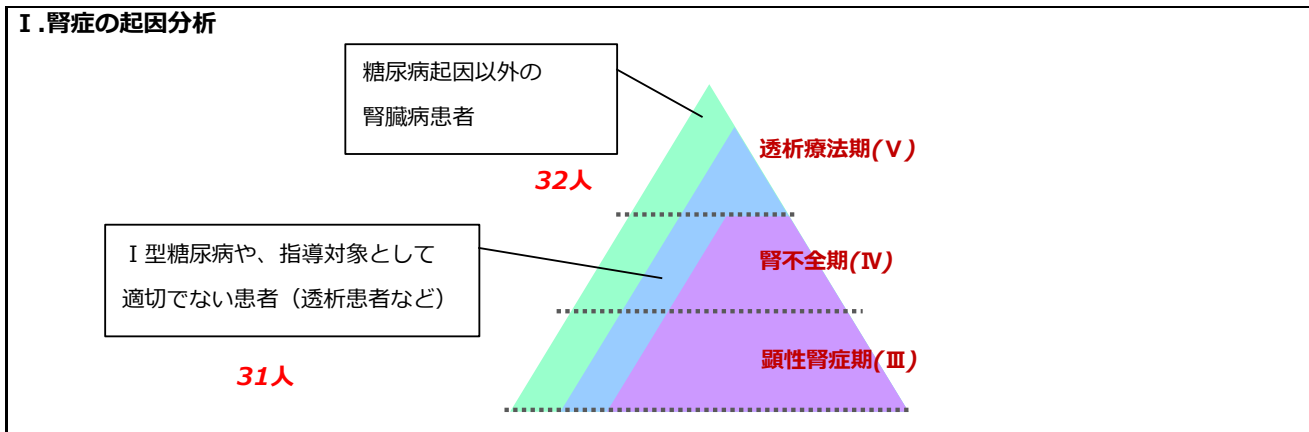
腎症患者の全体像		
病期	臨床的特徴	治療内容
V 透析療法期	透析療法中。	透析療法、腎移植。
IV 腎不全期	蛋白尿。血清Crが上昇し、腎機能は著明低下する。尿毒症等の自覚症状あり。	食事療法（低蛋白食）、透析療法導入、厳格な降圧治療。
Ⅲ 顕性腎症期	蛋白尿。腎機能は高度に低下。尿毒症等の自覚症状あり。	厳格な血糖コントロール、食事療法（低蛋白食）、厳格な降圧治療。
Ⅱ 早期腎症期	微量アルブミン尿、血清Crが正常、時に高値。 ※尿蛋白、血清Cr共に正常だが糖尿病と診断されて10年以上の場合を含む。	血糖コントロール、降圧治療。
I 腎症前期	尿蛋白は正常。血清Crが正常、時に高値。	血糖コントロール。

Ⅲ期以降腎症患者	合計 119人
----------	----------------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

はじめに、「腎症の起因分析」を行う。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、32人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、指導期間中に後期高齢者医療広域連合へ異動する可能性がある74歳以上の患者等)と考えられ、31人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析

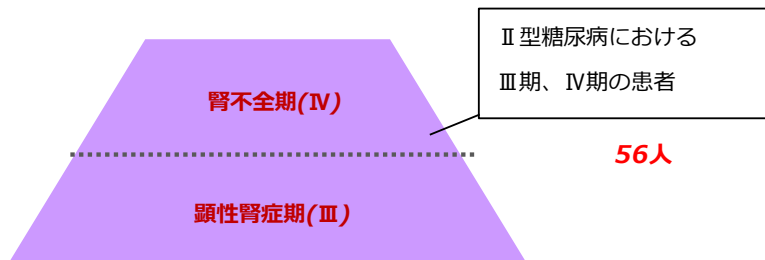


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に示すのは、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」である。重症化予防を実施するに当たり適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期である。該当する病期の患者は合わせて56人となった。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

Ⅱ.Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



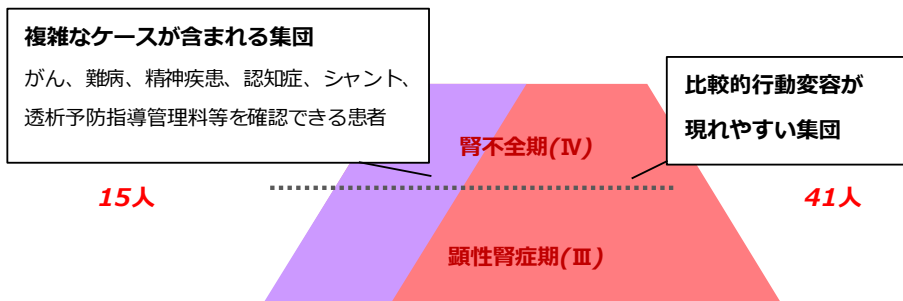
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。56人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、15人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、41人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

保健指導対象者の優先順位

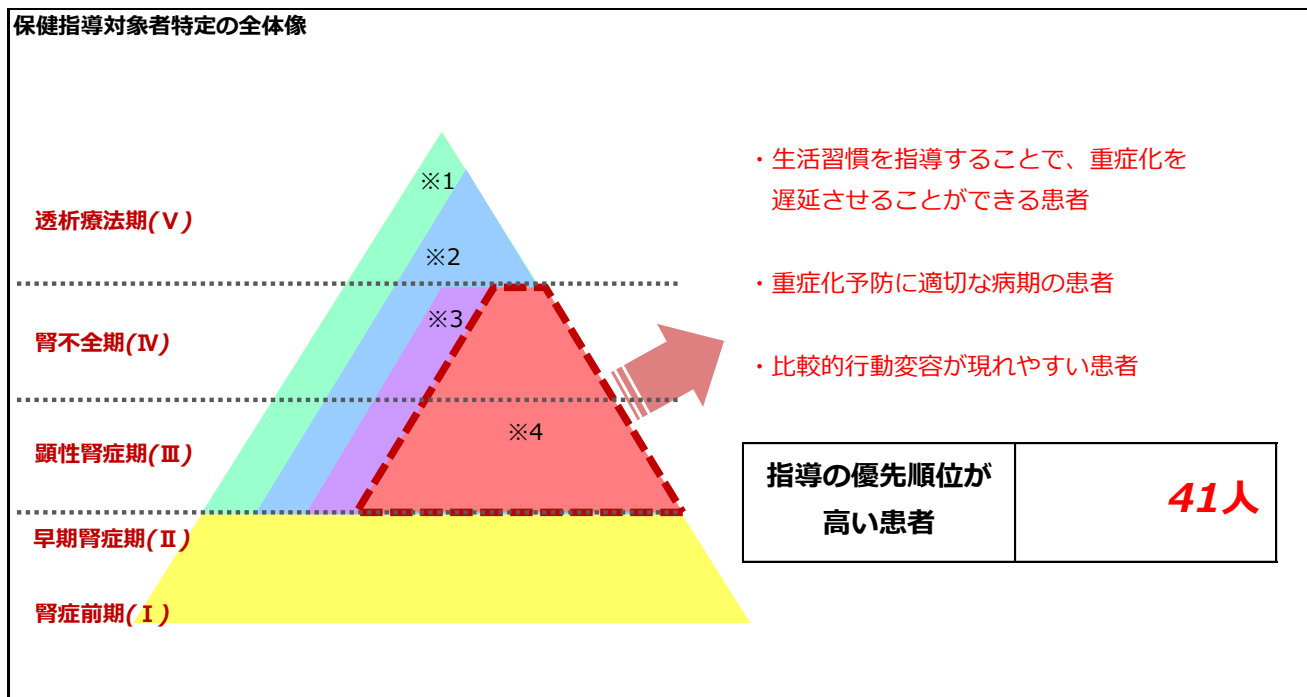
Ⅲ.保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、41人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

3.受診行動適正化指導対象者に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下のとおりである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複受診者数(人) ※	1	1	2	1	0	0	1	3	0	1	0	3
12カ月間の延べ人数											13人	
12カ月間の実人数											11人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
頻回受診者数(人) ※	3	2	2	2	1	0	2	2	1	1	2	3
12カ月間の延べ人数											21人	
12カ月間の実人数											12人	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複服薬者数(人) ※	7	8	6	6	4	8	7	5	6	8	9	9
12カ月間の延べ人数											83人	
12カ月間の実人数											47人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は11人、頻回受診者は12人、重複服薬者は47人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I.条件設定による指導対象者の特定	
・ 重複受診患者	…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者
・ 頻回受診患者	…1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者
・ 重複服薬者	…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者
条件設定により候補者となった患者数	69人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、必要な医療による受診の可能性がある。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II.除外設定		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	50人
除外患者を除き、候補者となった患者数		19人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

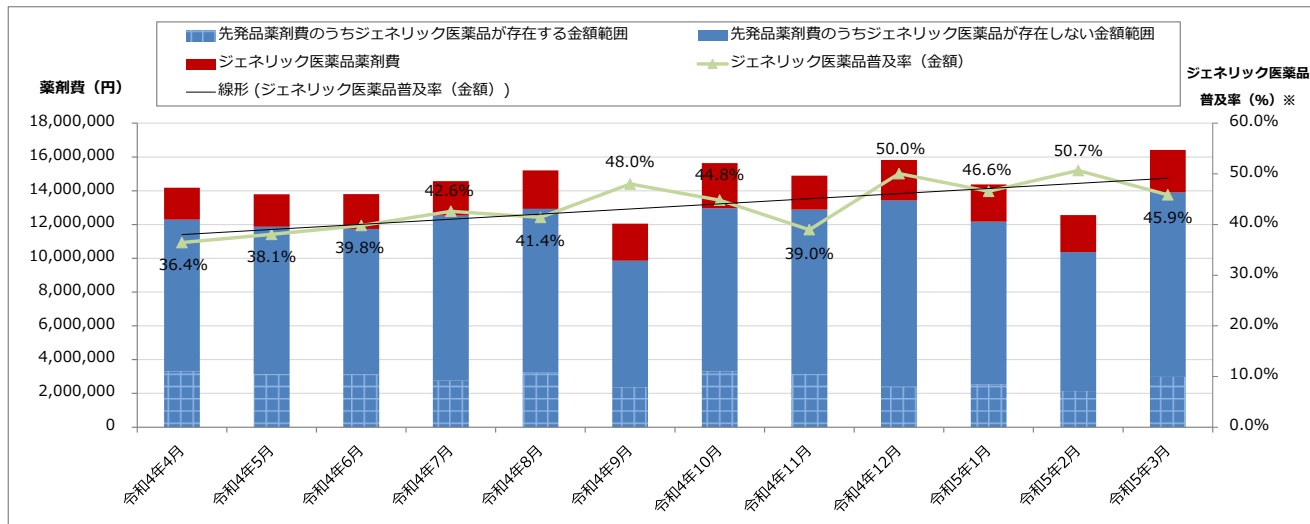
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

4.ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下は、診療年月毎の状況について示したものである。令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率は、金額ベースでは43.4%、数量ベースでは72.6%である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

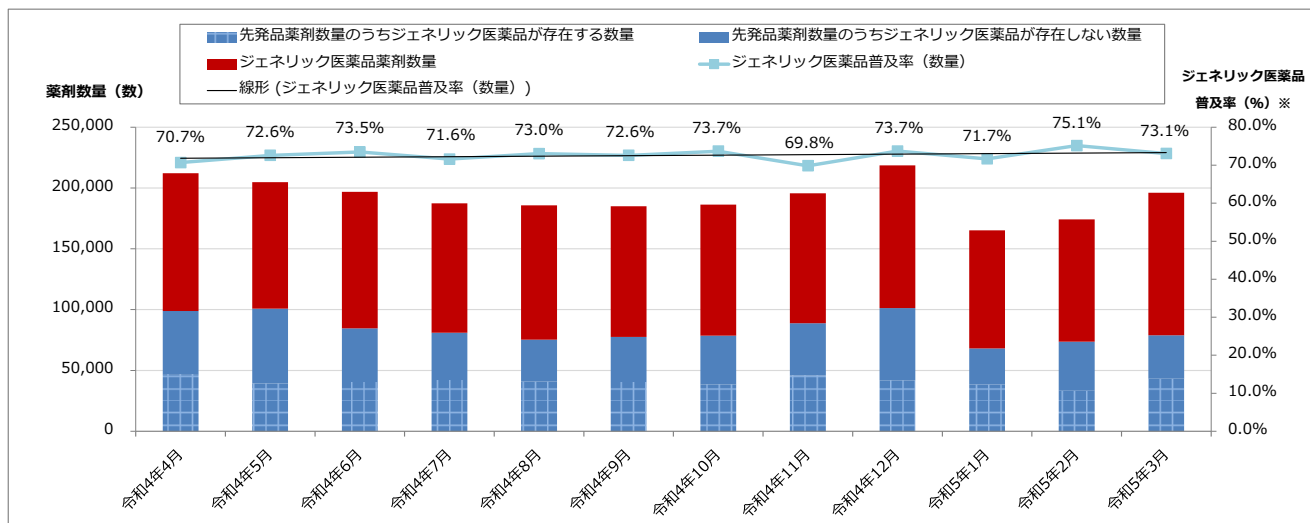


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



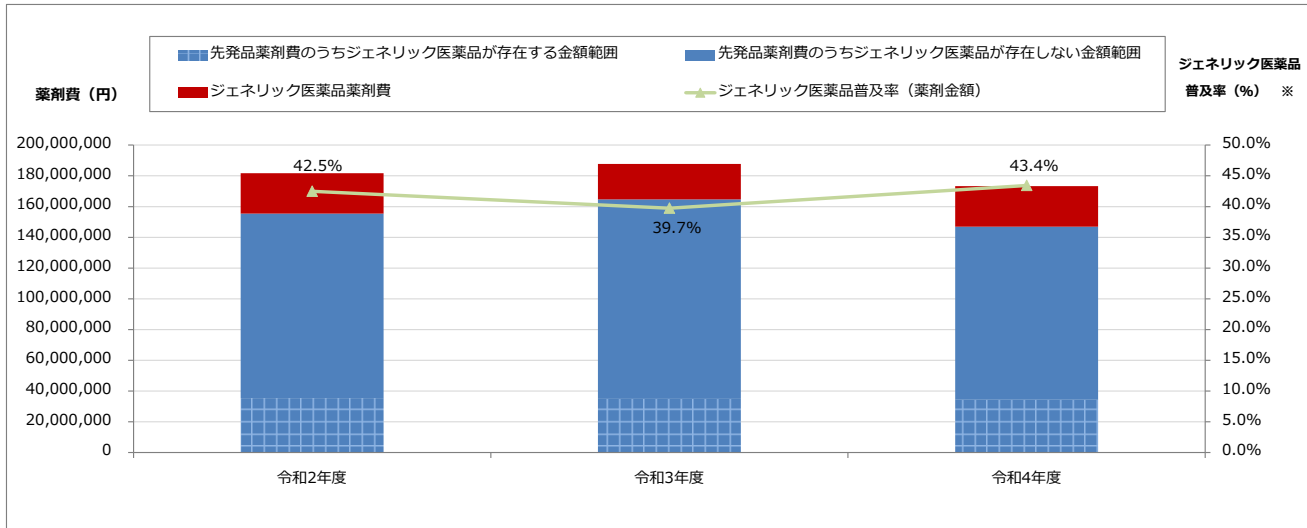
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

以下は、令和2年度から令和4年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)43.4%は、令和2年度42.5%より0.9ポイント増加しており、ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)72.6%は、令和2年度72.1%より0.5ポイント増加している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

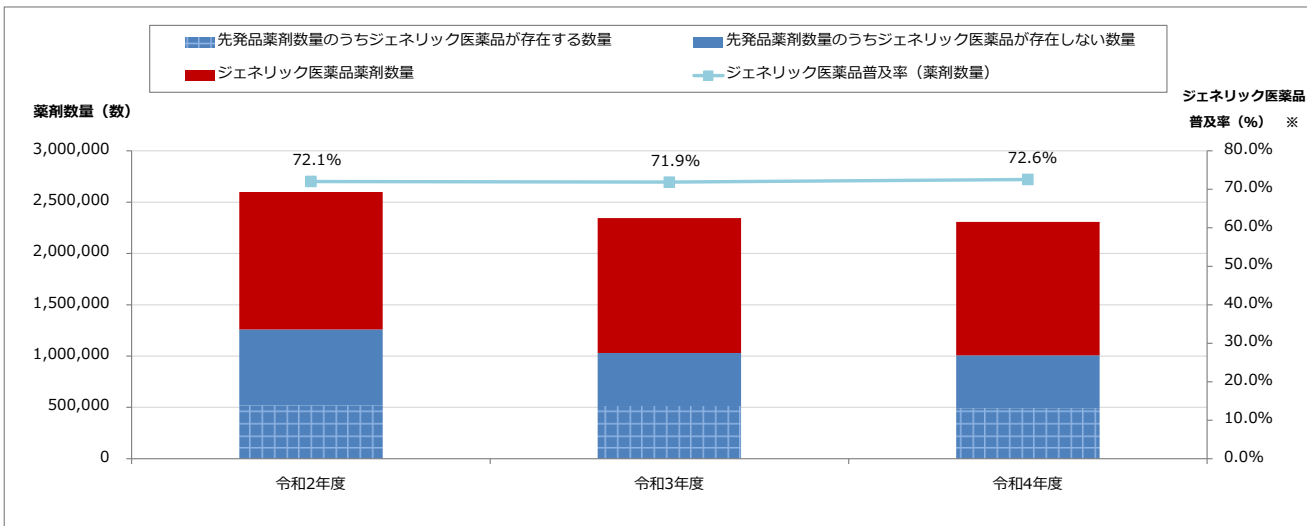


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



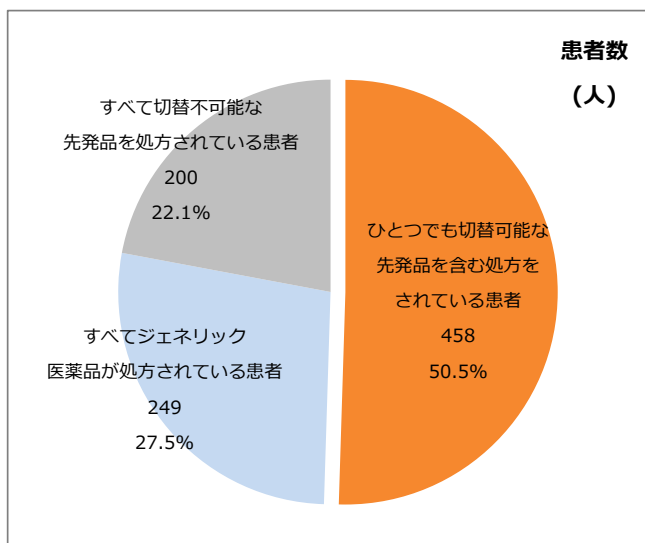
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

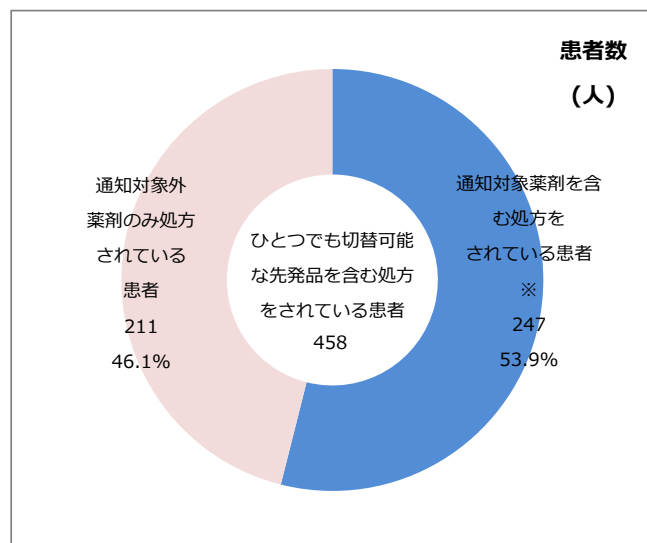
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

以下は、令和5年3月診療分のレセプトデータから、薬剤処方状況別の患者数を示したものである。患者数は907人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方されている患者は458人で患者数全体の50.5%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、247人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方されている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方されている患者の53.9%を占める。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む処方されている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方されている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

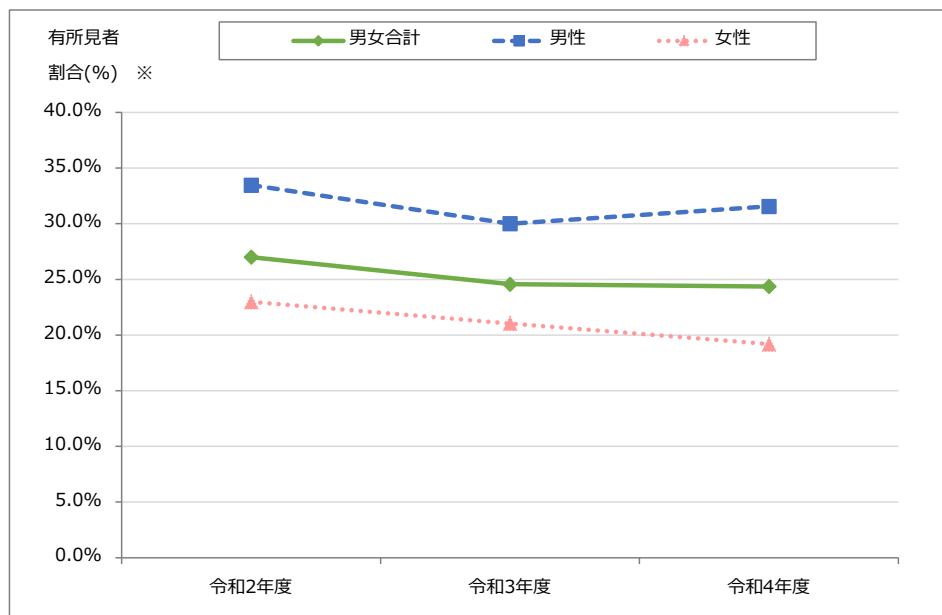
1. 有所見者割合

令和2年度から令和4年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	179	156	164
	有所見者割合(%) ※	27.0%	24.6%	24.4%
男性	対象者数(人) ※	254	250	282
	有所見者数(人) ※	85	75	89
	有所見者割合(%) ※	33.5%	30.0%	31.6%
女性	対象者数(人) ※	409	385	391
	有所見者数(人) ※	94	81	75
	有所見者割合(%) ※	23.0%	21.0%	19.2%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

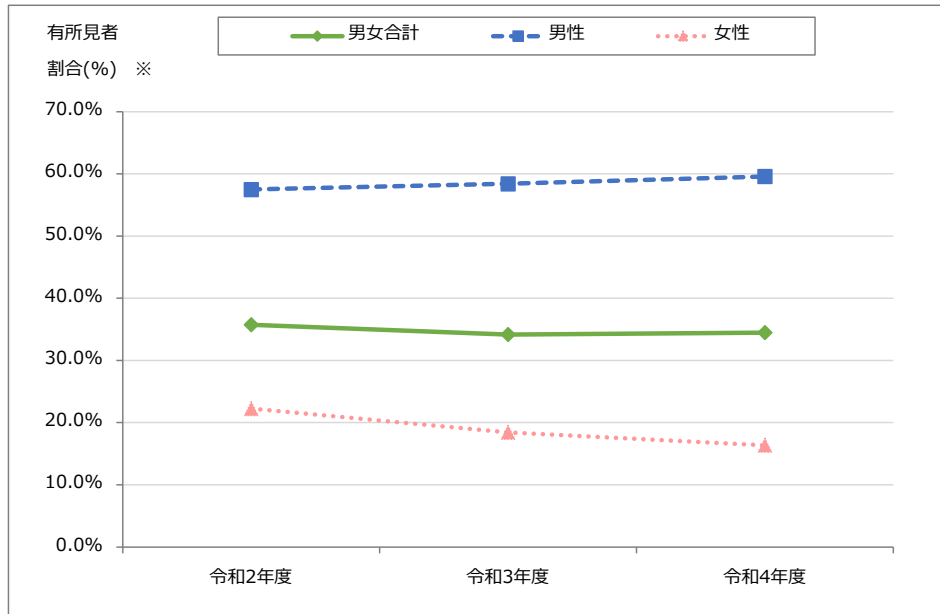
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	237	217	232
	有所見者割合(%) ※	35.7%	34.2%	34.5%
男性	対象者数(人) ※	254	250	282
	有所見者数(人) ※	146	146	168
	有所見者割合(%) ※	57.5%	58.4%	59.6%
女性	対象者数(人) ※	409	385	391
	有所見者数(人) ※	91	71	64
	有所見者割合(%) ※	22.2%	18.4%	16.4%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

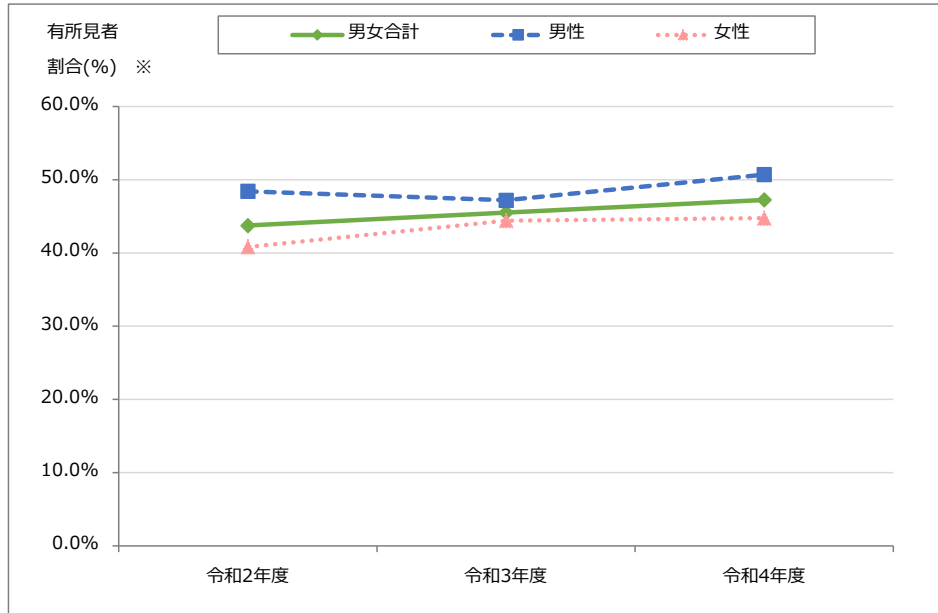
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	290	289	318
	有所見者割合(%) ※	43.7%	45.5%	47.3%
男性	対象者数(人) ※	254	250	282
	有所見者数(人) ※	123	118	143
	有所見者割合(%) ※	48.4%	47.2%	50.7%
女性	対象者数(人) ※	409	385	391
	有所見者数(人) ※	167	171	175
	有所見者割合(%) ※	40.8%	44.4%	44.8%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

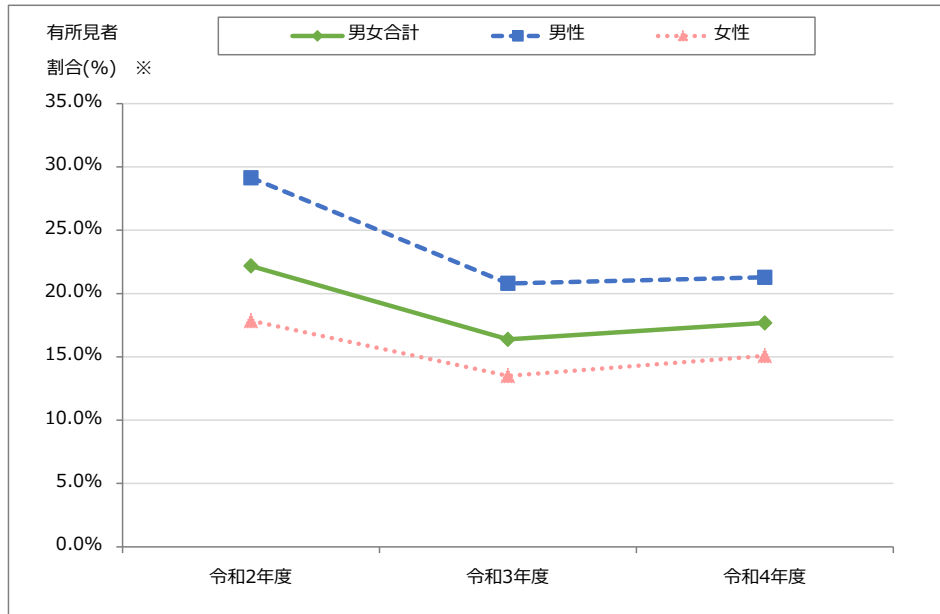
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	147	104	119
	有所見者割合(%) ※	22.2%	16.4%	17.7%
男性	対象者数(人) ※	254	250	282
	有所見者数(人) ※	74	52	60
	有所見者割合(%) ※	29.1%	20.8%	21.3%
女性	対象者数(人) ※	409	385	391
	有所見者数(人) ※	73	52	59
	有所見者割合(%) ※	17.8%	13.5%	15.1%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

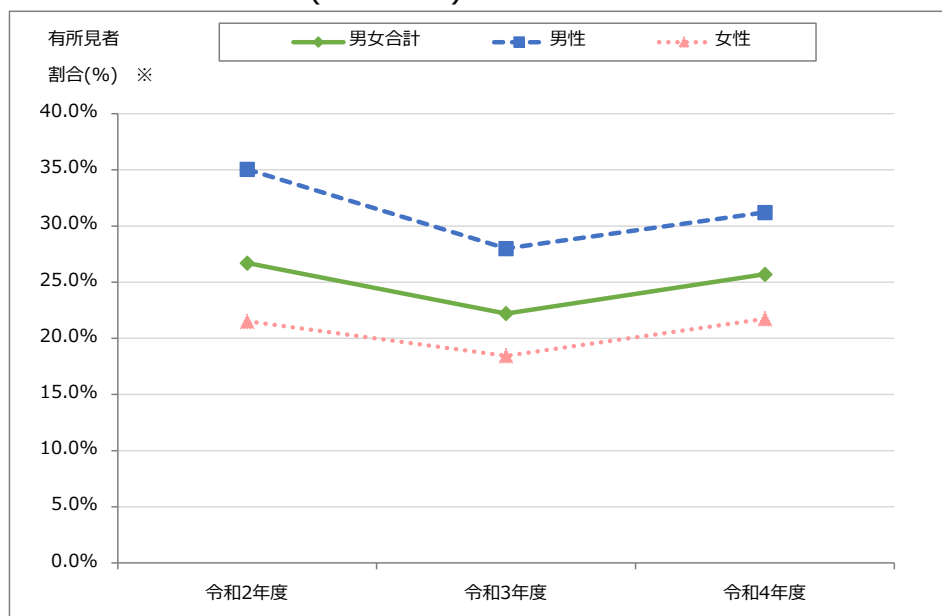
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	177	141	173
	有所見者割合(%) ※	26.7%	22.2%	25.7%
男性	対象者数(人) ※	254	250	282
	有所見者数(人) ※	89	70	88
	有所見者割合(%) ※	35.0%	28.0%	31.2%
女性	対象者数(人) ※	409	385	391
	有所見者数(人) ※	88	71	85
	有所見者割合(%) ※	21.5%	18.4%	21.7%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

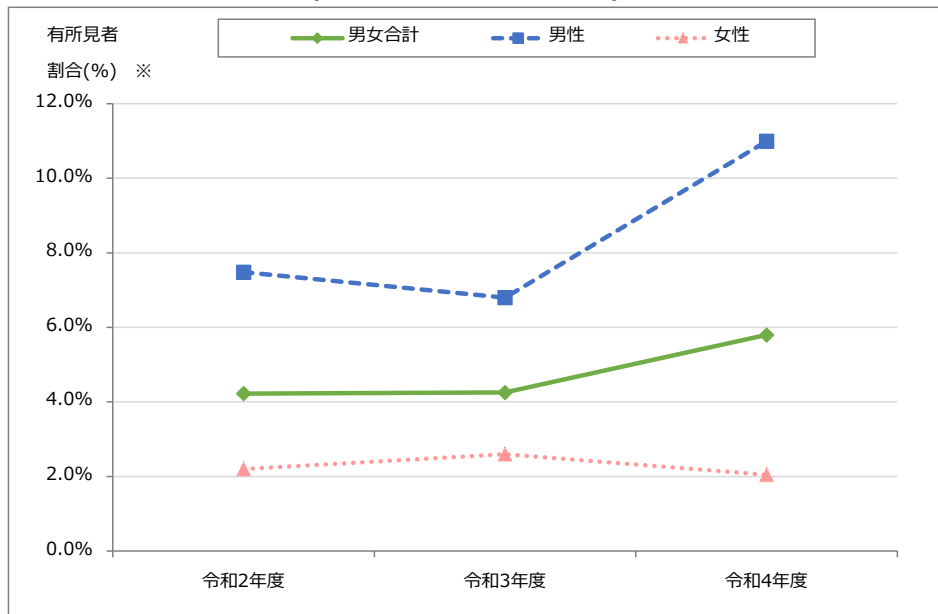
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	28	27	39
	有所見者割合(%) ※	4.2%	4.3%	5.8%
男性	対象者数(人) ※	254	250	282
	有所見者数(人) ※	19	17	31
	有所見者割合(%) ※	7.5%	6.8%	11.0%
女性	対象者数(人) ※	409	385	391
	有所見者数(人) ※	9	10	8
	有所見者割合(%) ※	2.2%	2.6%	2.0%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

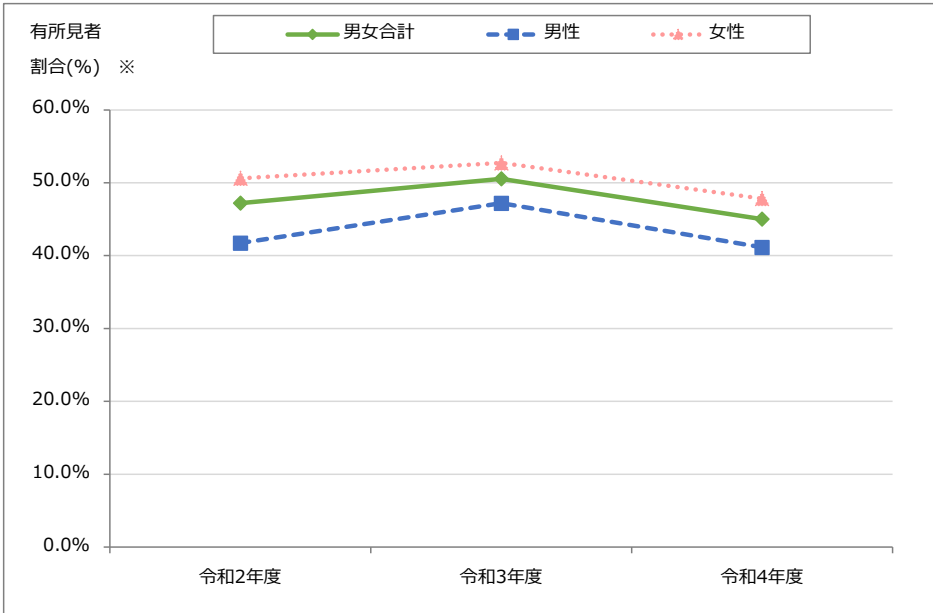
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール: 39mg/dl以下

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	663	635	673
	有所見者数(人) ※	313	321	303
	有所見者割合(%) ※	47.2%	50.6%	45.0%
男性	対象者数(人) ※	254	250	282
	有所見者数(人) ※	106	118	116
	有所見者割合(%) ※	41.7%	47.2%	41.1%
女性	対象者数(人) ※	409	385	391
	有所見者数(人) ※	207	203	187
	有所見者割合(%) ※	50.6%	52.7%	47.8%

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

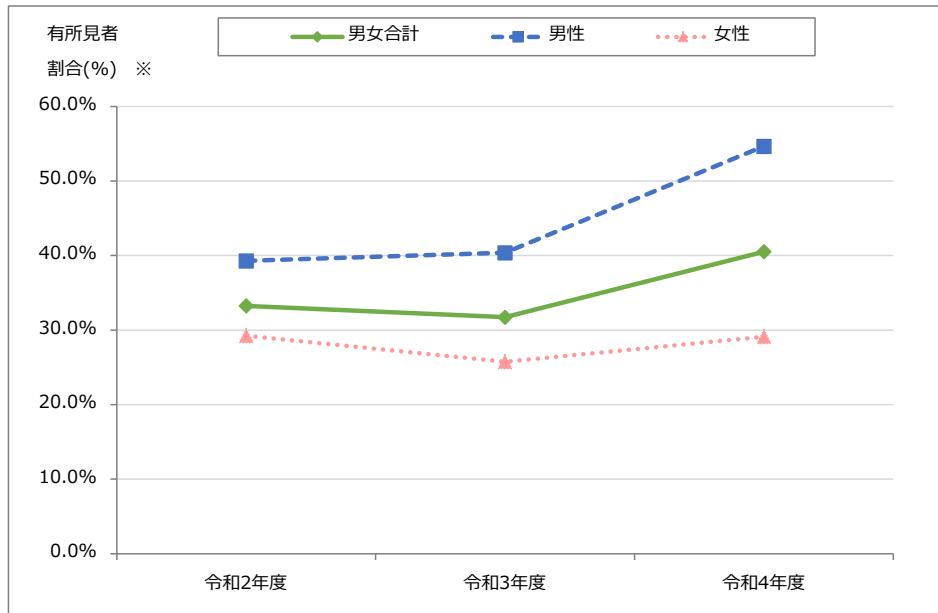
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	352	394	385
	有所見者数(人) ※	117	125	156
	有所見者割合(%) ※	33.2%	31.7%	40.5%
男性	対象者数(人) ※	140	161	172
	有所見者数(人) ※	55	65	94
	有所見者割合(%) ※	39.3%	40.4%	54.7%
女性	対象者数(人) ※	212	233	213
	有所見者数(人) ※	62	60	62
	有所見者割合(%) ※	29.2%	25.8%	29.1%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

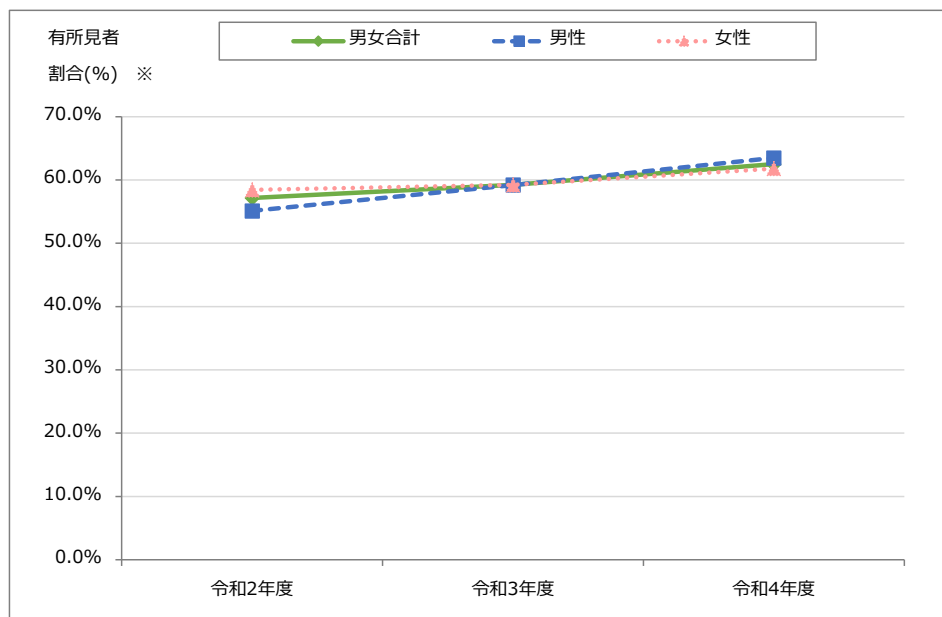
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	663	635	672
	有所見者数(人) ※	379	376	420
	有所見者割合(%) ※	57.2%	59.2%	62.5%
男性	対象者数(人) ※	254	250	282
	有所見者数(人) ※	140	148	179
	有所見者割合(%) ※	55.1%	59.2%	63.5%
女性	対象者数(人) ※	409	385	390
	有所見者数(人) ※	239	228	241
	有所見者割合(%) ※	58.4%	59.2%	61.8%

年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c(NGSP):5.6%以上

2.質問別回答状況

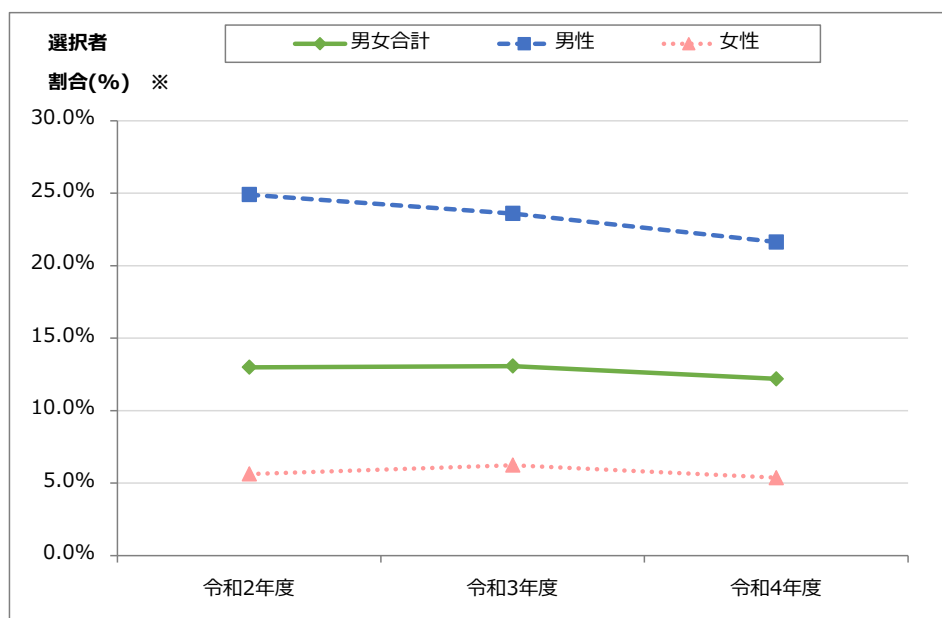
令和2年度から令和4年度の特定健康診査の質問票における喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する集計結果を年度別に示す。

(1)喫煙

年度別「喫煙あり」の回答状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	662	635	673
	選択者数(人) ※	86	83	82
	選択者割合(%) ※	13.0%	13.1%	12.2%
男性	質問回答者数(人) ※	253	250	282
	選択者数(人) ※	63	59	61
	選択者割合(%) ※	24.9%	23.6%	21.6%
女性	質問回答者数(人) ※	409	385	391
	選択者数(人) ※	23	24	21
	選択者割合(%) ※	5.6%	6.2%	5.4%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

「現在、たばこを習慣的に吸っていますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し「はい」を選択した人数。

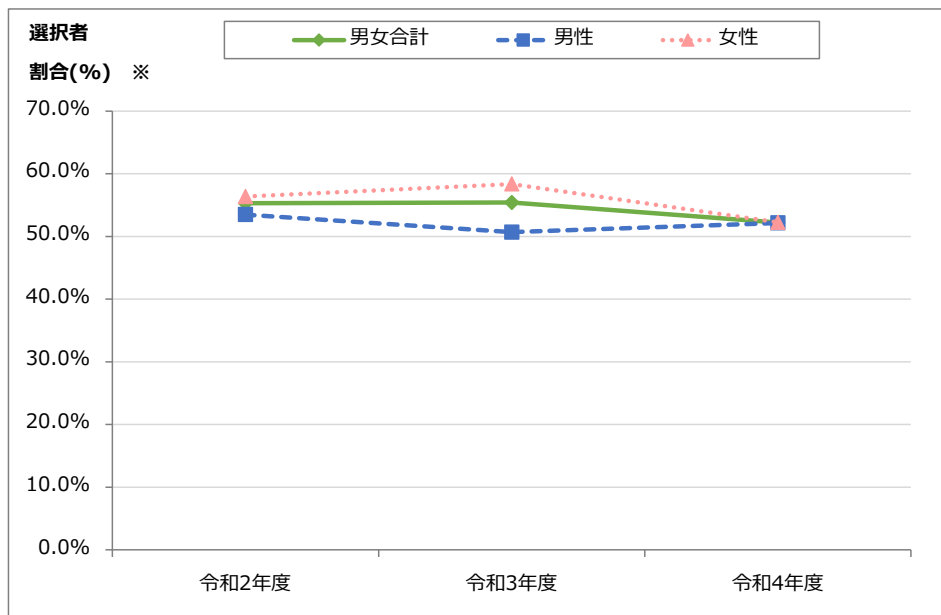
※選択者割合 …質問回答者のうち、「はい」を選択した人の割合。

(2)運動

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	615	574	615
	選択者数(人) ※	340	318	321
	選択者割合(%) ※	55.3%	55.4%	52.2%
男性	質問回答者数(人) ※	230	221	257
	選択者数(人) ※	123	112	134
	選択者割合(%) ※	53.5%	50.7%	52.1%
女性	質問回答者数(人) ※	385	353	358
	選択者数(人) ※	217	206	187
	選択者割合(%) ※	56.4%	58.4%	52.2%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

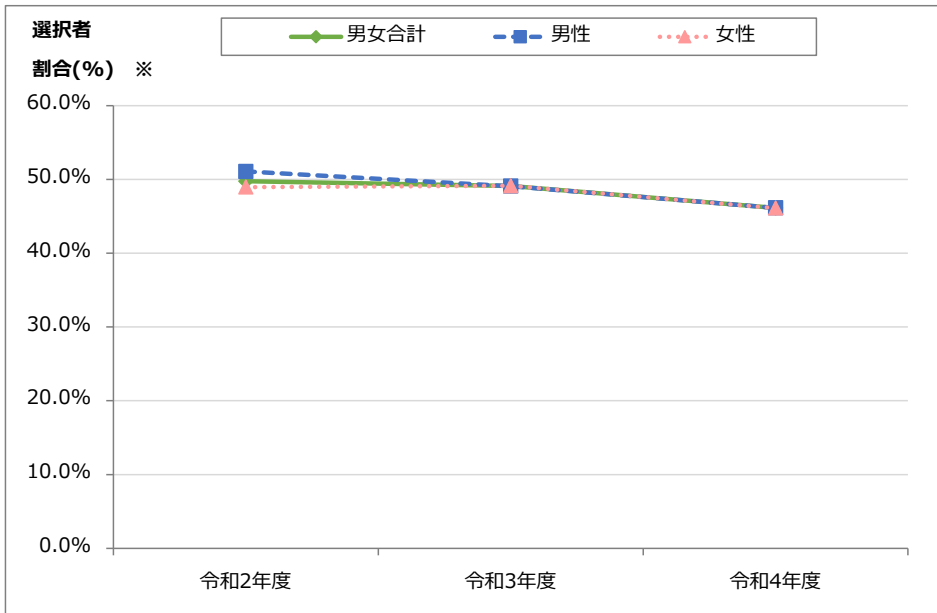
※選択者数 …質問に対し「いいえ」を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	613	570	620
	選択者数(人) ※	305	280	286
	選択者割合(%) ※	49.8%	49.1%	46.1%
男性	質問回答者数(人) ※	229	220	260
	選択者数(人) ※	117	108	120
	選択者割合(%) ※	51.1%	49.1%	46.2%
女性	質問回答者数(人) ※	384	350	360
	選択者数(人) ※	188	172	166
	選択者割合(%) ※	49.0%	49.1%	46.1%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し「いいえ」を選択した人数。

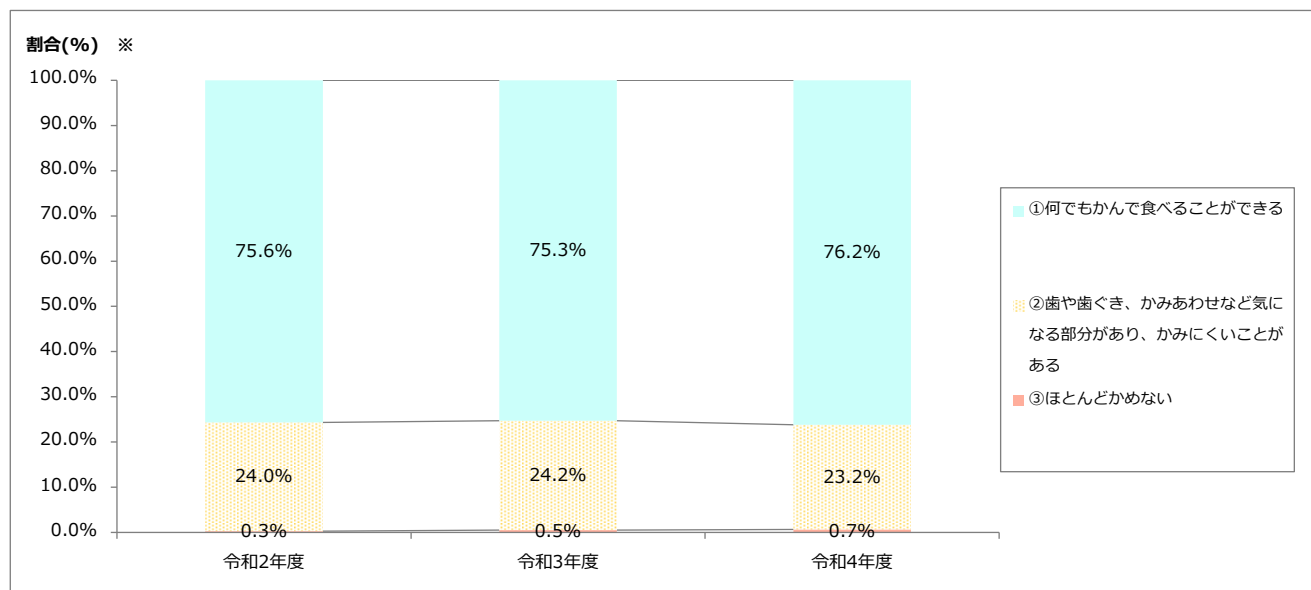
※選択者割合 …質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

(3)口腔機能

年度別 口腔機能に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①何でもかんで食べることができる		②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		③ほとんどかめない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	616	466	75.6%	148	24.0%	2	0.3%
令和3年度	570	429	75.3%	138	24.2%	3	0.5%
令和4年度	604	460	76.2%	140	23.2%	4	0.7%

年度別 口腔機能に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

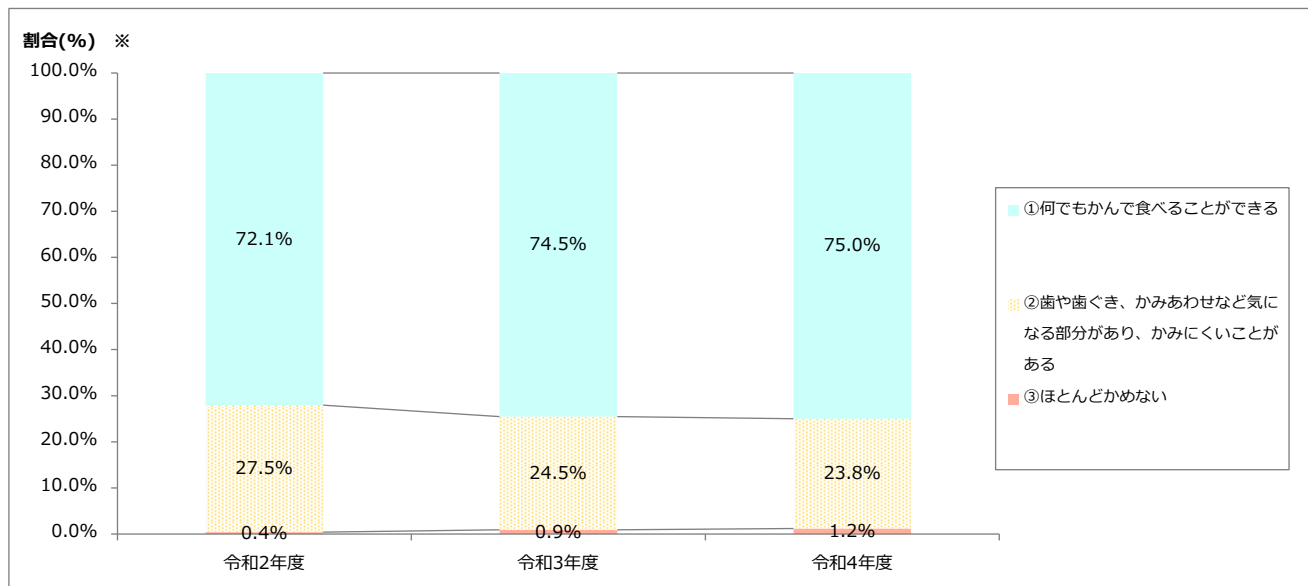
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 口腔機能に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①何でもかんで食べることができる		②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		③ほとんどかめない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	229	165	72.1%	63	27.5%	1	0.4%
令和3年度	220	164	74.5%	54	24.5%	2	0.9%
令和4年度	252	189	75.0%	60	23.8%	3	1.2%

年度別 口腔機能に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

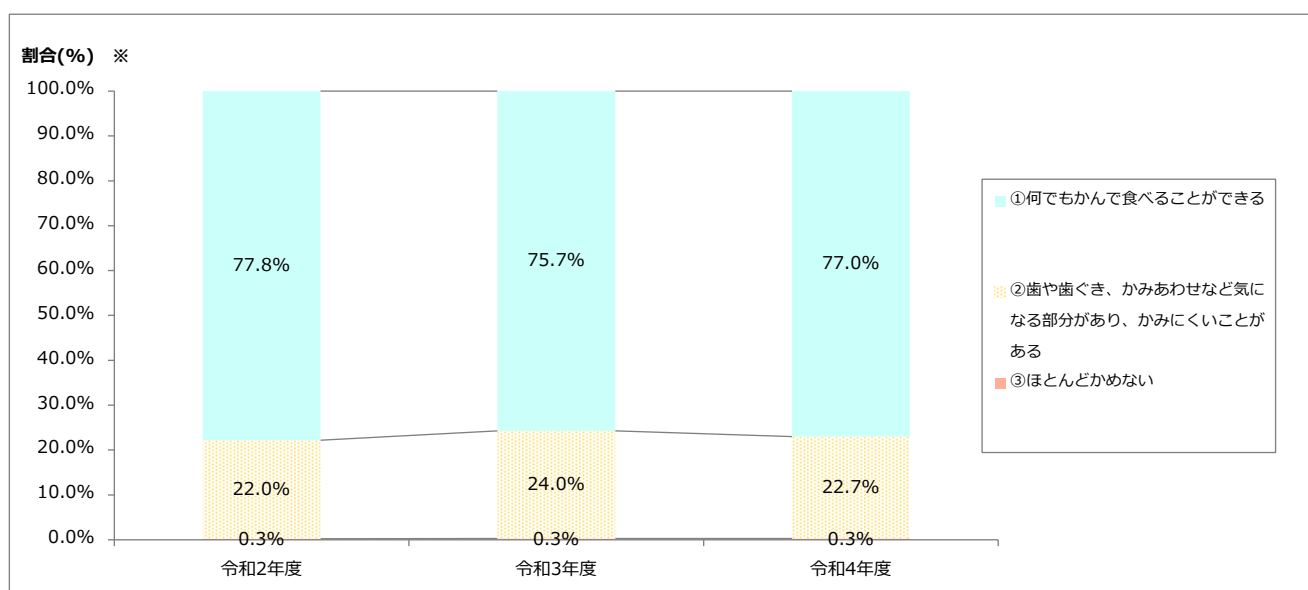
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 口腔機能に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①何でもかんで食べることができる		②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		③ほとんどかめない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	387	301	77.8%	85	22.0%	1	0.3%
令和3年度	350	265	75.7%	84	24.0%	1	0.3%
令和4年度	352	271	77.0%	80	22.7%	1	0.3%

年度別 口腔機能に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

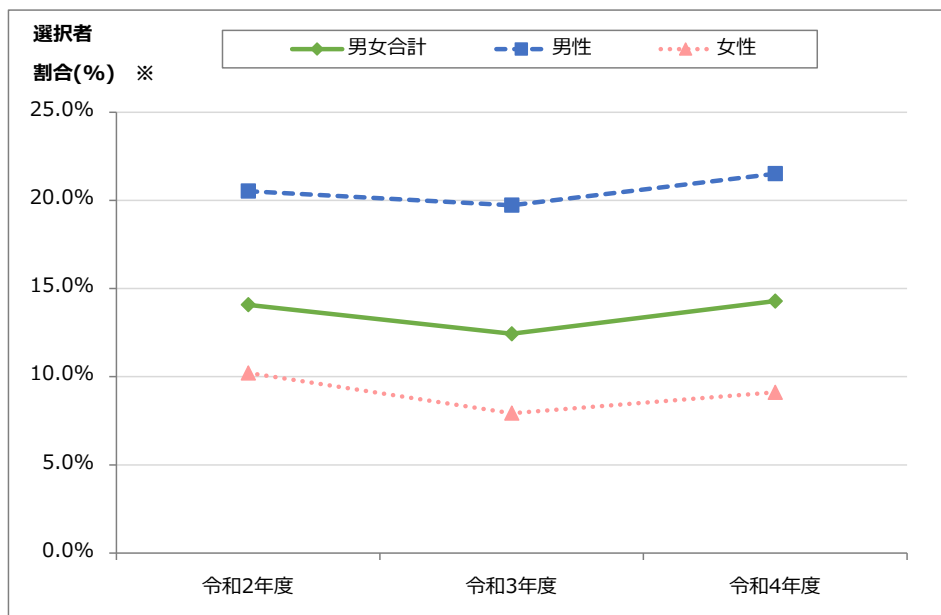
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

(4)食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	611	571	602
	選択者数(人) ※	86	71	86
	選択者割合(%) ※	14.1%	12.4%	14.3%
男性	質問回答者数(人) ※	229	218	251
	選択者数(人) ※	47	43	54
	選択者割合(%) ※	20.5%	19.7%	21.5%
女性	質問回答者数(人) ※	382	353	351
	選択者数(人) ※	39	28	32
	選択者割合(%) ※	10.2%	7.9%	9.1%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

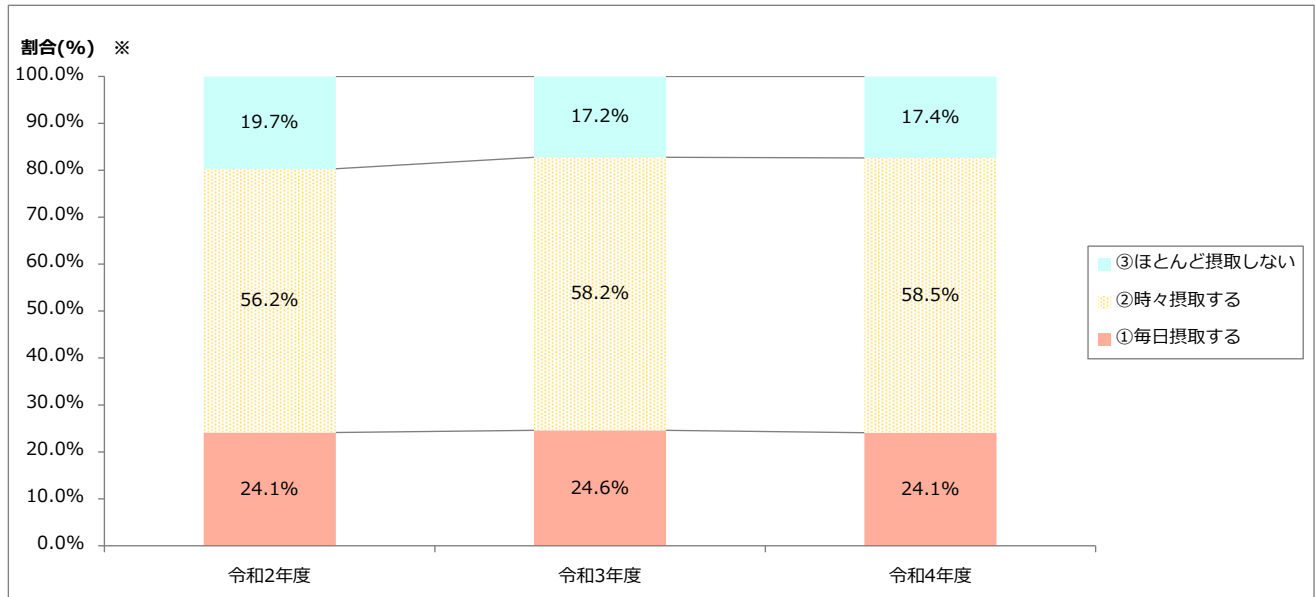
※選択者数 …質問に対し「はい」を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、「はい」を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日摂取する		②時々摂取する		③ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	605	146	24.1%	340	56.2%	119	19.7%
令和3年度	569	140	24.6%	331	58.2%	98	17.2%
令和4年度	610	147	24.1%	357	58.5%	106	17.4%

年度別 間食に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

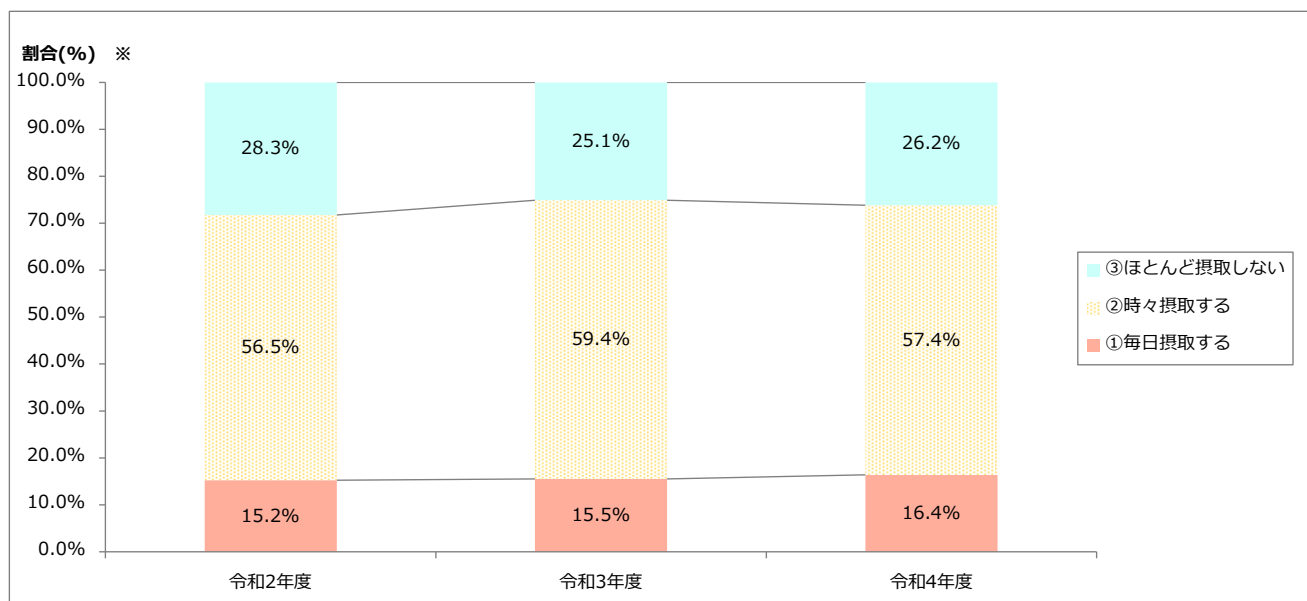
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日摂取する		②時々摂取する		③ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	223	34	15.2%	126	56.5%	63	28.3%
令和3年度	219	34	15.5%	130	59.4%	55	25.1%
令和4年度	256	42	16.4%	147	57.4%	67	26.2%

年度別 間食に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

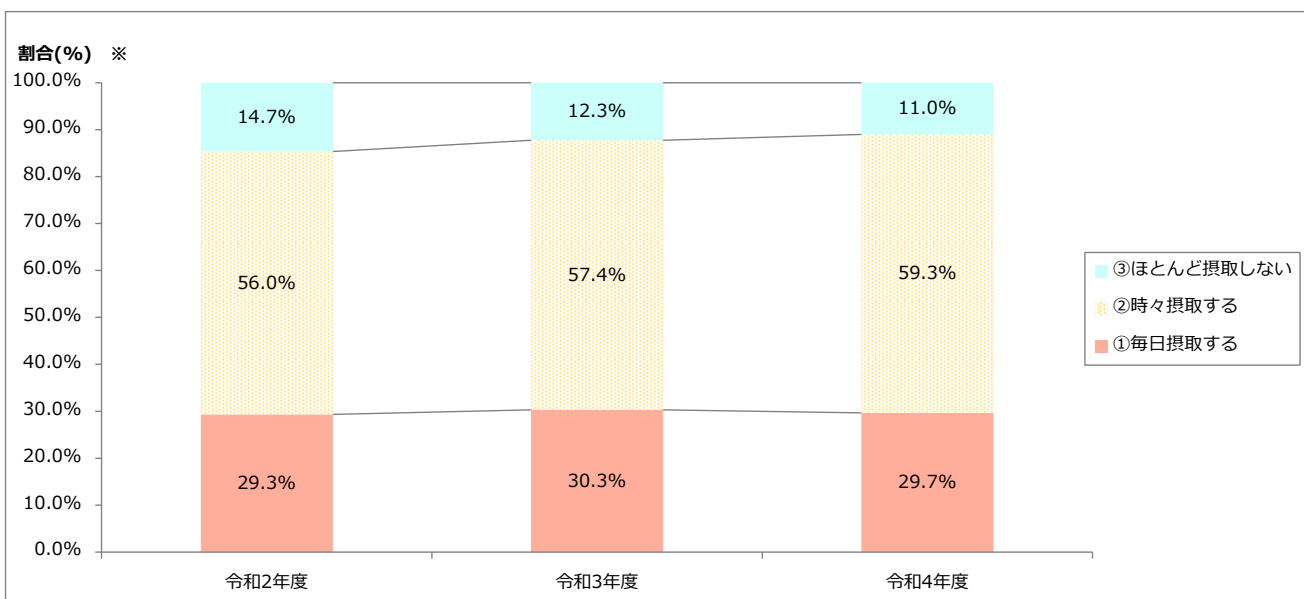
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日摂取する		②時々摂取する		③ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	382	112	29.3%	214	56.0%	56	14.7%
令和3年度	350	106	30.3%	201	57.4%	43	12.3%
令和4年度	354	105	29.7%	210	59.3%	39	11.0%

年度別 間食に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

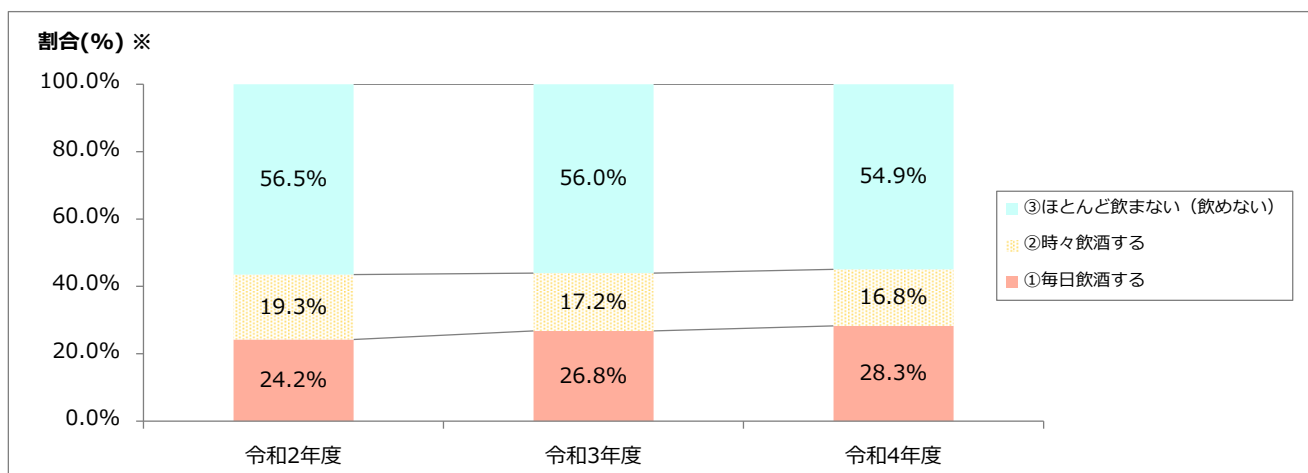
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

(5)飲酒

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日飲酒する		②時々飲酒する		③ほとんど飲まない(飲めない)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	607	147	24.2%	117	19.3%	343	56.5%
令和3年度	571	153	26.8%	98	17.2%	320	56.0%
令和4年度	608	172	28.3%	102	16.8%	334	54.9%

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

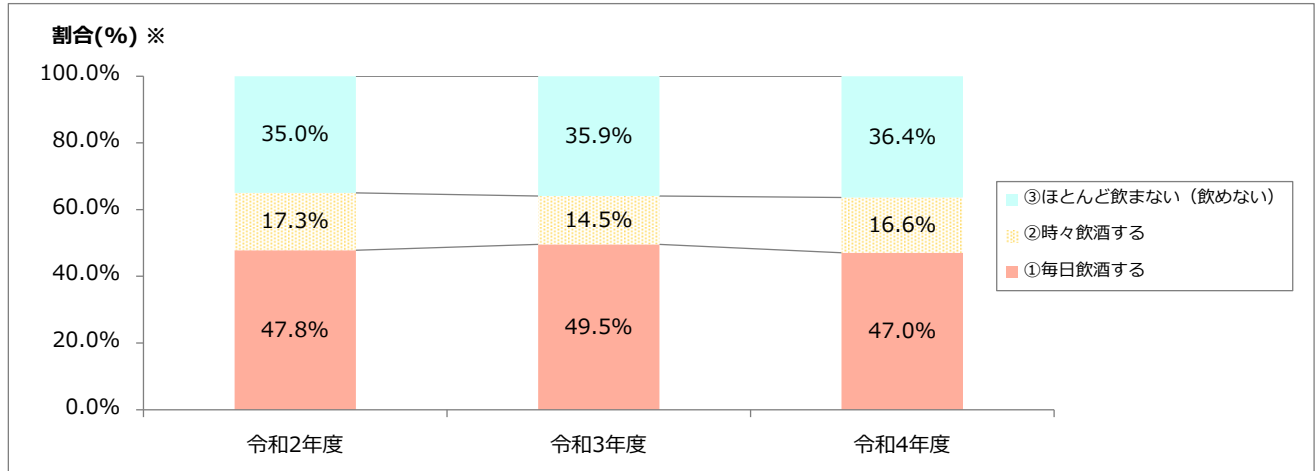
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日飲酒する		②時々飲酒する		③ほとんど飲まない(飲めない)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	226	108	47.8%	39	17.3%	79	35.0%
令和3年度	220	109	49.5%	32	14.5%	79	35.9%
令和4年度	253	119	47.0%	42	16.6%	92	36.4%

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

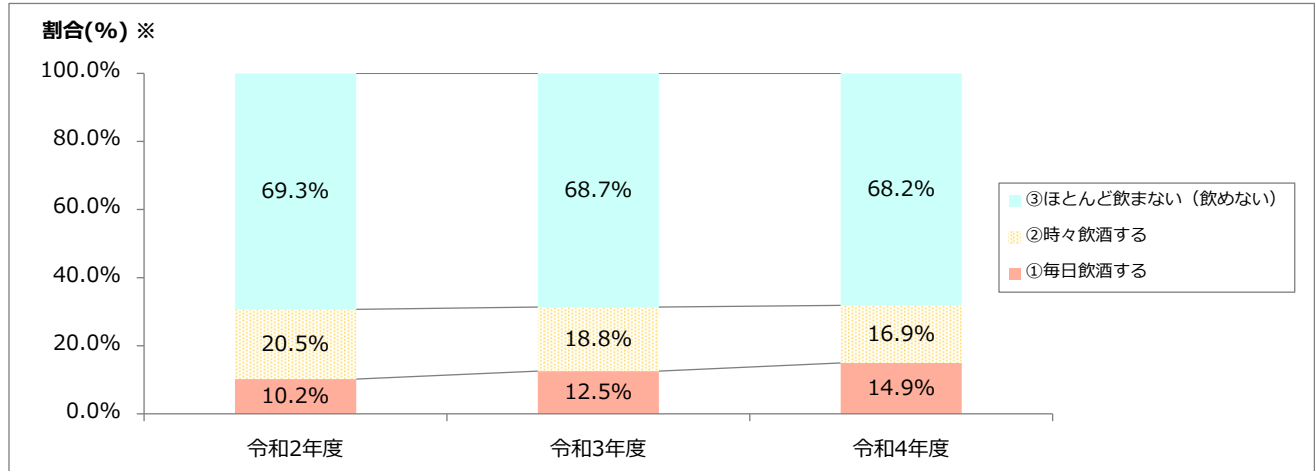
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日飲酒する		②時々飲酒する		③ほとんど飲まない(飲めない)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	381	39	10.2%	78	20.5%	264	69.3%
令和3年度	351	44	12.5%	66	18.8%	241	68.7%
令和4年度	355	53	14.9%	60	16.9%	242	68.2%

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

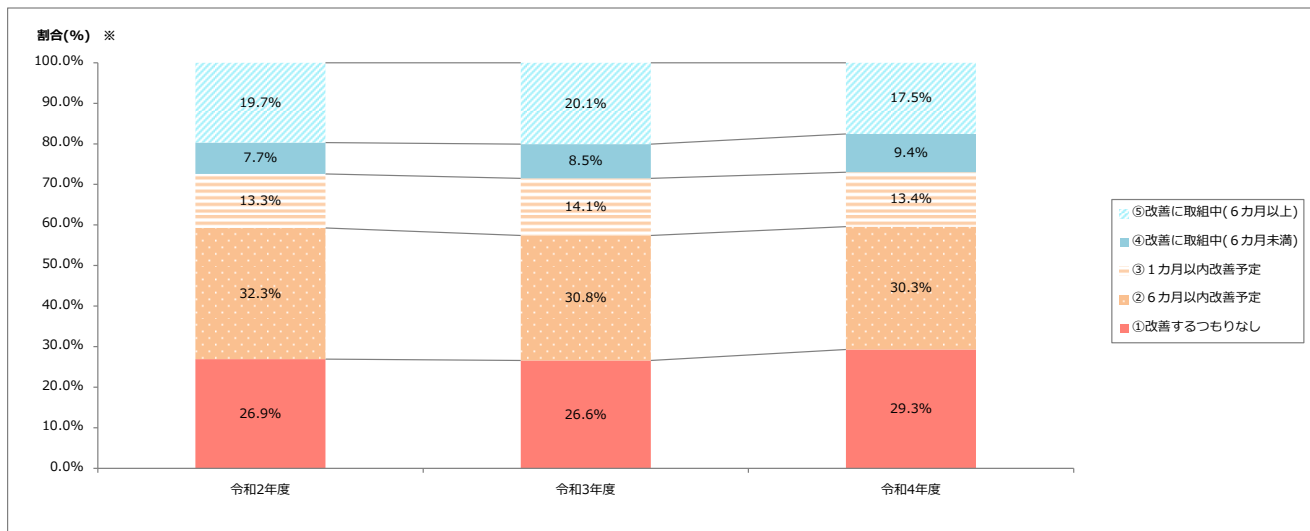
(6)生活習慣の改善

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定		③1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	609	164	26.9%	197	32.3%	81	13.3%
令和3年度	568	151	26.6%	175	30.8%	80	14.1%
令和4年度	604	177	29.3%	183	30.3%	81	13.4%

年度	質問回答者数(人) ※	④改善に取組中(6カ月未満)		⑤改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	609	47	7.7%	120	19.7%
令和3年度	568	48	8.5%	114	20.1%
令和4年度	604	57	9.4%	106	17.5%

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

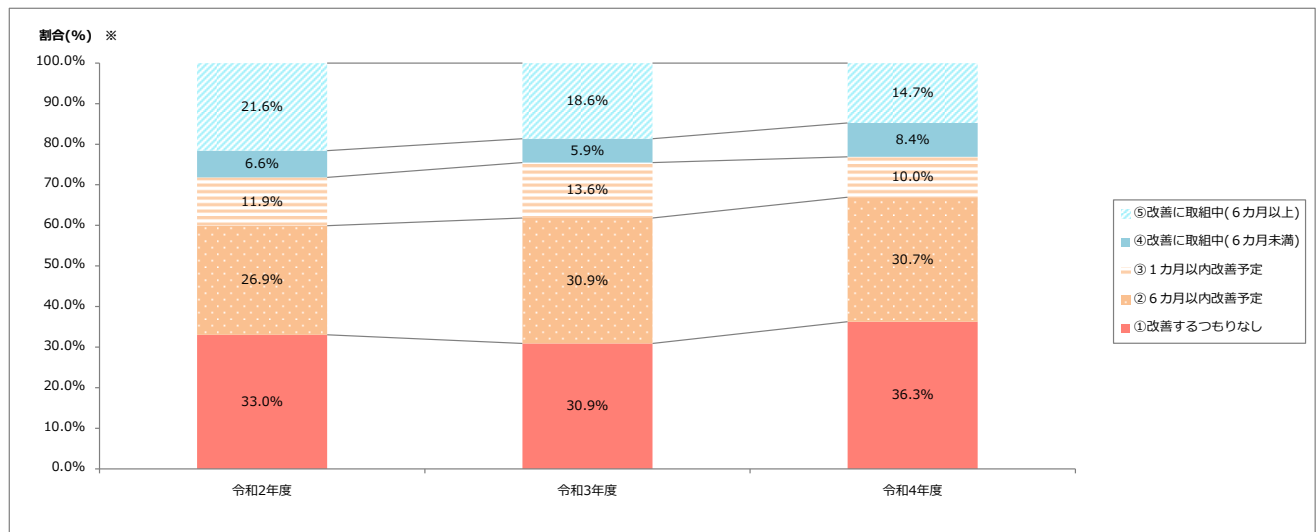
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定		③1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	227	75	33.0%	61	26.9%	27	11.9%
令和3年度	220	68	30.9%	68	30.9%	30	13.6%
令和4年度	251	91	36.3%	77	30.7%	25	10.0%

年度	質問回答者数(人) ※	④改善に取り組中(6カ月未満)		⑤改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	227	15	6.6%	49	21.6%
令和3年度	220	13	5.9%	41	18.6%
令和4年度	251	21	8.4%	37	14.7%

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

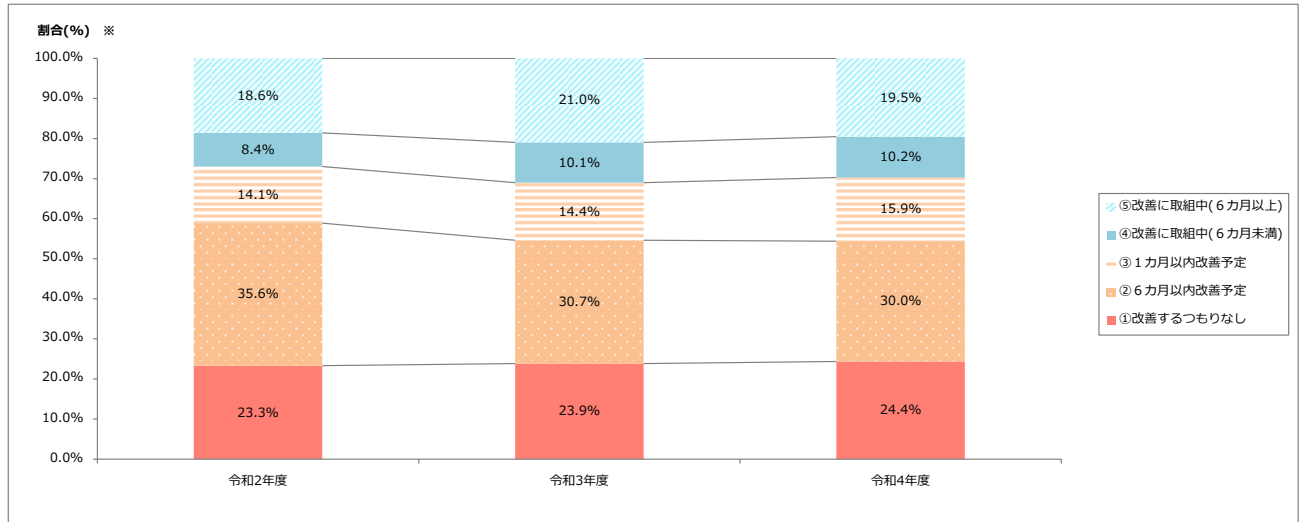
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定		③1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	382	89	23.3%	136	35.6%	54	14.1%
令和3年度	348	83	23.9%	107	30.7%	50	14.4%
令和4年度	353	86	24.4%	106	30.0%	56	15.9%

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	382	89	23.3%	136	35.6%
令和3年度	348	83	23.9%	107	30.7%
令和4年度	353	86	24.4%	106	30.0%

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

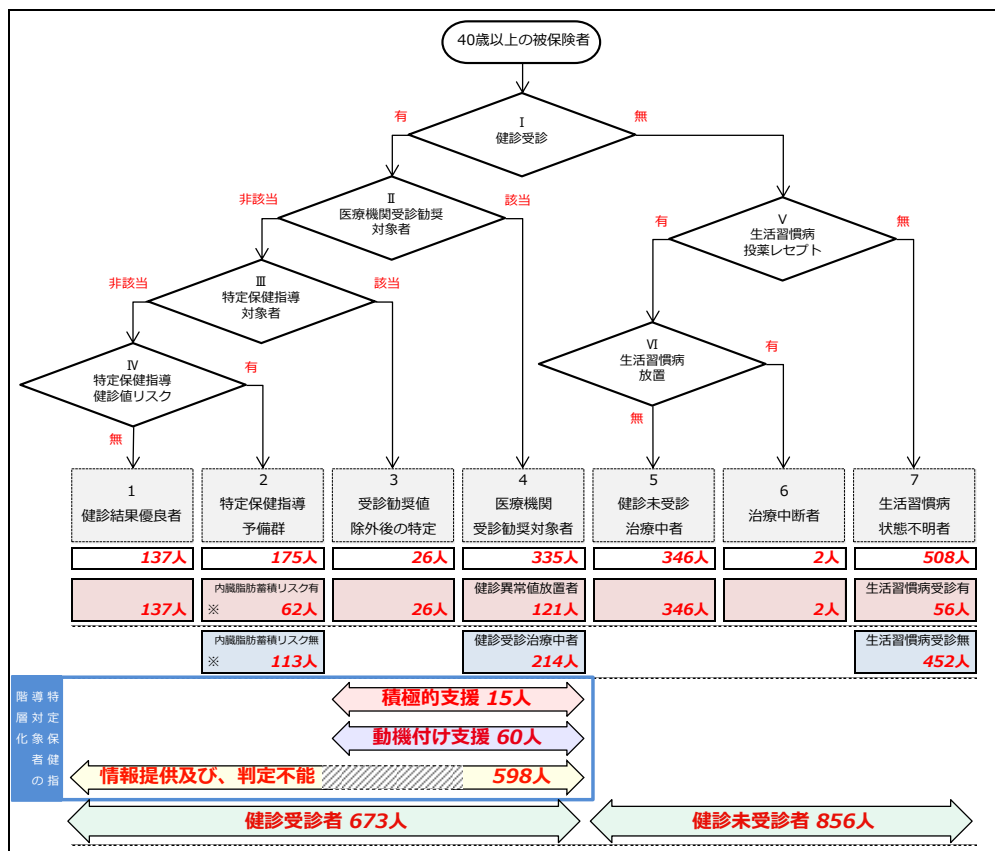
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

卷末資料

1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含まない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

健診受診あり

- 1.健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- 2.特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2.特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2.特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
- 3.受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 4.医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 …「4.医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4.医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

- 5.健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 6.治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 7.生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7.生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7.生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2.用語解説集

	用語	説明
か行	眼底検査	目の奥の状態を調べる検査。通常眼底写真にて検査する。 動脈硬化の程度、高血圧、糖尿病による眼の合併症や緑内障・白内障の有無などを調べるもの。
	クレアチニン	アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物。腎臓でろ過されて尿中に排泄される。 血清クレアチニンの値が高いと、老廃物の排泄機能としての腎臓の機能が低下していることを意味する。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	血糖	血液内のブドウ糖の濃度。 食前・食後で変動する。低すぎると低血糖、高すぎると高血糖を引き起こす。
	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施するもの。
さ行	ジェネリック医薬品	後発医薬品のこと。先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	人工透析	機能が著しく低下した腎臓に代わり機械で老廃物を取り除くこと。1回につき4～5時間かかる治療を週3回程度、ずっと受け続ける必要があり、身体的にも時間的にも、大きな負担がかかる。
	心電図	心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録する検査。電流の流れ具合に異常がないかわかる。 また1分間に電気が発生する回数である心拍数も測定される。
	生活習慣病	食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。重篤な疾患の要因となる。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
た行	中性脂肪	肉や魚・食用油など食品中の脂質や、体脂肪の大部分を占める物質。単に脂肪とも呼ばれる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣病予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
な行	尿酸	食べ物に含まれるプリン体という物質が肝臓で分解されてできる、体には必要のない老廃物。主に腎臓からの尿に交じって体外に排出される。
は行	標準化死亡率	標準化死亡率は、基準死亡率(人口10万対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を100としており、標準化死亡率が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。

用語		説明
	腹囲	へその高さで計る腰回りの大きさ。内臓脂肪の蓄積の目安とされ、メタボリックシンドロームを診断する指標のひとつ。
	フレイル	フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階をさす。年齢を重ねていくと、心身や社会性などの面でダメージを受けたときに回復できる力が低下し、これによって健康に過ごせていた状態から、生活を送るために支援を受けなければならない要介護状態に変化していく。
ま行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
や行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ら行	レセプト	診療報酬明細書の通称。
A～Z	AST/ALT	AST(GOTともいう)は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素である。ALT(GPTともいう)は、肝臓に多く存在する酵素である。数値が高い場合は急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝臓がん、アルコール性肝炎などが疑われる。
	BMI	[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値で、Body Mass Indexの略。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる体格指数のこと。
	eGFR	腎臓機能を示す指標で、クレアチニン値を性別、年齢で補正して算出する。腎臓の中にある毛細血管の集合体である「糸球体」が1分間にどれくらいの血液を濾過して尿を作れるかを示す値。数値が低いと腎臓の機能が低下していることを意味する。
	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	ICT	Information and Communications Technology(インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー／情報通信技術)の略。コンピュータやデータ通信に関する技術をまとめた呼び方。特定保健指導においてもその活用が推進されており、代表的なツールとしては、Web会議システムやスマートフォンアプリ、Webアプリ等が挙げられる。
	KDB	「国保データベース(KDB)システム」とは、国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、健診・保健指導、医療、介護の各種データを併せて分析できるシステムのこと。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
	non-HDLコレステロール	総コレステロールからHDLコレステロールを減じたもの。数値が高いと、動脈硬化、脂質代謝異常、甲状腺機能低下症、家族性高脂血症などが疑われる。低い場合は、栄養吸収障害、低βリポたんぱく血症、肝硬変などが疑われる。

3.疾病分類

疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	R Sウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球形貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化(症)	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化(症)	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧(症)	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く） 及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

4.分析方法

データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用いる。

●医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載された全ての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されている。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題がある。医療費分解技術を用いることで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できる。

●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化する。

レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があり、現状10%程度の未コード化傷病名が含まれている。この問題を解決するため、株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らす。

医科レセプト

傷病名	(1) 本態性高血圧(主)	調剤レセプト	No.	医薬品名・規格・用量・剤形・用法	単位	数量	薬価	薬剤科点	28					
	(2) 狭心症													
	(3) うつ病													
	(4) 高コレステロール血症													
	(5) 2型糖尿病													
	(6) 急性上気道炎													
	(7) アレルギー性鼻炎													
12 再診	1	アラビックス錠75mg	1錠	66	28									
13 特	1	カルネート錠2.5mg	1錠											
60 糖	Hb	外	B	尿	外	血	生	3	28					
										2	ニコチンマート錠5mg	3錠	2	28
										3	エチガーム錠0.5mg	2錠	1	28
										4	スルピリド錠50mg「アムレ」 エバデルS900 900mg 安全性のため別包 【内服】1日2回朝夕食後服用	2錠 2包	27	28
80 短	1													
1														
決定点数								2,688						

①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化する。

医科レセプトの記載		コード化	
(1)	本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧症	
(2)	狭心症	4139007	狭心症
(3)	うつ病	2961003	うつ病
(4)	高コレステロール血症	2720004	高コレステロール血症
(5)	2型糖尿病	2500015	2型糖尿病
(6)	急性上気道炎	4659007	急性上気道炎
(7)	アレルギー性鼻炎	4779004	アレルギー性鼻炎

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病毎にグルーピングする。

医科レセプトの記載		薬品	検査	診療行為	合計点数
(1)	本態性高血圧症(主)	184.3	25.2	266.5	476.0
(2)	狭心症	963.6	4.7	61.0	1,029.3
(3)	うつ病	63.7	0.3	11.0	75.0
(4)	高コレステロール血症	858.1	4.1	57.2	919.4
(5)	2型糖尿病	618.3	356.7	61.3	1,036.3
(6)	急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計					3,536.0

●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となる。株式会社データホライゾンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定する。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、そのうち、約4割が現在治療中でない傷病名といわれている。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施に当たっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要がある。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できた。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難だったが、当特許技術で解決した。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム(特許第6409113号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかった患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められている。本特許を活用することで、今まで実現できなかった、医科・調剤レセプトから取得した患者毎の全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となる。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載される全てを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保つ。